

成田市  
学校教育に関するアンケート調査  
報告書

平成27年3月  
成田市教育委員会



# 成田市学校教育に関するアンケート調査報告書

## —目 次—

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の種類および調査対象者.....	1
3. 調査の設計.....	1
4. 調査方法.....	2
5. 調査期間.....	2
6. 回収結果.....	2
7. 報告書の見方.....	2
第2章 小学生調査の結果.....	3
1. あなたについて.....	3
2. 学校について.....	4
3. 放課後や土日の過ごし方について.....	9
4. 家での様子について.....	13
5. 将来について.....	20
第3章 中学生調査の結果.....	21
1. あなたについて.....	21
2. 学校について.....	22
3. 放課後や土日の過ごし方について.....	30
4. 家での様子について.....	37
5. 将来について.....	45

## 第4章 保護者調査の結果..... 49

1. あなたについて..... 49
2. お子さんへの接し方について..... 51
3. 学校教育について..... 55
4. 土曜日の過ごし方について..... 64
5. 教育全般について..... 67

## 第5章 教職員調査の結果..... 72

1. あなた自身について..... 73
2. 学習指導などの状況について..... 80
3. 学校教育の在り方について..... 83
4. 児童・生徒や地域との関わりについて..... 99

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

本調査は、平成13年3月に策定した「成田市学校教育長期ビジョン」を見直し、教育基本法第17条第2項に規定する教育振興の施策に関する基本的な計画として「成田市学校教育振興基本計画」を策定するための基礎資料を得ることを目的として実施しました。

## 2. 調査の種類および調査対象者

調査種別	調査対象者
①小学生調査	市内各公立小学校に在籍する児童（4・6年生）
②中学生調査	市内各公立中学校に在籍する生徒（2年生）
③保護者調査	①、②の児童・生徒の保護者
④教職員調査	市内各公立小・中学校に勤務する教職員

## 3. 調査の設計

調査種別	項目	内容
①小学生調査	ア 対象者数	2,376人
	イ 抽出方法	市内各公立小学校に在籍する児童の4・6年生を抽出し対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内
②中学生調査	ア 対象者数	1,139人
	イ 抽出方法	市内各公立中学校に在籍する生徒の2年生を抽出し対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内
③保護者調査	ア 対象者数	3,515人
	イ 抽出方法	調査対象の児童・生徒の保護者を対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内
④教職員調査	ア 対象者数	942人
	イ 抽出方法	市内各公立小学校・公立中学校に勤務する全ての教職員を対象とした。
	ウ 調査地域	成田市内

#### 4. 調査方法

調査種別	発送	回収
①小学生調査	各学校を通じて配布	各学校を通じて回収
②中学生調査	各学校を通じて配布	各学校を通じて回収
③保護者調査	各学校を通じて配布	各学校を通じて回収
④教職員調査	各学校を通じて配布	各学校を通じて回収

#### 5. 調査期間

平成 26 年 6 月 10 日～平成 26 年 7 月 10 日

#### 6. 回収結果

調査種別	①発送数（通）	②回収数（通）	③回収率（％）
①小学生調査	2,376	2,326	97.9%
②中学生調査	1,139	1,069	93.9%
③保護者調査	3,515	3,027	86.1%
④教職員調査	942	831	88.2%
合計	7,972	7,253	91.0%

#### 7. 報告書の見方

①集計した数値（％）は小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表示しています。そのため、質問に対する回答の選択肢が 1 つだけの場合、選択肢の数値（％）をすべて合計しても、100.0%にならない場合があります。

②回答者数を分母として割合（％）を計算しているため、複数回答の場合には、各選択肢の割合を合計すると 100%を超えることがあります。

③回答が少数である場合の比率については、特定の傾向が強く反映される場合があります。

## 第2章 小学生調査の結果

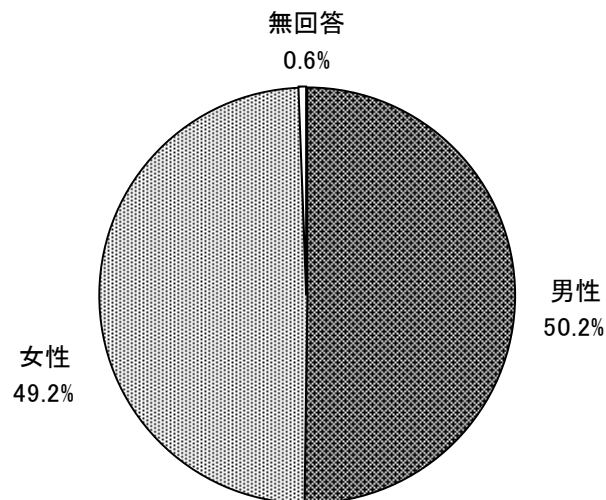
---

### 1. あなたについて

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○)

性別については、「男性」が50.2%、「女性」が49.2%となっています。

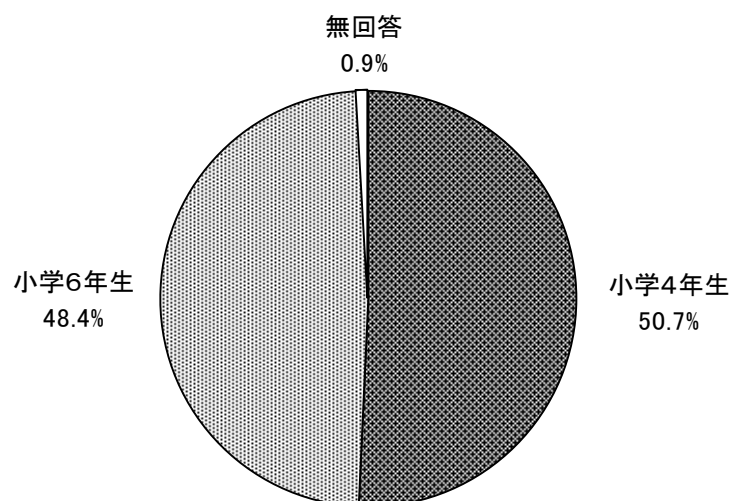
n= 2,326



問2 あなたは何年生ですか。(1つだけ○)

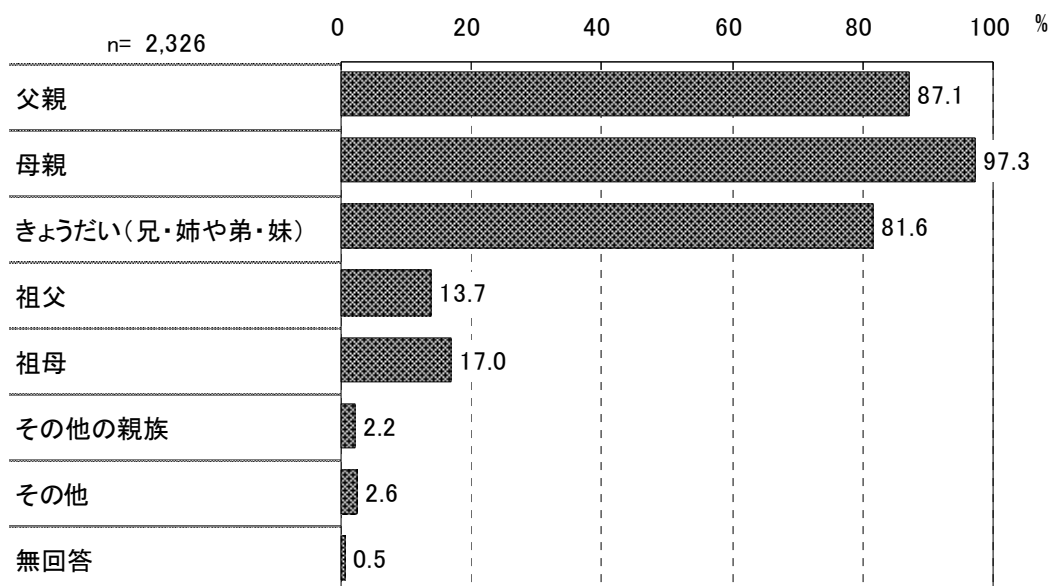
学年については、「小学4年生」が50.7%、「小学6年生」が48.4%となっています。

n= 2,326



問3 あなたがいっしょに住んでいる家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

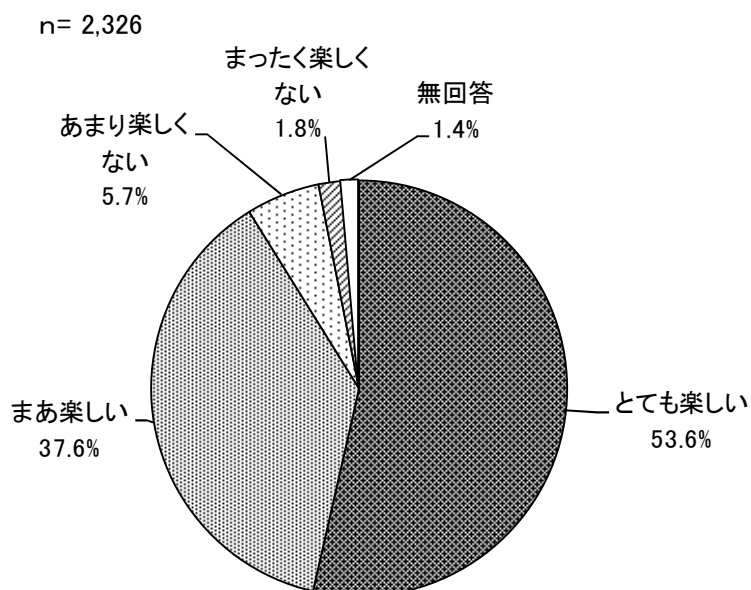
いっしょに住んでいる家族については「母親」が97.3%、「父親」が87.1%、「きょうだい(兄・姉や弟・妹)」が81.6%、「祖母」が17.0%、「祖父」が13.7%などとなっています。



## 2. 学校について

問4 学校生活は楽しいですか。(1つだけ○)

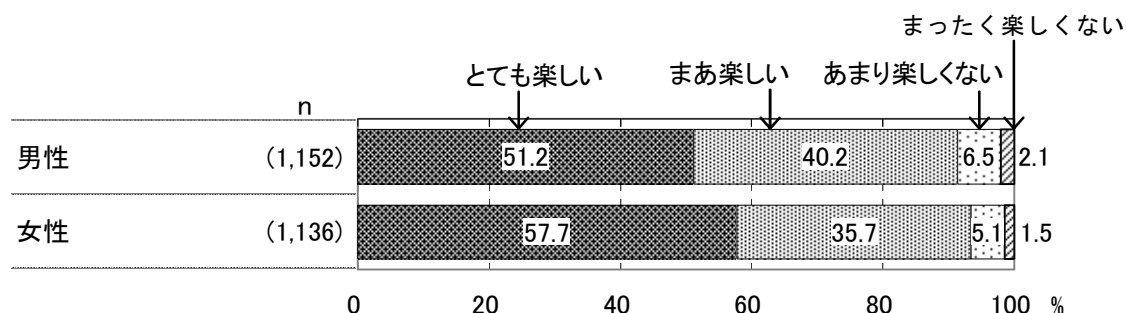
学校生活が楽しいかについては、「とても楽しい」が53.6%、「まあ楽しい」が37.6%、「あまり楽しくない」が5.7%、「まったく楽しくない」が1.8%となっています。





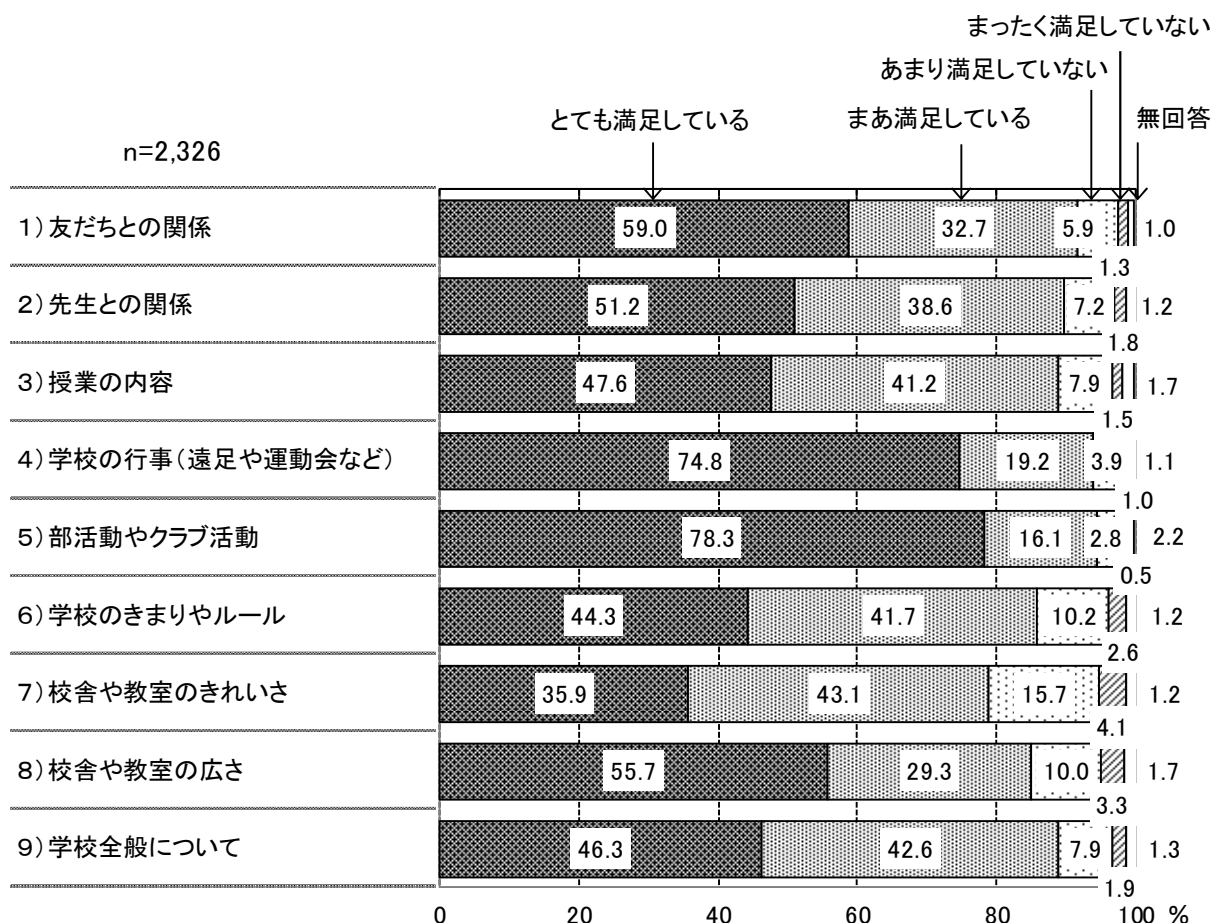
【性別】

性別でみても、“男性”“女性”ともに「とても楽しい」「まあ楽しい」を合わせると9割を超えており、特に“女性”は「とても楽しい」が6割近くになっています。



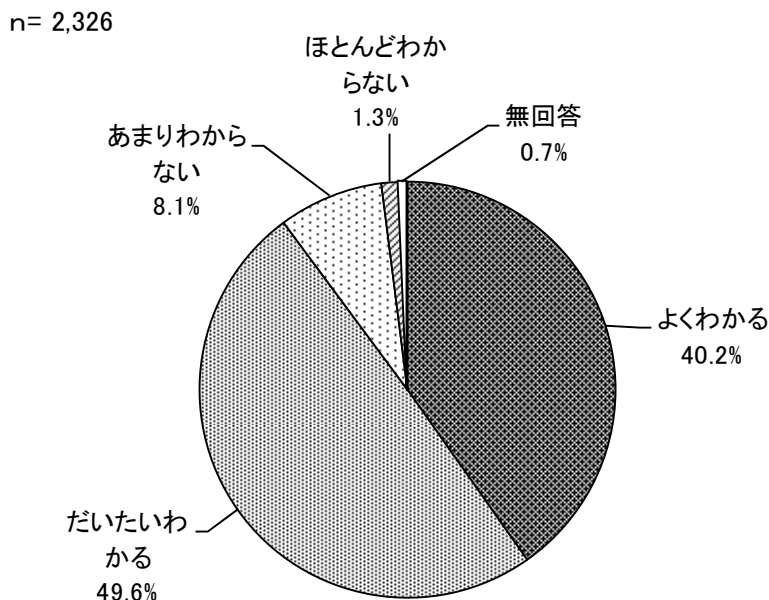
問5 あなたは、学校生活に関する次のようなことに、どのくらい満足していますか。(それぞれにひとつずつ〇)

学校生活に関する満足度については“5)部活動やクラブ活動”で8割近く、“4)学校の行事(遠足や運動会など)”で7割半ばが「とても満足」と回答しており、「まあ満足している」を合わせるといずれも9割半ばとなります。他の項目についても「とても満足」と「まあ満足」の割合が高く、2つを合わせた『満足』は、最も低い“7)校舎や教室のきれいさ”でも8割近くとなっています。また、“9)学校全般について”では、「とても満足している」が4割半ば、「まあ満足している」も4割を超え、合わせた『満足』は9割近くとなります。



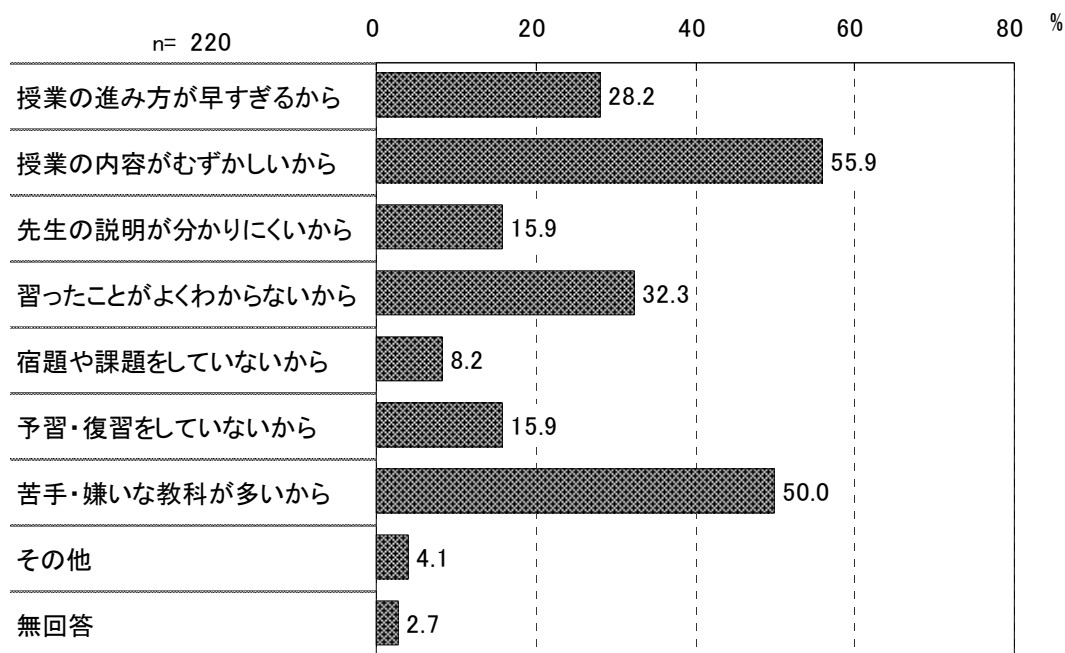
問6 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。(1つだけ○)

学校の授業がどのくらい分かるかについては、「よくわかる」が40.2%、「だいたいわかる」が49.6%、「あまりわからない」が8.1%、「ほとんどわからない」が1.3%となっています。



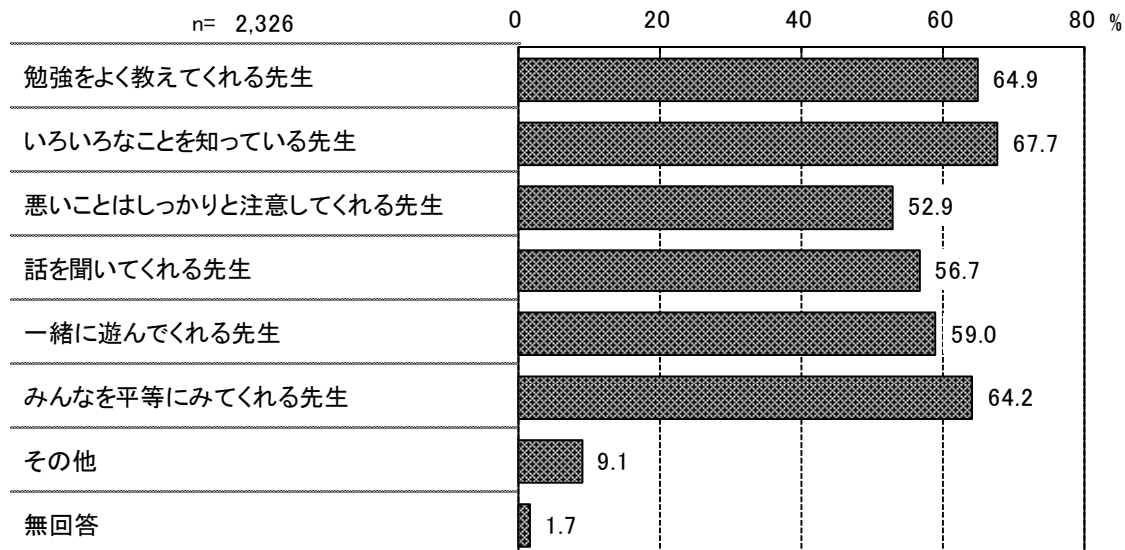
問7 授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

授業がわからない理由については、「授業の内容がむずかしいから」が最も多く55.9%、次いで「苦手・嫌いな教科が多いから」が50.0%、「習ったことがよくわからないから」が32.3%、「授業の進み方が早すぎるから」が28.2%などとなっています。



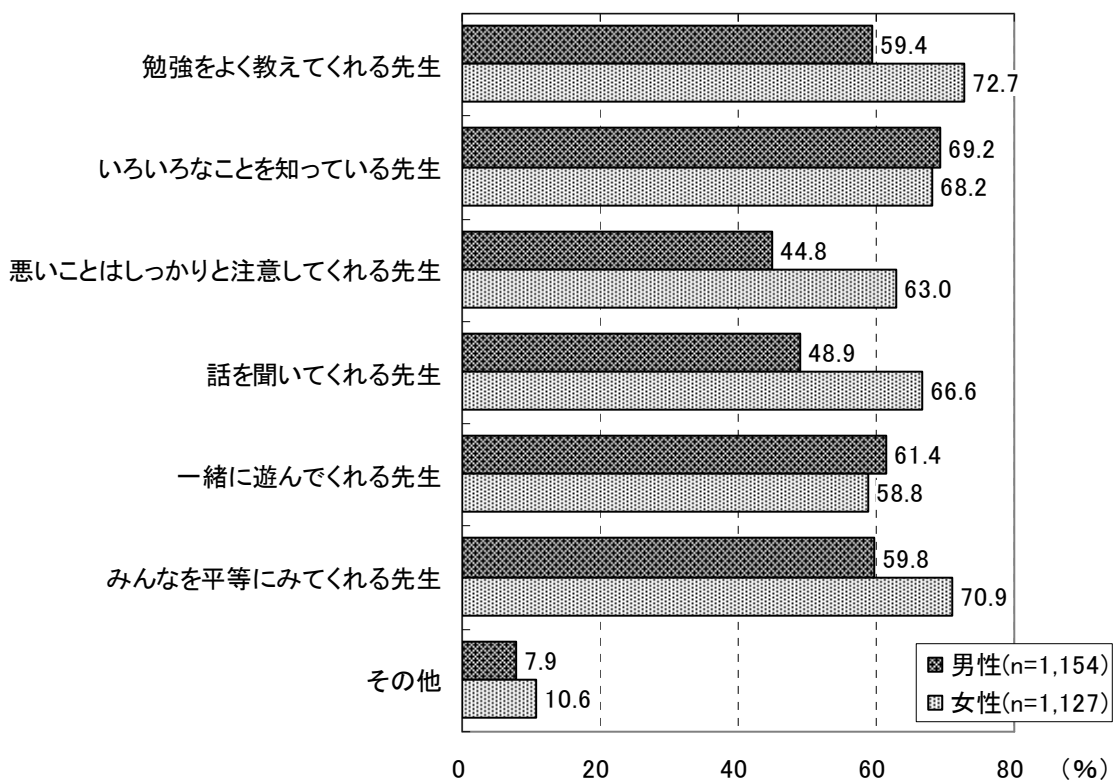
問8 あなたは、どのような先生に教わりたいですか。(あてはまるものすべてに○)

どのような先生に教わりたいかについては、「いろいろなことを知っている先生」が最も多く67.7%、次いで「勉強をよく教えてくれる先生」が64.9%、「みんなを平等にみてる先生」が64.2%などとなっています。



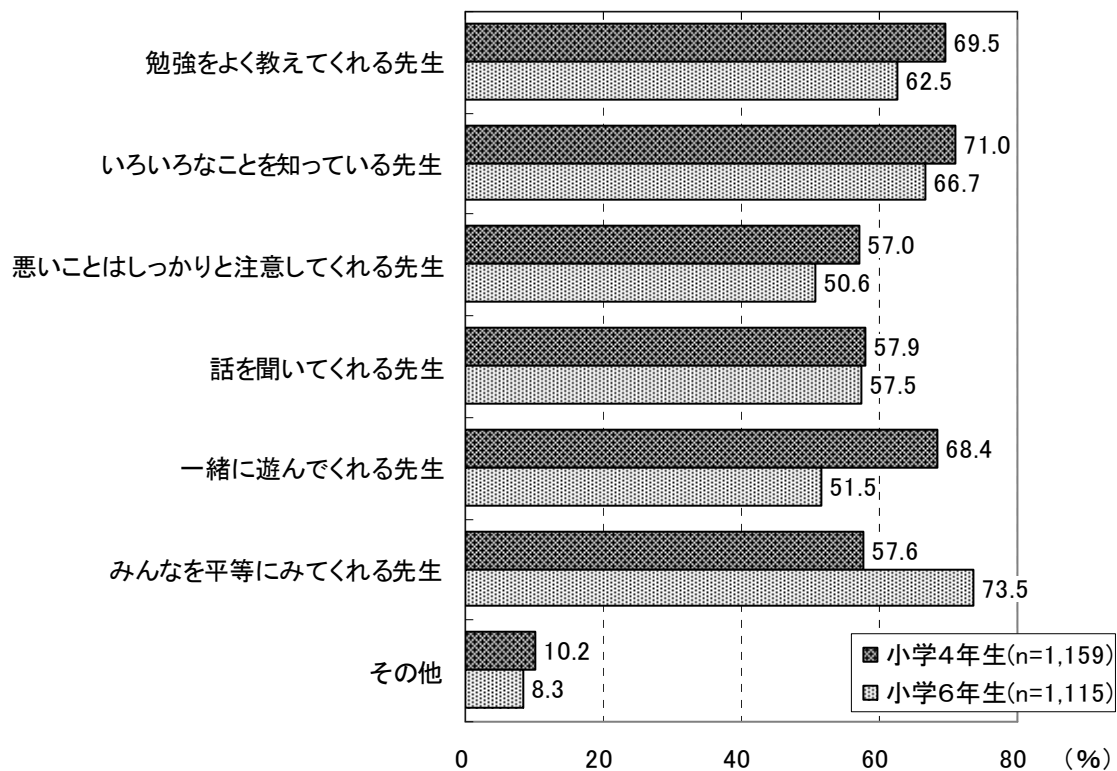
【性別】

性別でみると、「勉強をよく教えてくれる先生」「みんなを平等にみてる先生」で“女性”が7割を超えています。



### 【学年別】

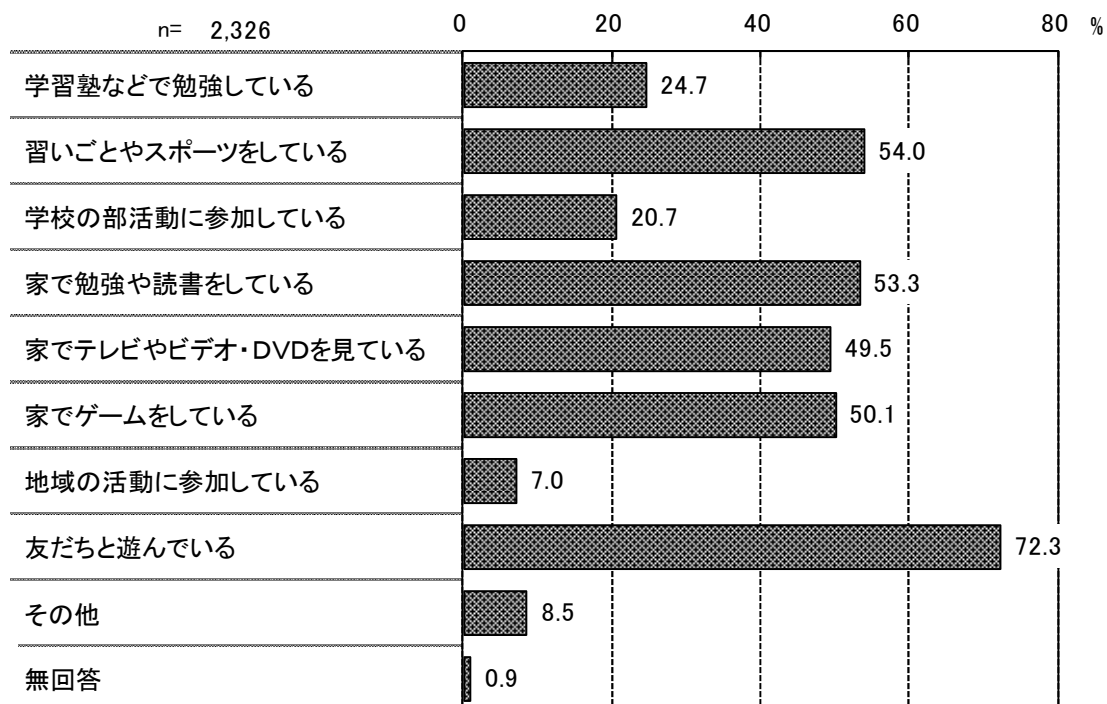
学年別でみると、“小学4年生”では「いろいろなことを知っている先生」が7割を超えています。一方、“小学6年生”では「みんなを平等にみてる先生」が7割を超えています。



### 3. 放課後や土日の過ごし方について

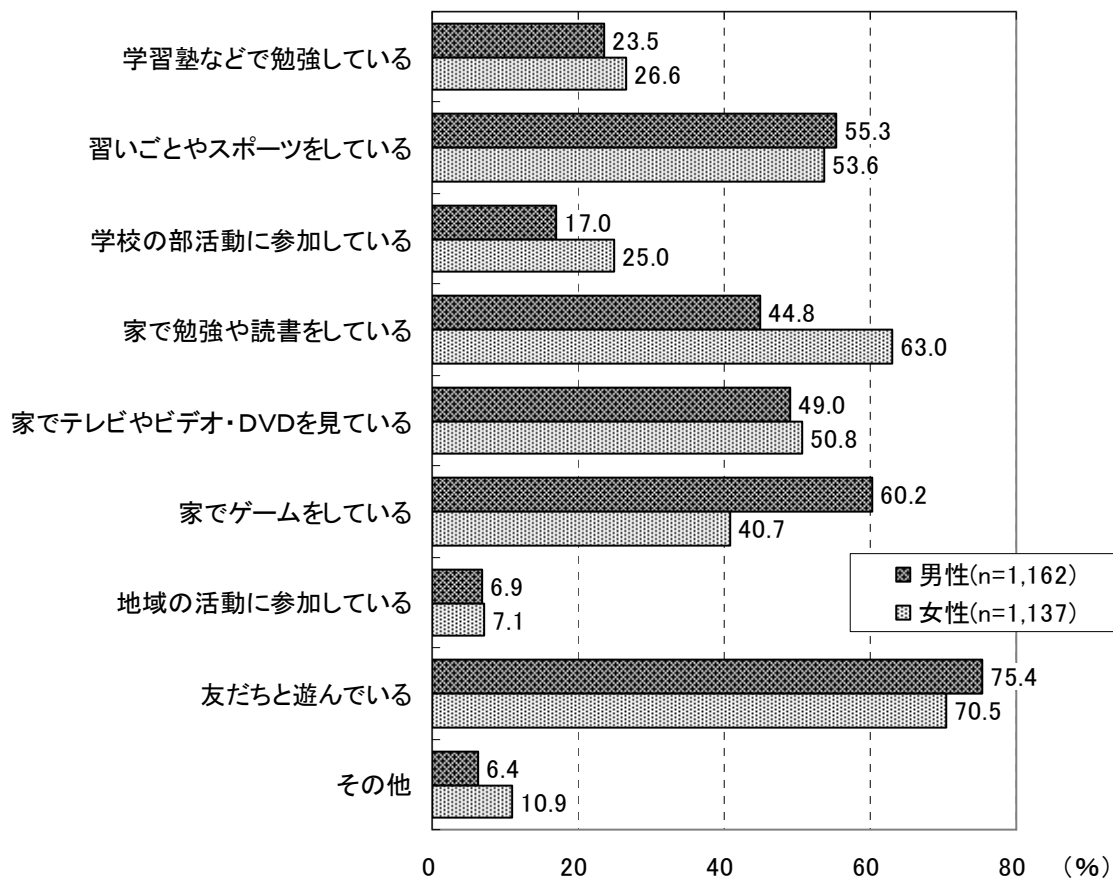
問9 あなたは、ふだん放課後に何をして過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの放課後の過ごし方については、「友だちと遊んでいる」が最も多く72.3%、次いで「習いごとやスポーツをしている」が54.0%、「家で勉強や読書をしている」が53.3%、「家でゲームをしている」が50.1%、「家でテレビやビデオ・DVDを見ている」が49.5%などとなっています。



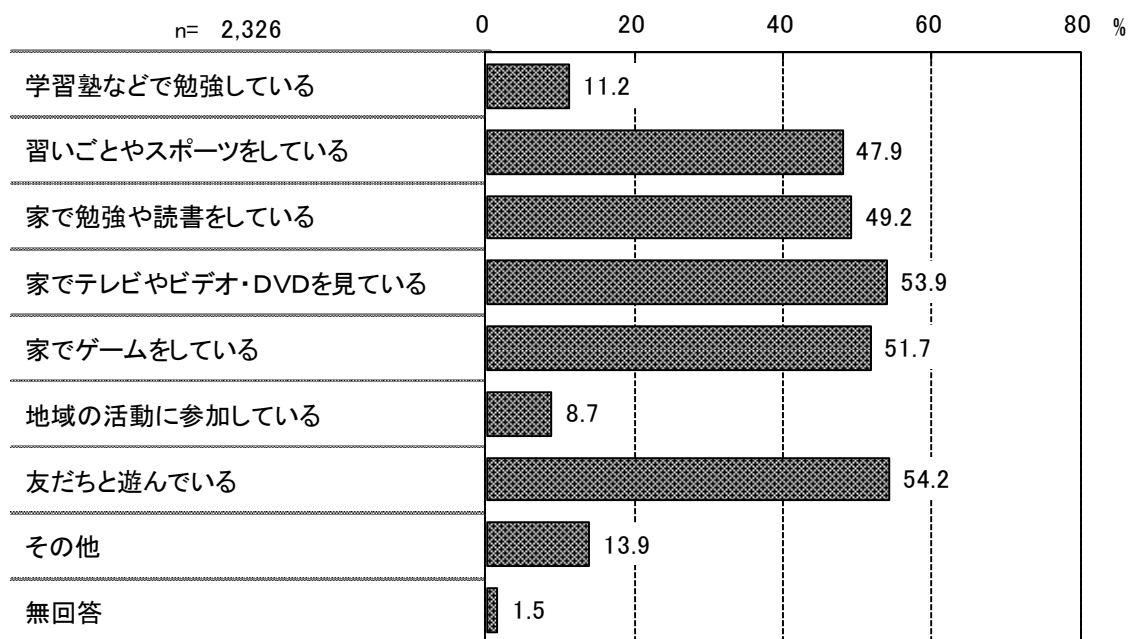
### 【性別】

性別でみると、「家でゲームをしている」「友だちと遊んでいる」では“男性”の割合が高く、「家で勉強や読書をしている」では“女性”の割合が高くなっています。



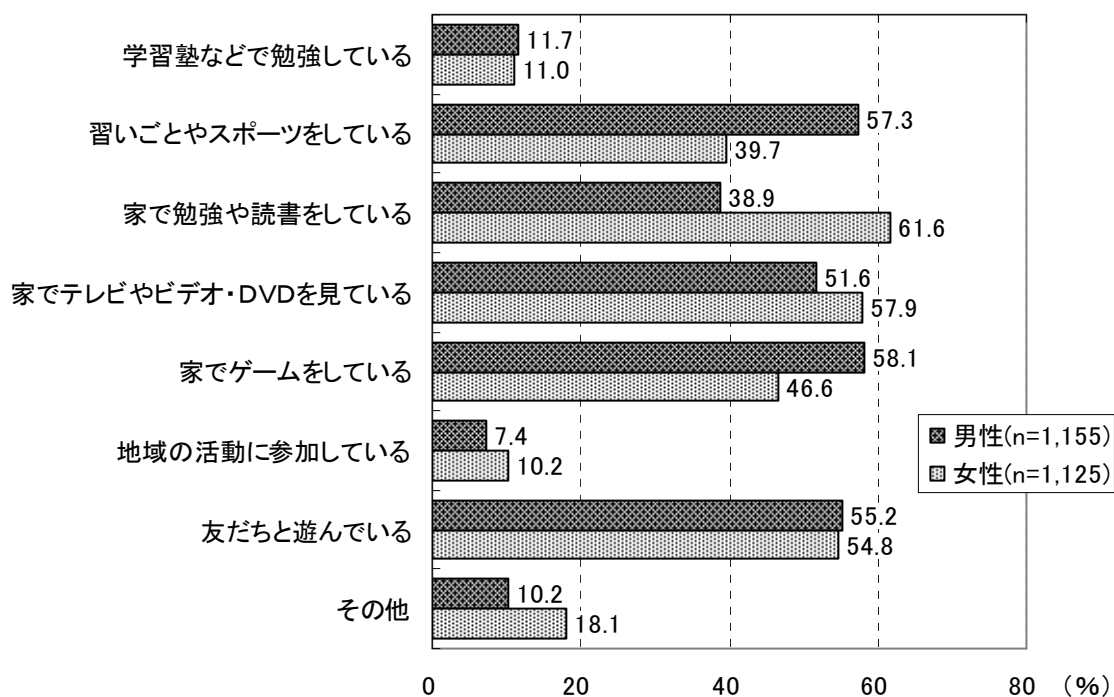
問 10 あなたは、土曜日や日曜日に何をして過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜日や日曜日にどのような過ごし方をしているかについては、「友だちと遊んでいる」が最も多く 54.2%、次いで「家でテレビやビデオ・DVDを見ている」が 53.9%、「家でゲームをしている」が 51.7%、「家で勉強や読書をしている」が 49.2%、「習いごとやスポーツをしている」が 47.9%などとなっています。



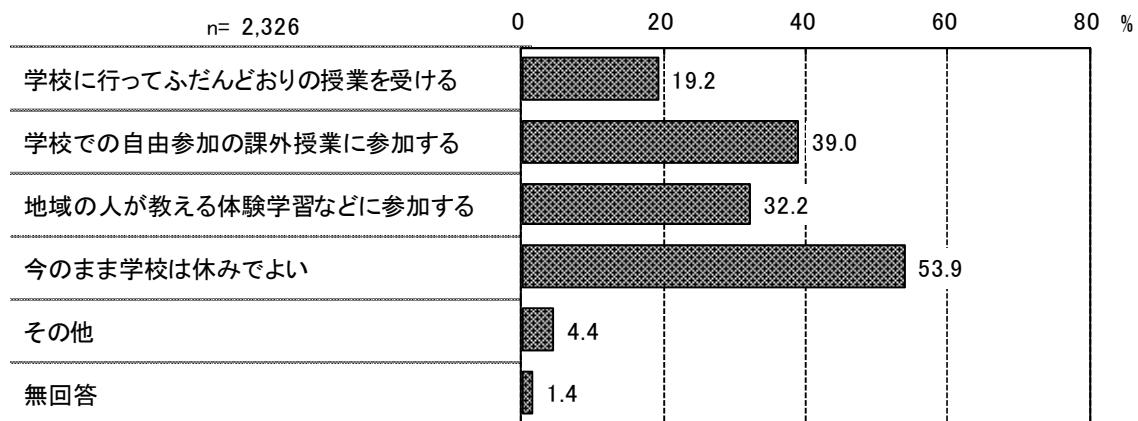
### 【性別】

性別でみると、「習いごとやスポーツをしている」では“男性”の割合が高く、「家で勉強や読書をしている」では“女性”の割合が高くなっています。



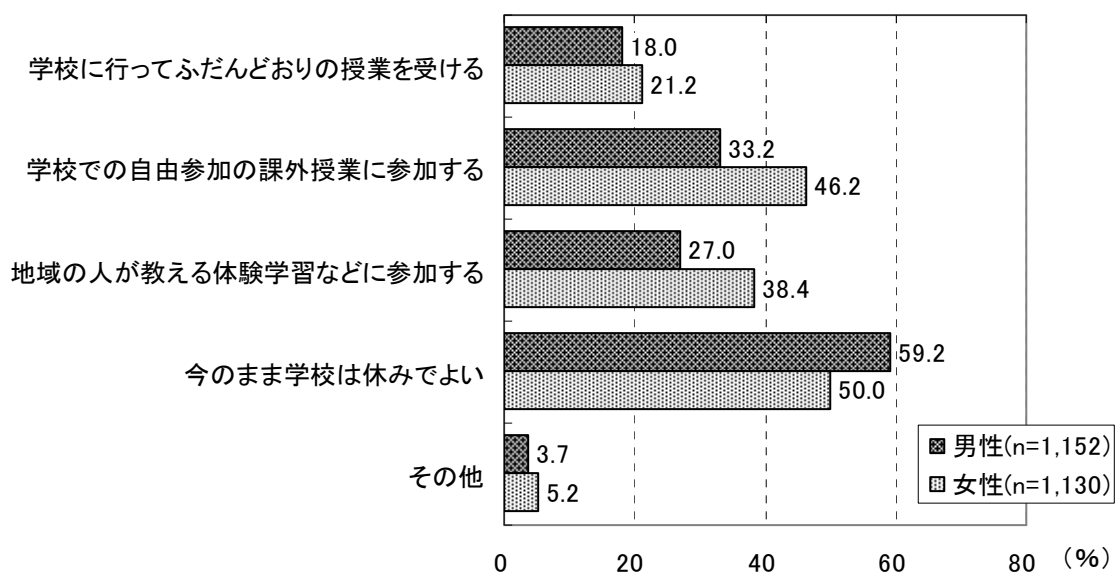
問 11 あなたは、土曜日に授業や学習する機会があるとしたら、どんなことができたらいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

土曜日に授業や学習する機会があるとしたら、どんなことができたらいいと思うかについては、「学校での自由参加の課外授業に参加する」が 39.0%、「地域の人から教える体験学習などに参加する」が 32.2%、「学校に行ってふだんどおりの授業を受ける」が 19.2%となっています。また、「今のまま学校は休みでよい」が 53.9%となっています。



【性別】

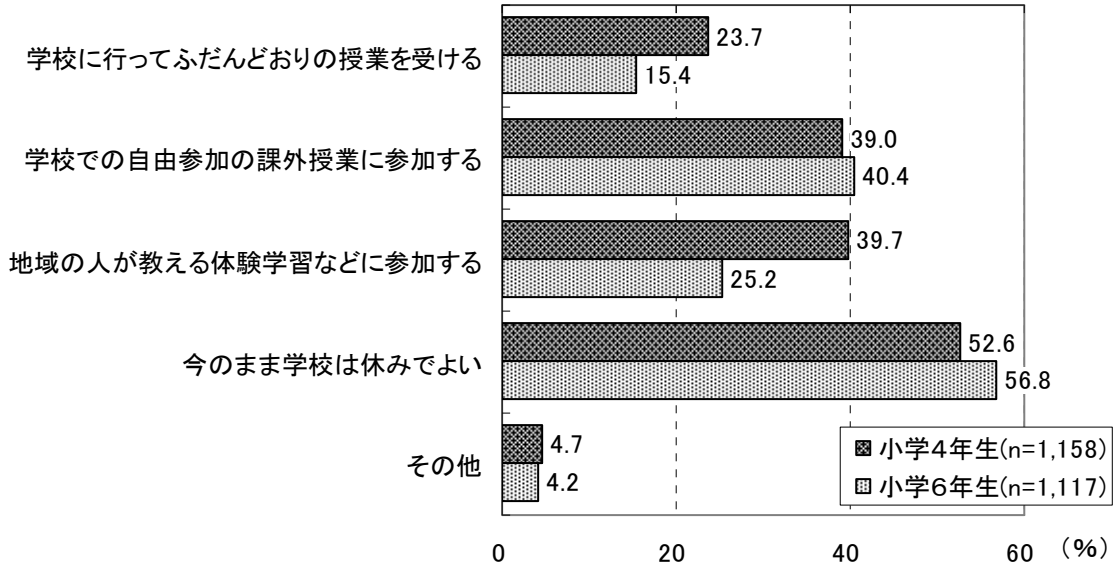
性別でみると、「学校での自由参加の課外授業に参加する」では“女性”が4割半ばと高い割合となっています。また、「今のまま学校は休みでよい」では“男性”が6割近くとなっています。





【学年別】

学年別でみると、「地域の人から教える体験学習などに参加する」では“小学4年生”がほぼ4割と高い割合となっています。

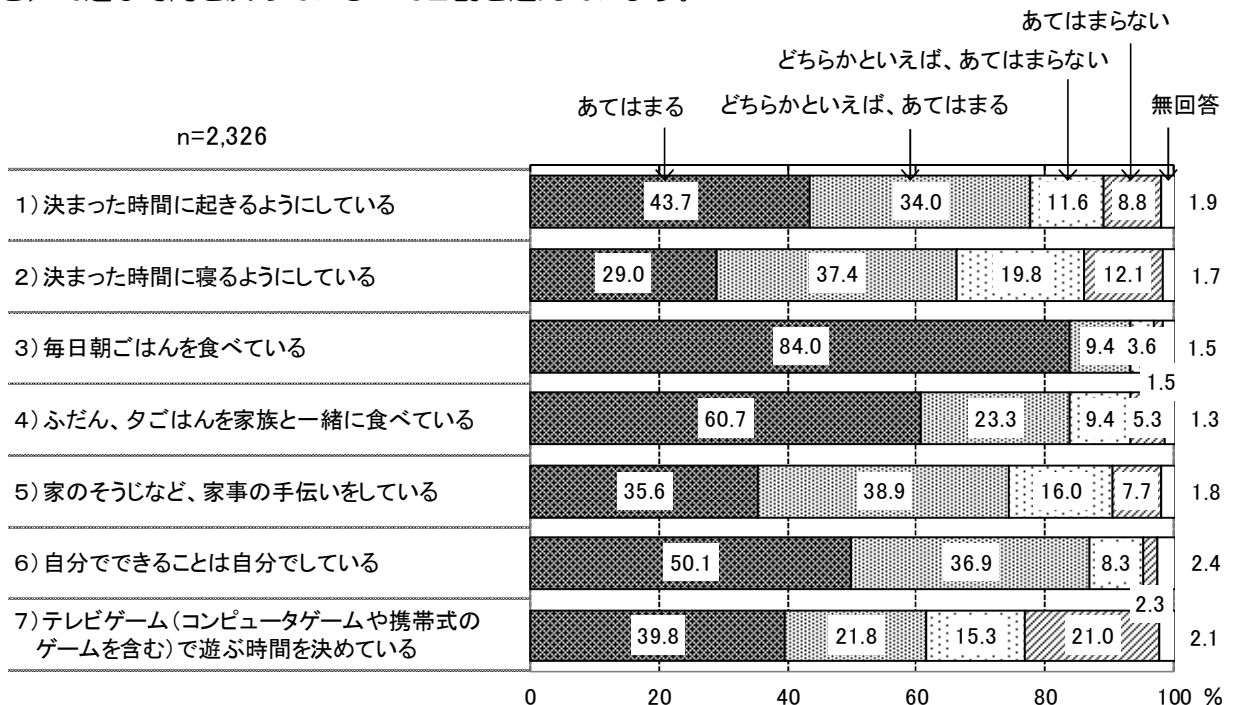


4. 家での様子について

問12 つぎのうち、あなたのふだんの生活に当てはまるのはどのようなことですか。

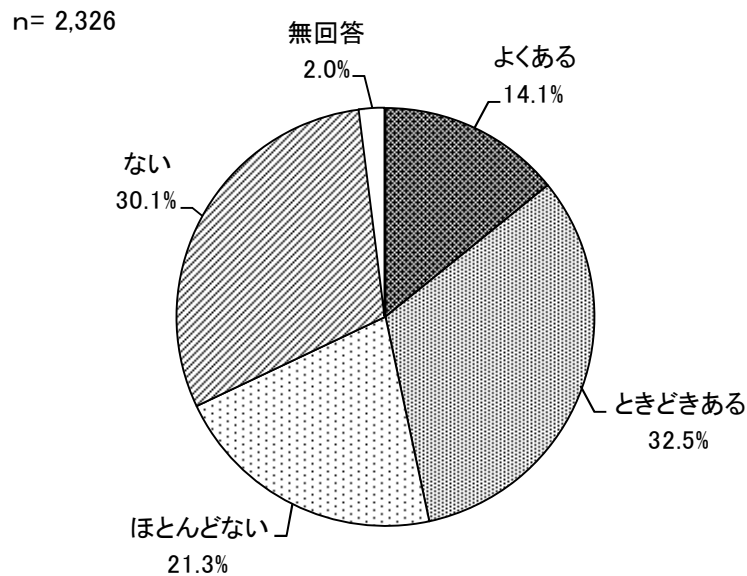
(それぞれに1つずつ〇)

ふだんの生活にあてはまるものについて、「あてはまる」では“3) 毎日朝ごはんを食べている”で8割半ば、“4) ふだん、夕ごはんを家族と一緒に食べている”で6割となっています。一方、「あてはまらない」では“7) テレビゲーム(コンピュータゲームや携帯式のゲームを含む)で遊ぶ時間を決めている”で2割を超えています。



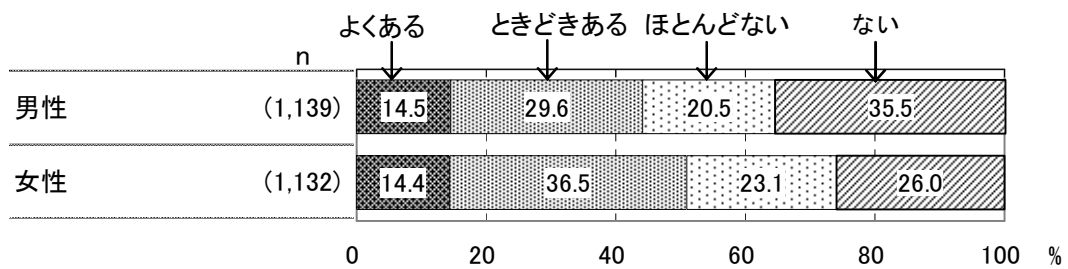
問 13 あなたは、心配ごとなどで不安を感じることがありますか。(1つだけ〇)

心配ごとなどで不安を感じることがあるかについては、「ときどきある」が最も多く 32.5%、次いで「ない」が 30.1%、「ほとんどない」が 21.3%、「よくある」が 14.1%となっています。



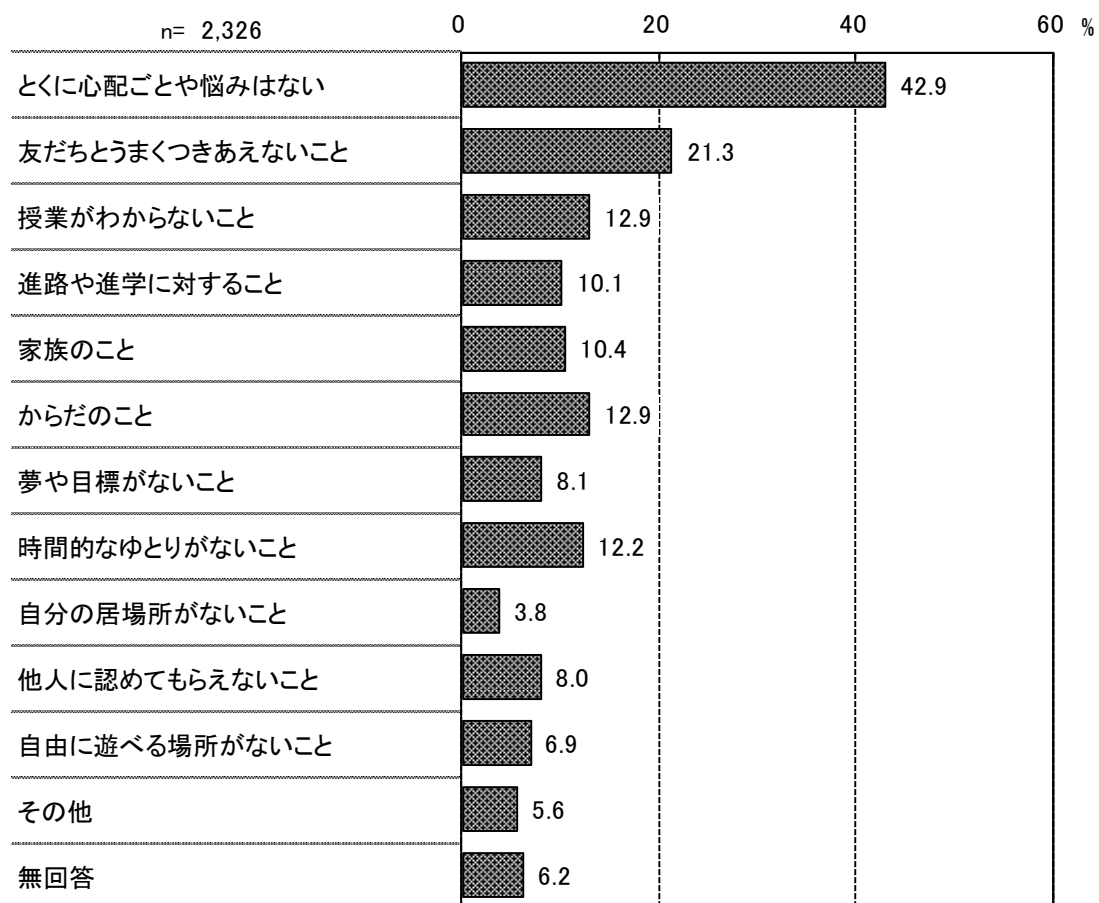
【性別】

性別でみると、「よくある」「ときどきある」を合わせると5割を超える“女性”が不安を感じることがあり、“男性”と比べて高い割合となっています。



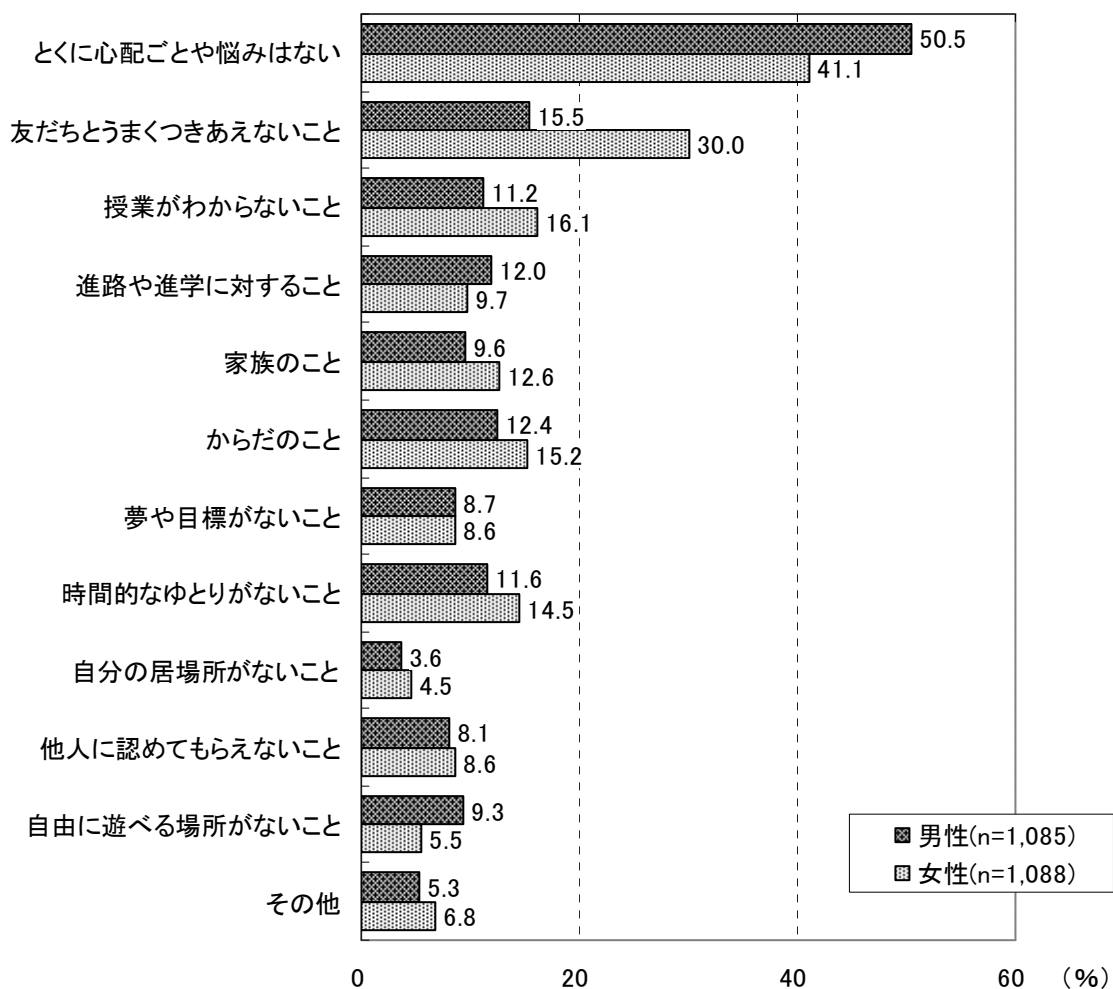
問 14 あなたの心配ごとや悩みは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みの理由については、「友だちとうまくつきあえないこと」が 21.3%、「授業がわからないこと」、「からだのこと」がともに 12.9%、「時間的なゆとりがないこと」が 12.2% などとなっています。また、「とくに心配ごとや悩みはない」が 42.9%となっています。



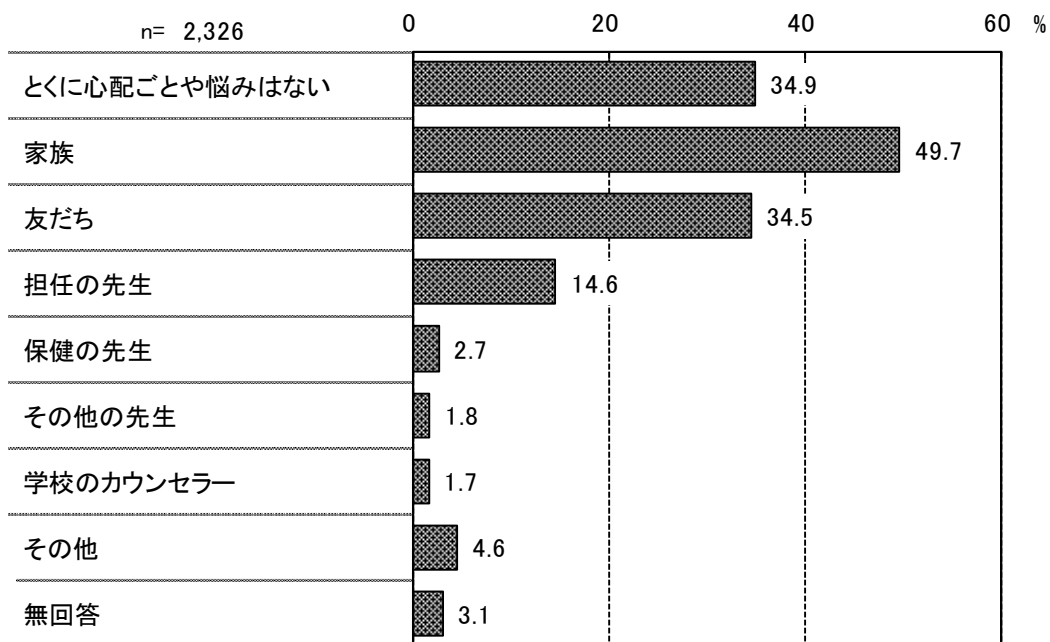
### 【性別】

性別でみると、「友だちとうまくつきあえないこと」で悩む“女性”が3割と“男性”と比べて高い割合となっています。なお、「とくに心配ごとや悩みはない」とした“男性”は5割を超えています。



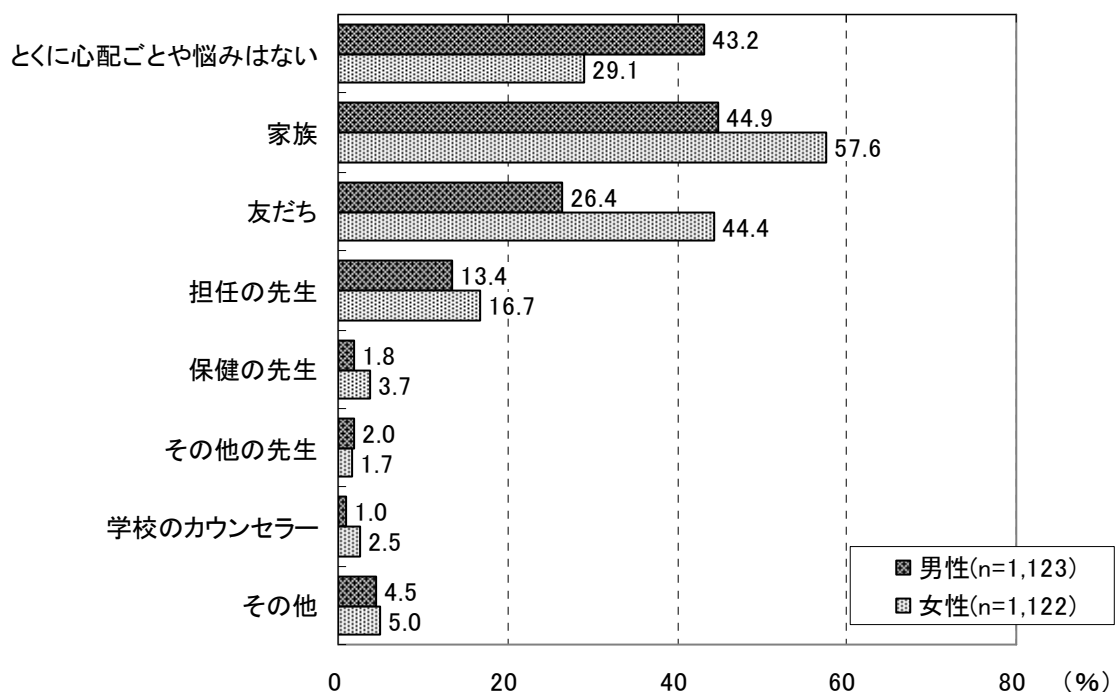
問 15 心配ごとや悩みは、誰に相談することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みを誰に相談することが多いかについては、「家族」が最も多く 49.7%、「友だち」が 34.5%、「担任の先生」が 14.6%などとなっています。また、「とくに心配ごとや悩みはない」が 34.9%となっています。



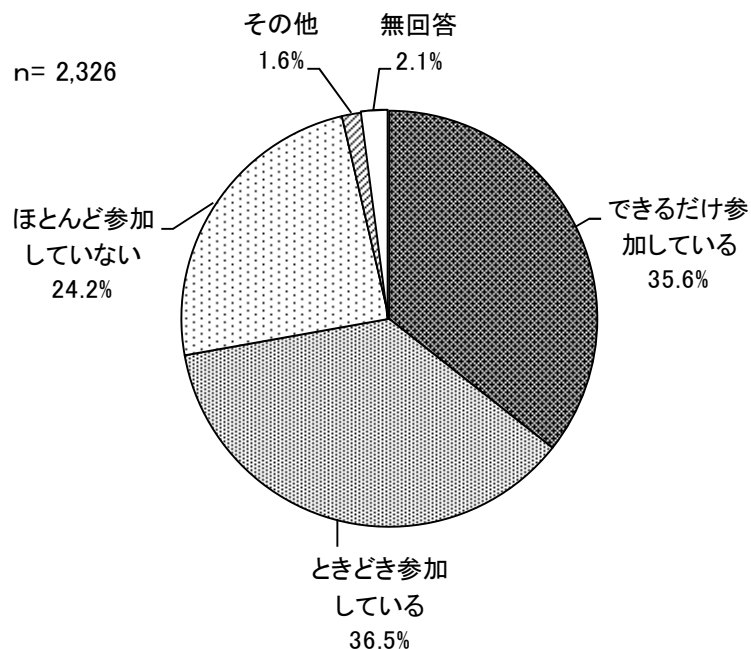
【性別】

性別でみると、悩みごとを持つのは“女性”が多く、相談相手は“男性”“女性”ともに「家族」「友だち」が多くなっています。



問 16 あなたは地域の行事などにどのくらい参加していますか。(1つだけ○)

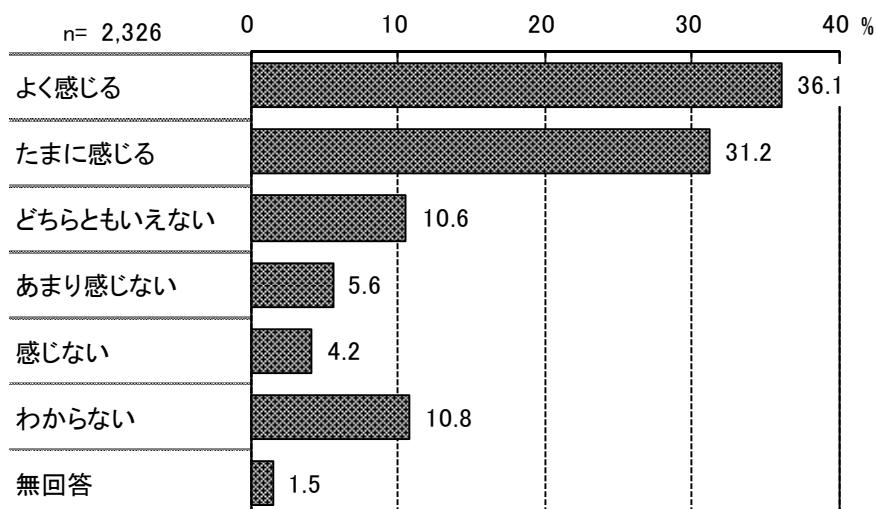
地域の行事にどのくらい参加するかについては、「ときどき参加している」が最も多く36.5%、次いで「できるだけ参加している」35.6%、「ほとんど参加していない」24.2%などとなっています。



問 17 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。

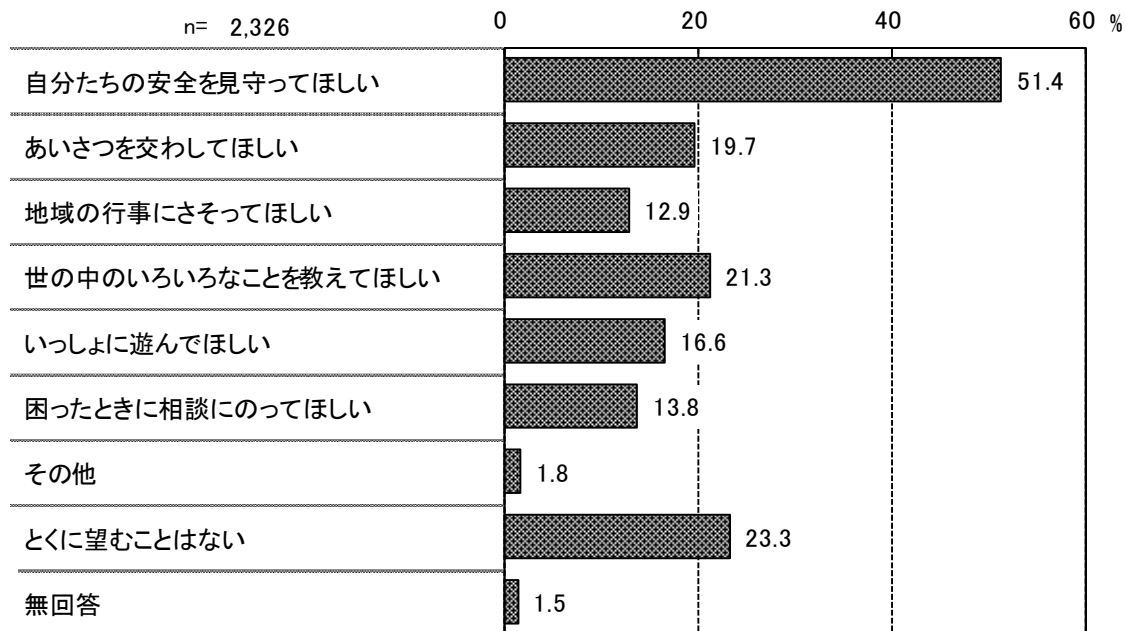
(1つだけ○)

地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるかについては、「よく感じる」が最も多く36.1%、「たまに感じる」が31.2%などとなっています。



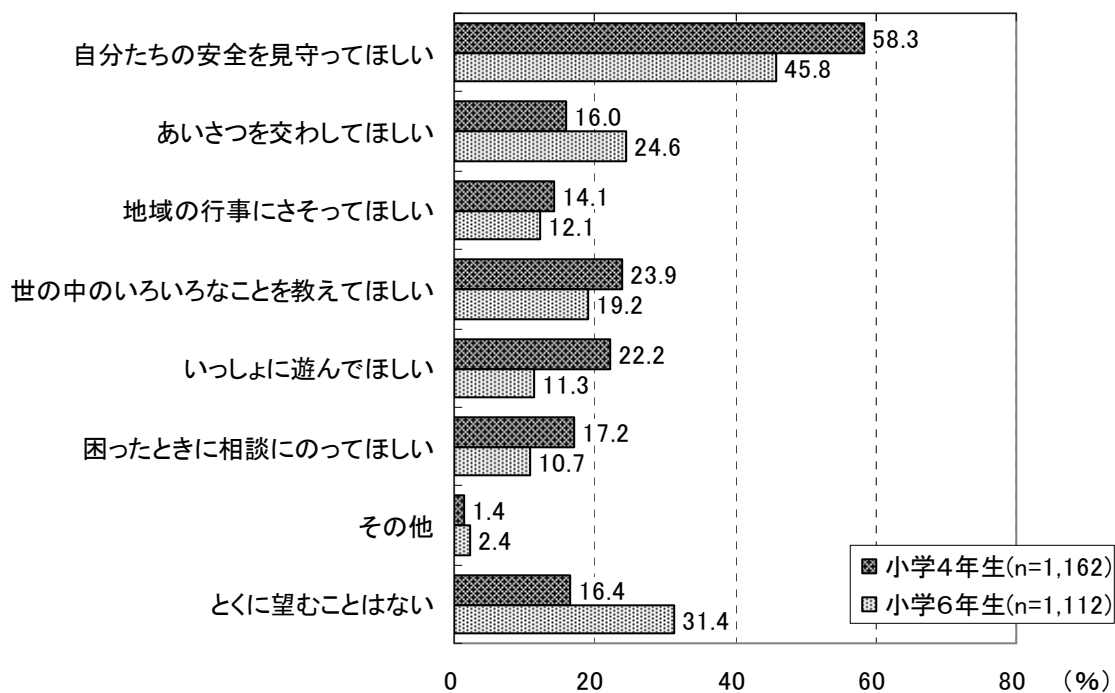
問 18 あなたの住んでいる地域の大人にどんなことを望みますか。(2つまで〇)

地域の大人にどのようなことを望むかについては、「自分たちの安全を見守ってほしい」が51.4%と最も多く、「世の中のいろいろなことを教えてほしい」が21.3%、「あいさつを交わしてほしい」が19.7%などとなっています。また、「とくに望むことはない」が23.3%となっています。



【学年別】

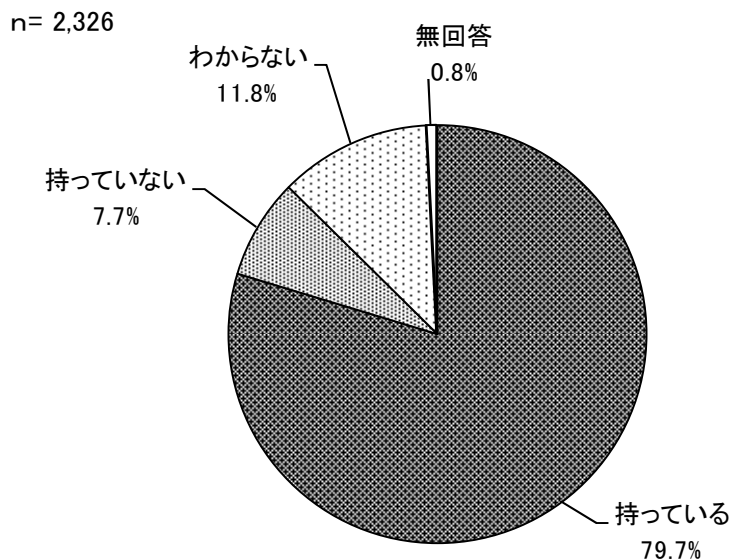
学年別でみると、「自分たちの安全を見守ってほしい」では“小学4年生”が6割近くと“小学6年生”と比べて高い割合となっています。



## 5. 将来について

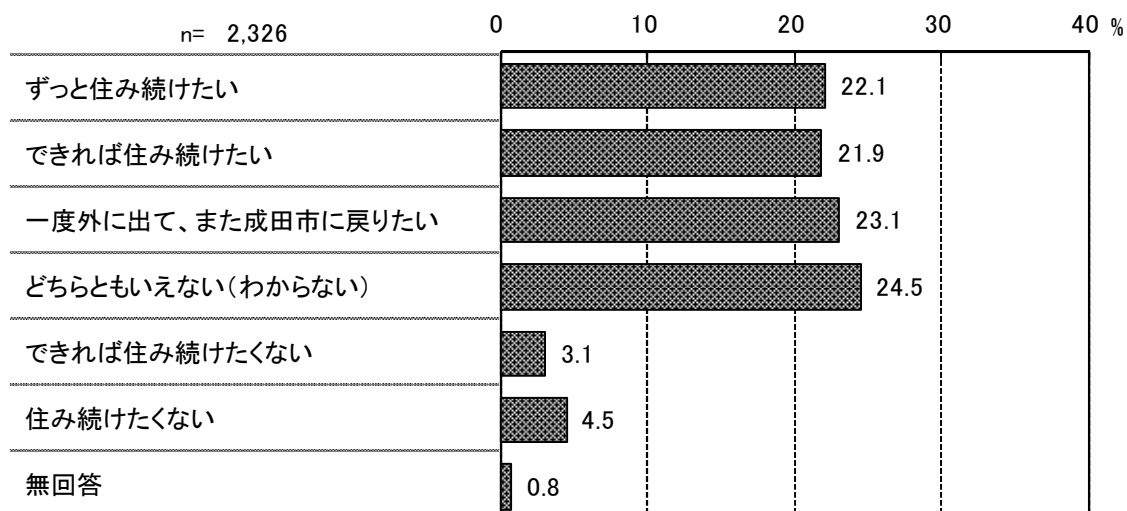
問 19 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(1つだけ○)

将来の夢や目標については、「持っている」が最も多く 79.7%、次いで「わからない」が 11.8%、「持っていない」が 7.7%となっています。



問 20 あなたは、将来も成田市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○)

将来も成田市に住み続けたいと思うかについては、「どちらともいえない(わからない)」が最も多く 24.5%、次いで「一度外に出て、また成田市に戻りたい」が 23.1%、「ずっと住み続けたい」が 22.1%、「できれば住み続けたい」が 21.9%などとなっています。



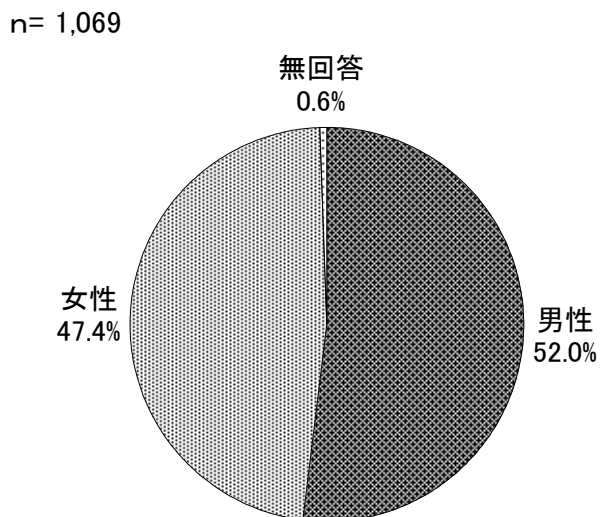


## 第3章 中学生調査の結果

### 1. あなたについて

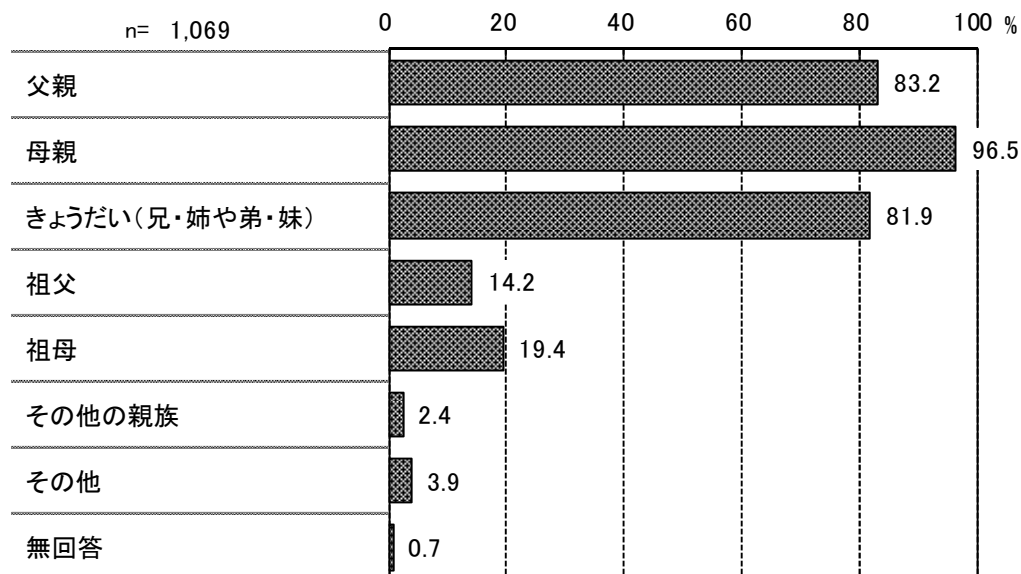
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○)

性別については、「男性」が52.0%、「女性」が47.4%となっています。



問2 あなたと一緒に住んでいる家族はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

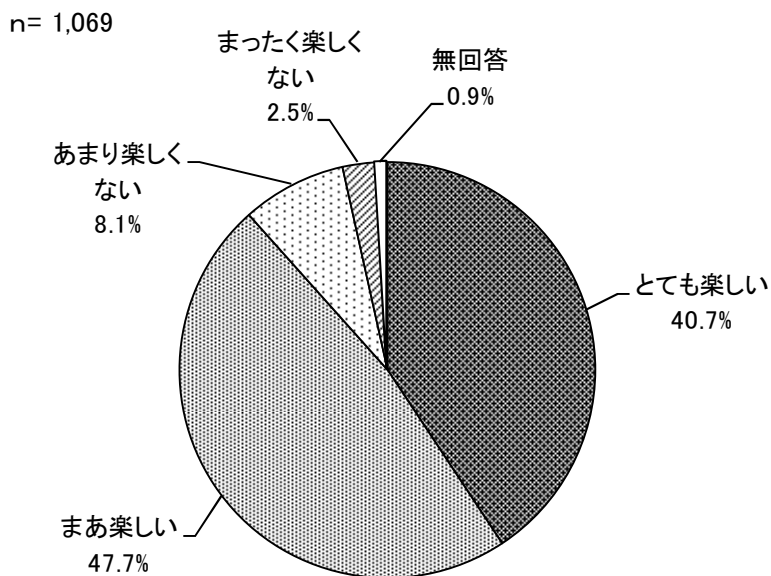
一緒に住んでいる家族については「母親」が最も多く96.5%、次いで「父親」が83.2%「きょうだい(兄・姉や弟・妹)」が81.9%、「祖母」が19.4%、「祖父」が14.2%などとなっています。



## 2. 学校について

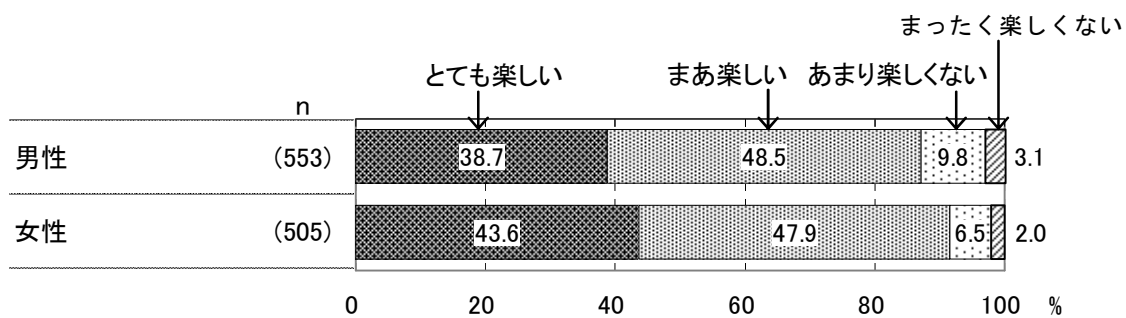
問3 学校生活は楽しいですか。(1つだけ〇)

学校生活が楽しいかについては、「まあ楽しい」が最も多く47.7%、次いで「とても楽しい」が40.7%、「あまり楽しくない」が8.1%、「まったく楽しくない」が2.5%となっています。



### 【性別】

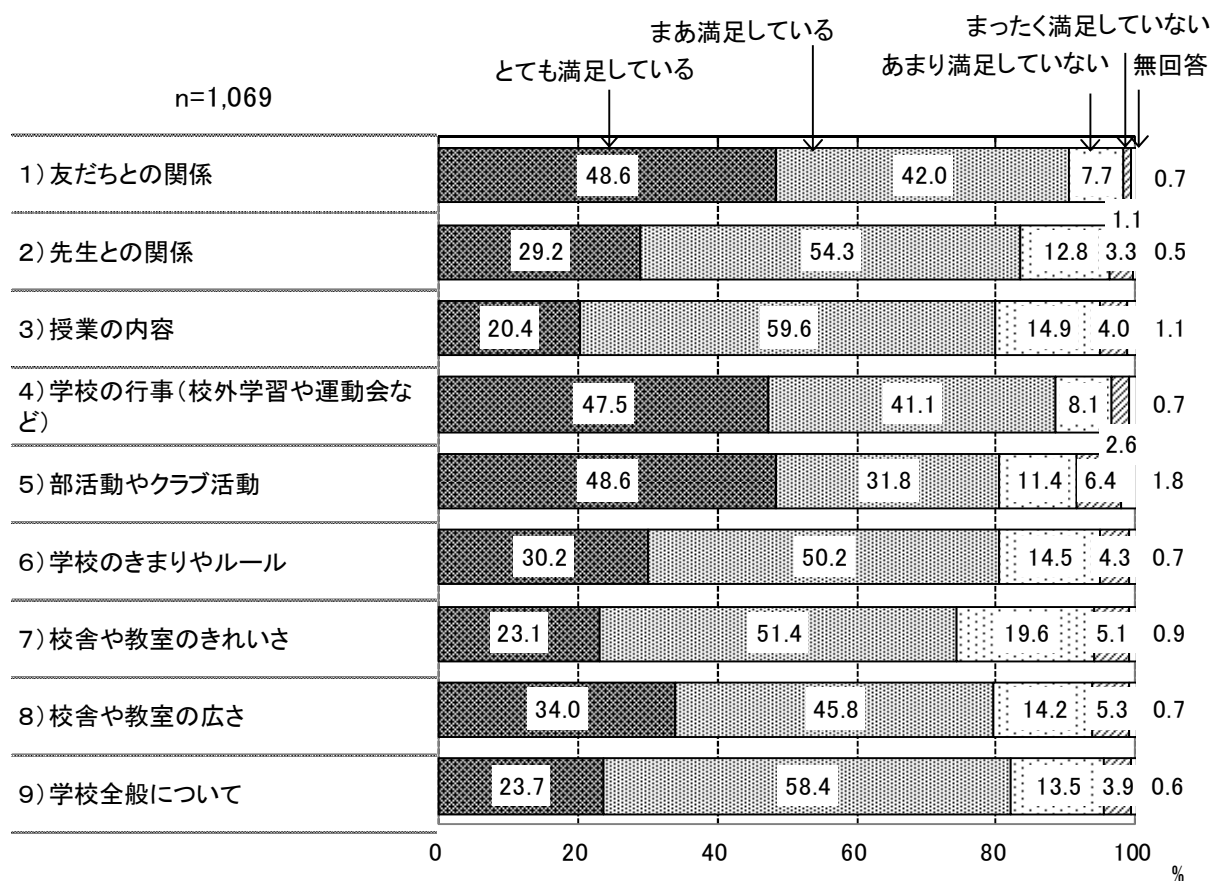
性別でみると、“女性”は「とても楽しい」「まあ楽しい」を合わせる9割を超えています。



問4 あなたは、学校生活に関する次のようなことに、どのくらい満足していますか。

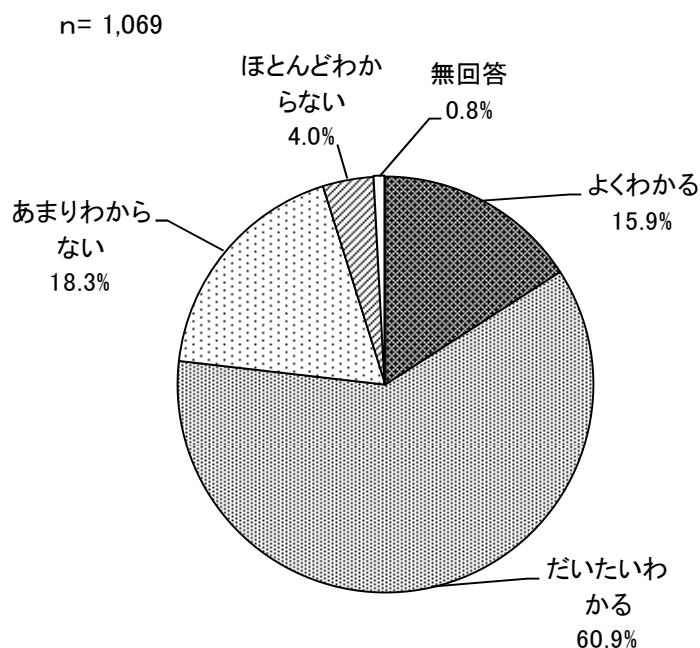
(それぞれにひとつずつ〇)

学校生活に関する満足度については、“5) 部活動やクラブ活動”や“1) 友だちとの関係”、“4) 学校の行事(校外学習や運動会など)”で5割近くが「とても満足」と回答しています。他の項目についても「とても満足」と「まあ満足」の割合が高く、2つを合わせた『満足』は、最も低い“7) 校舎や教室のきれいさ”でも7割を超えています。また、“9) 学校全般について”では「とても満足している」が2割を超え、「まあ満足している」が6割近く、合わせた『満足』は8割を超えています。



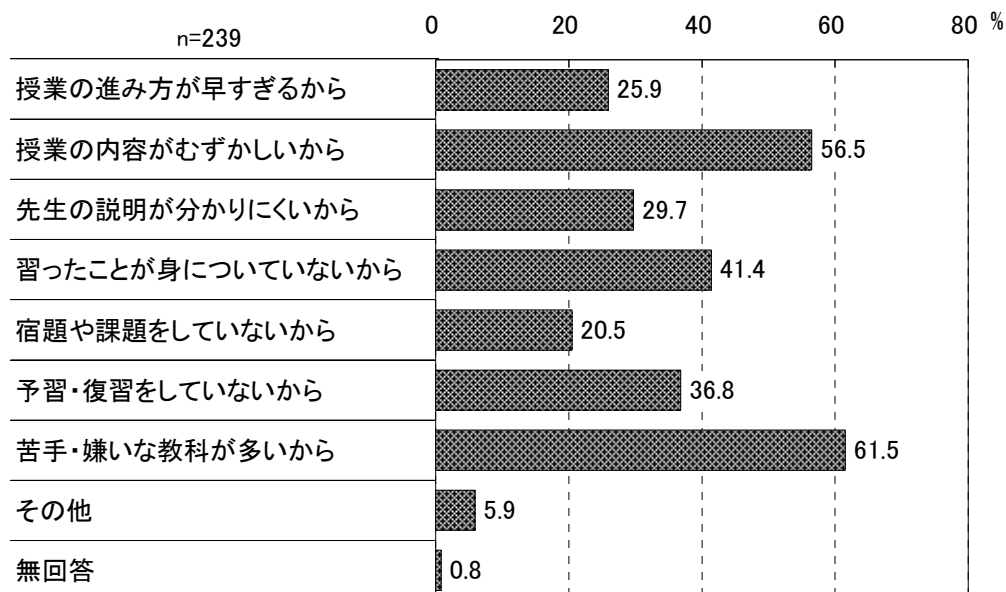
問5 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。(1つだけ○)

学校の授業がどのくらい分かるかについては、「だいたいわかる」が最も多く60.9%、次いで「あまりわからない」が18.3%、「よくわかる」が15.9%、「ほとんどわからない」が4.0%となっています。



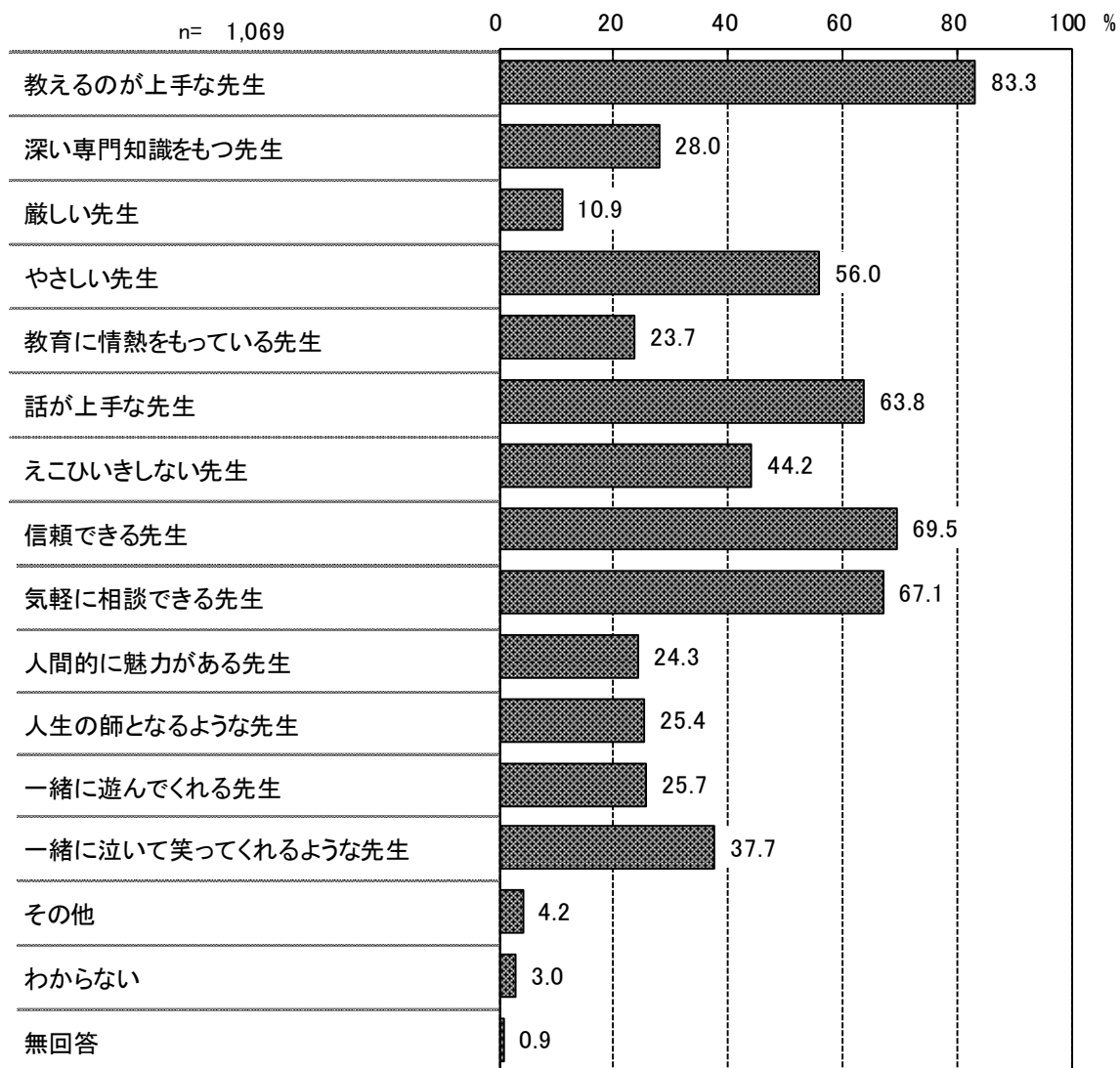
問6 授業がわからない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

授業がわからない理由については、「苦手・嫌いな教科が多いから」が最も多く61.5%、次いで「授業の内容がむずかしいから」が56.5%、「習ったことが身についていないから」が41.4%、「予習・復習をしていないから」が36.8%、「先生の説明が分かりにくいから」が29.7%などとなっています。



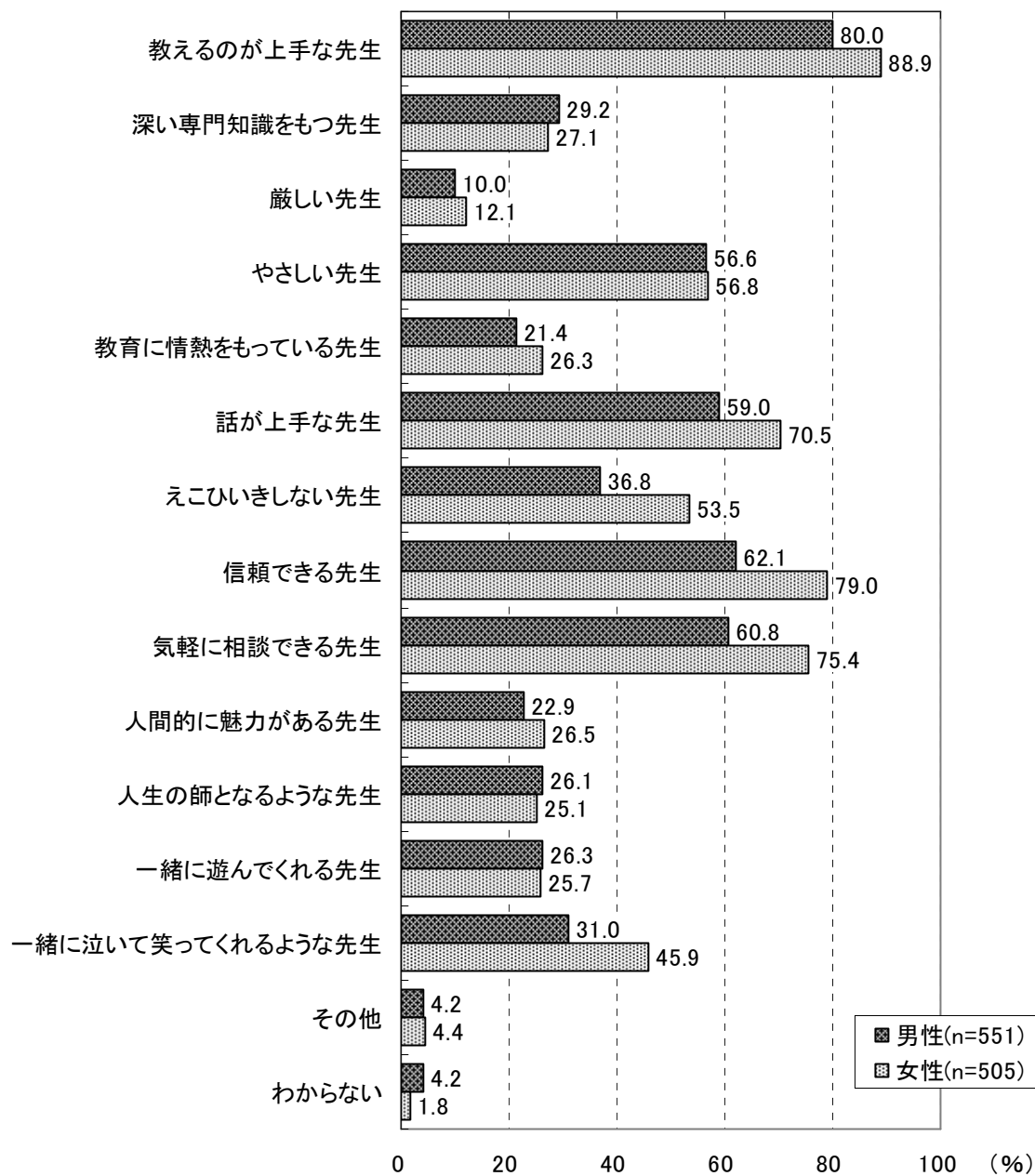
問7 あなたは、どのような先生に教わりたいですか。(あてはまるものすべてに○)

どのような先生に教わりたいかについては、「教えるのが上手な先生」が最も多く 83.3%、次いで「信頼できる先生」が 69.5%、「気軽に相談できる先生」が 67.1%、「話が上手な先生」が 63.8%、「やさしい先生」が 56.0%などとなっています。



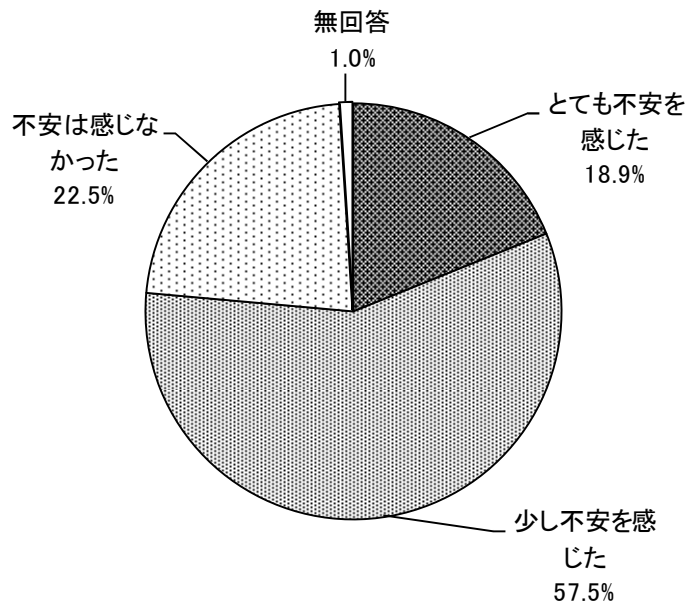
【性別】

上位を性別で見ると、「教えるのが上手な先生」「信頼できる先生」「気軽に相談できる先生」「話が上手な先生」ともに“女性”の割合が“男性”と比べて高くなっています。



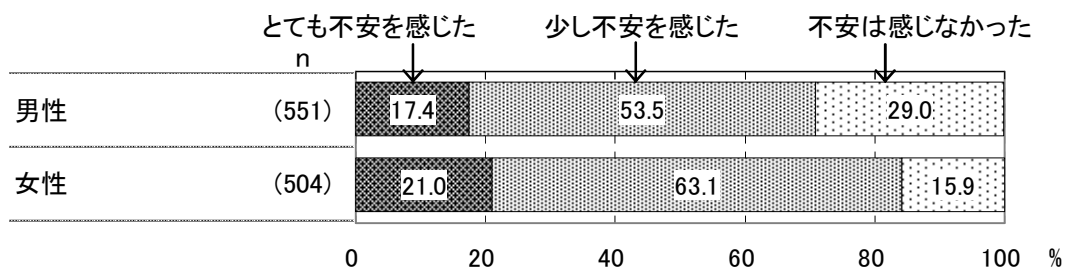
問8 あなたは、小学生から中学生になるときに、不安を感じましたか。(1つだけ○)  
 進級するとき不安を感じたかについては、「少し不安を感じた」が最も多く57.5%、次いで「不安は感じなかった」が22.5%、「とても不安を感じた」が18.9%となっています。

n= 1,069



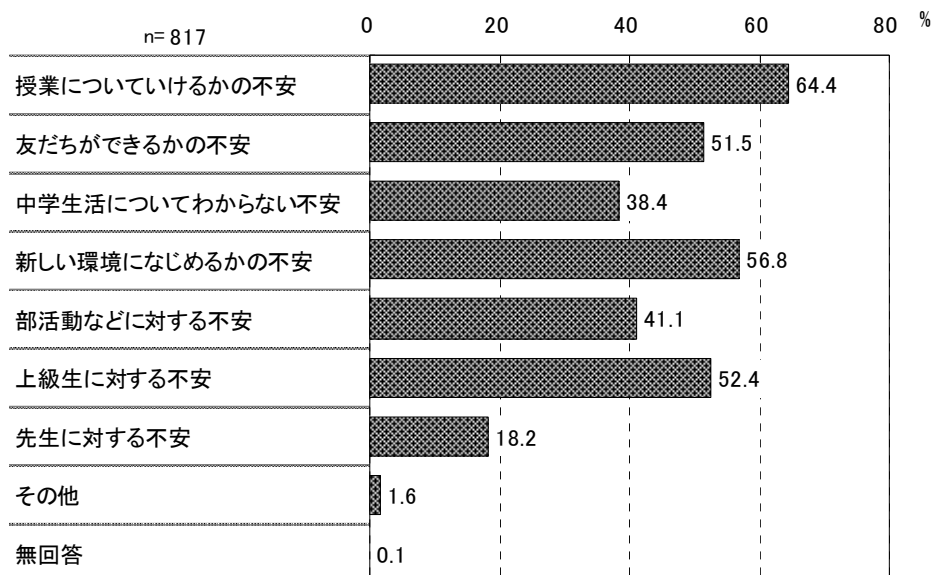
【性別】

性別でみると、「とても不安を感じた」「少し不安を感じた」を合わせると、“女性”は8割を超え、“男性”と比べて高い割合となっています。



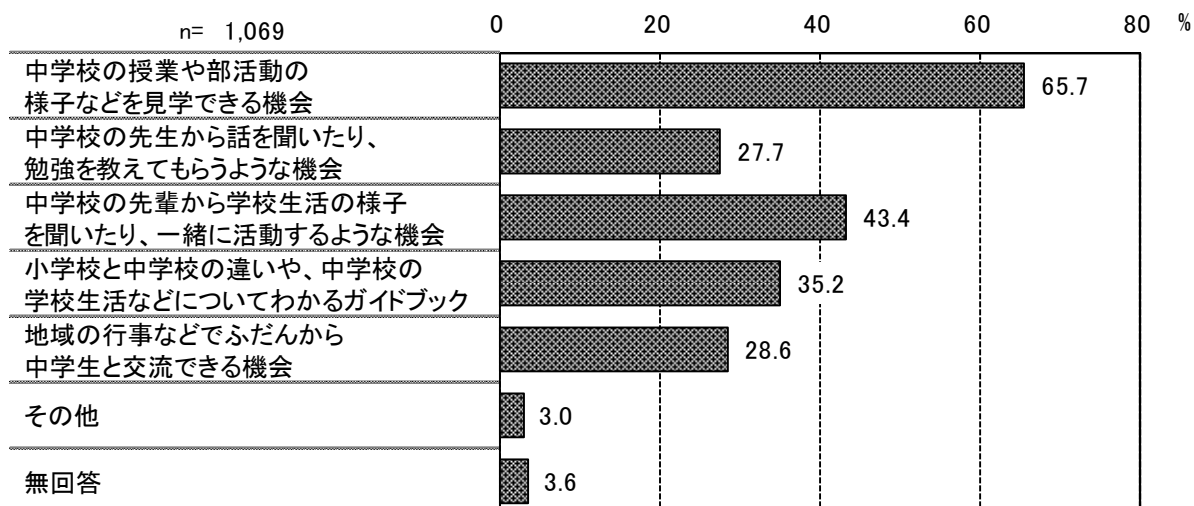
問9 問8で「1」または「2」を答えた人におたずねします。不安の内容はどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

不安の内容については、「授業についていけるのか不安」が最も多く64.4%、次いで「新しい環境になじめるのか不安」が56.8%、「上級生に対する不安」が52.4%、「友だちができるかの不安」が51.5%「部活動などに対する不安」が41.1%などとなっています。



問10 小学校のときに、どのようなことがあれば、中学校に安心して進学することができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

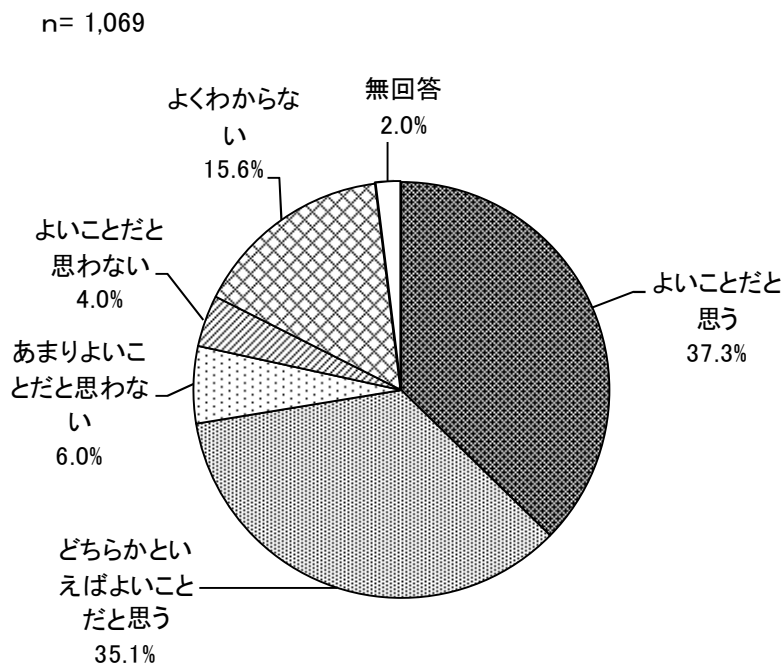
小学校のときに、どのようなことがあれば、中学校に安心して進学することができるかについては、「中学校の授業や部活動の様子などを見学できる機会」が最も多く65.7%、次いで「中学校の先輩から学校生活の様子を聞いたり、一緒に活動するような機会」が43.4%、「小学校と中学校の違いや、中学校の学校生活などについてわかるガイドブック」が35.2%、「地域の行事などでふだんから中学生と交流できる機会」が28.6%、「中学校の先生から話を聞いたり、勉強を教えてもらうような機会」27.7%などとなっています。





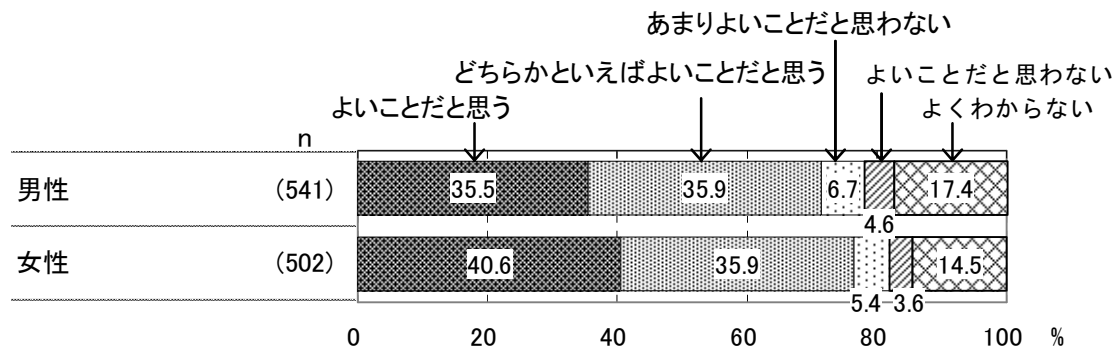
問 11 あなたは、小学校と中学校とが連携して、学校の目標や生活のきまりを統一したり、学校行事などで児童と生徒が交流することについて、どのように思いますか。  
(1つだけ○)

小学校と中学校とが連携して、学校の目標や生活のきまりを統一したり、学校行事などで児童と生徒が交流することについては、「よいことだと思う」が最も多く 37.3%、次いで「どちらかといえばよいことだと思う」が 35.1%、「あまりよいことだと思わない」が 6.0%、「よいことだと思わない」が 4.0%などとなっています。



【性別】

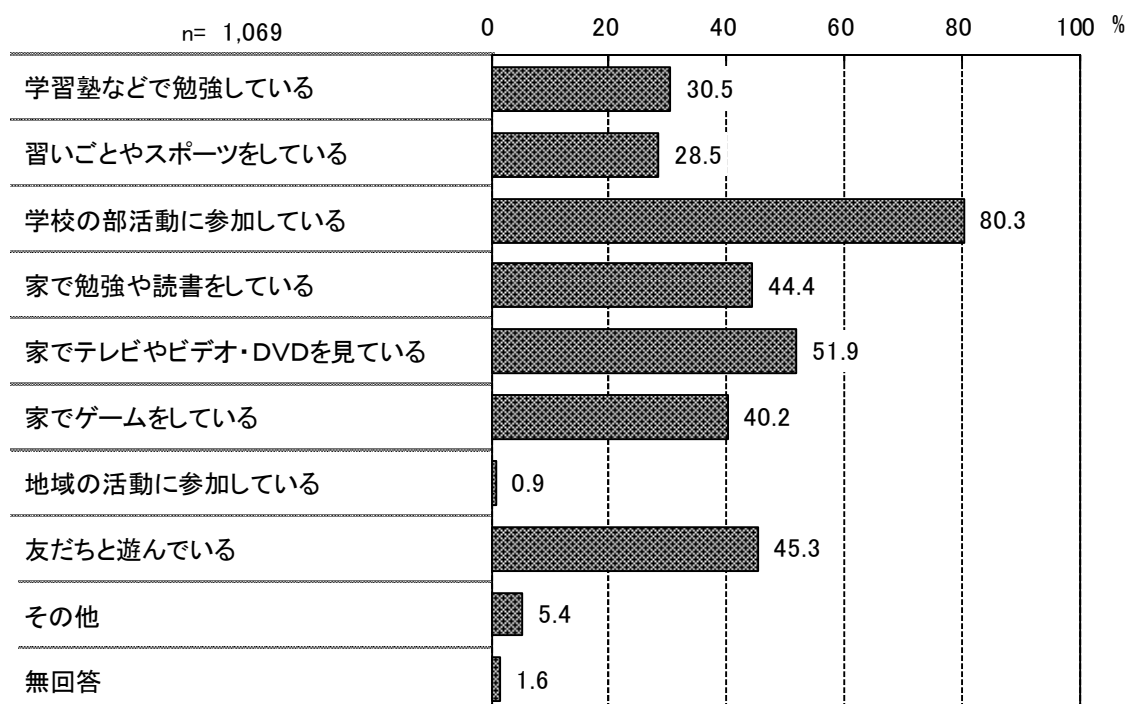
性別でみると、「よいことだと思う」では“女性”が4割を超え、“男性”と比べて高い割合となっています。



### 3. 放課後や土日の過ごし方について

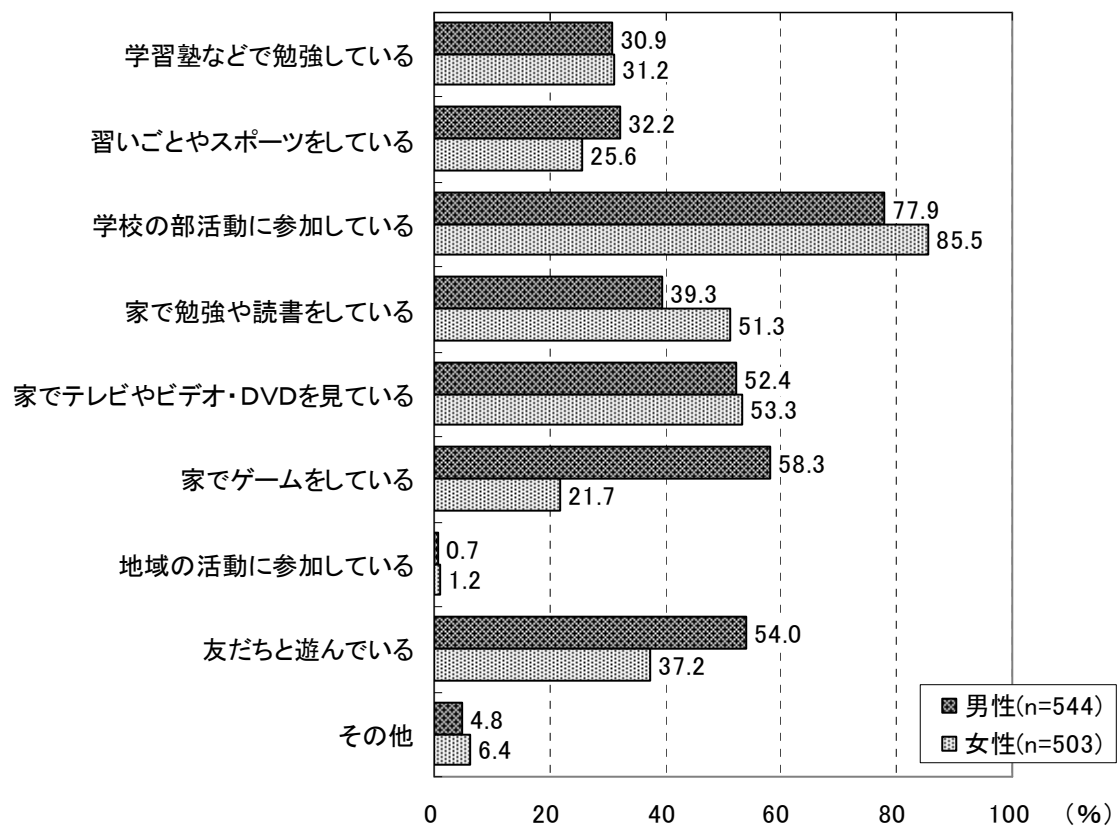
問 12 あなたは、普段放課後に何をして過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

ふだんの放課後の過ごし方については、「学校の部活動に参加している」が最も多く 80.3%、次いで「家でテレビやビデオ・DVDを見ている」が 51.9%、「友だちと遊んでいる」が 45.3%、「家で勉強や読書をしている」が 44.4%、「家でゲームをしている」が 40.2%などとなっています。



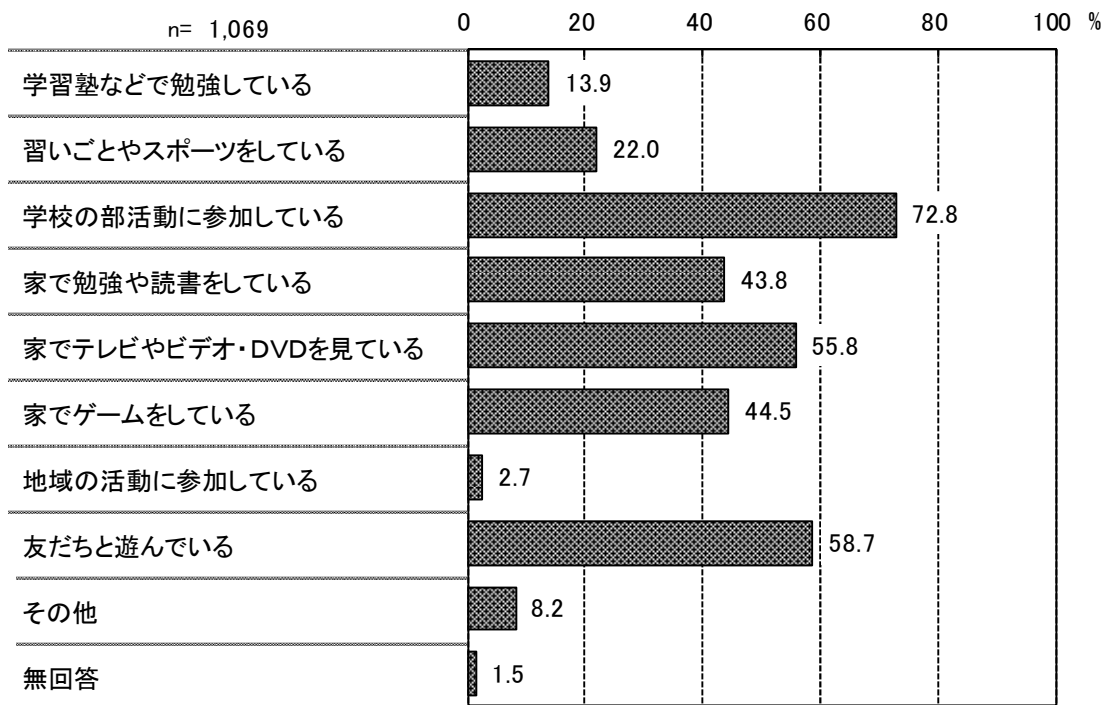
### 【性別】

性別でも、「学校の部活動に参加している」が“男性”“女性”とも高い割合になっていますが、「家でゲームをしている」や「友だちと遊んでいる」では“男性”が“女性”と比べて高い割合となっています。



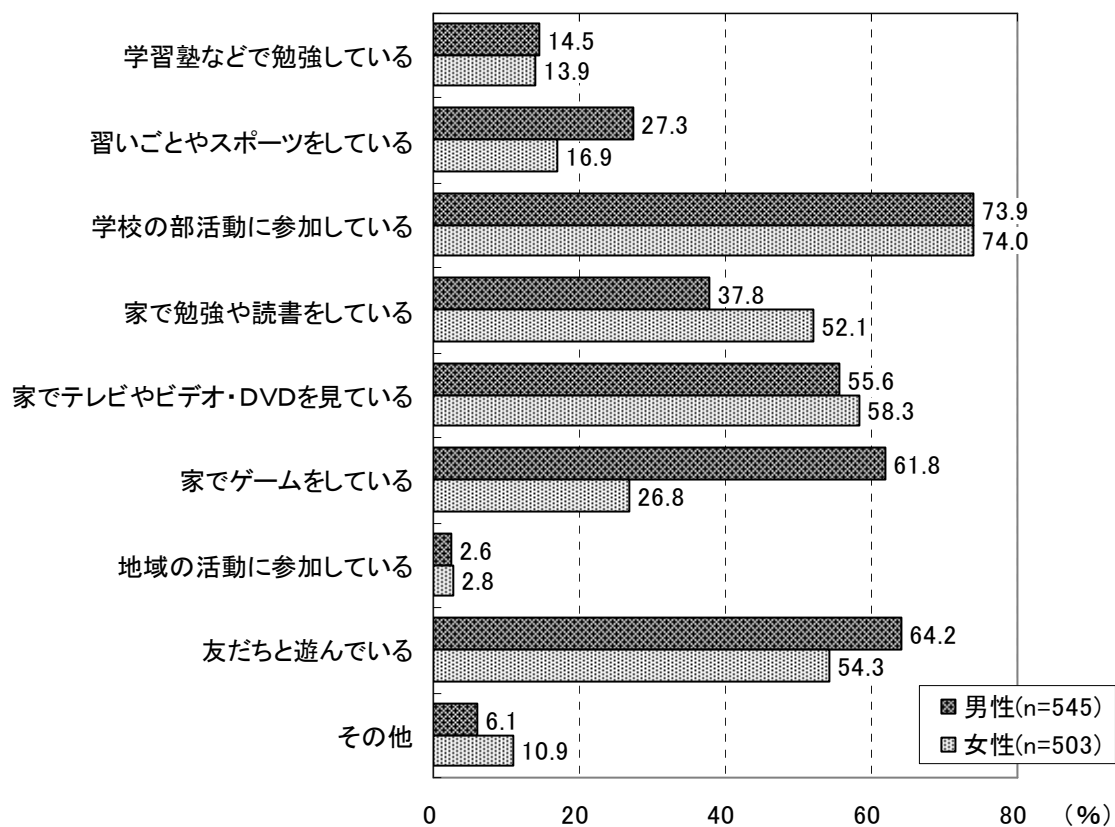
問 13 あなたは、土曜日や日曜日に何をして過ごすことが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

土曜日や日曜日にどのような過ごし方をしているかについては、「学校の部活動に参加している」が最も多く 72.8%、次いで「友だちと遊んでいる」が 58.7%、「家でテレビやビデオ・DVDを見ている」が 55.8%、「家でゲームをしている」が 44.5%、「家で勉強や読書をしている」が 43.8%などとなっています。



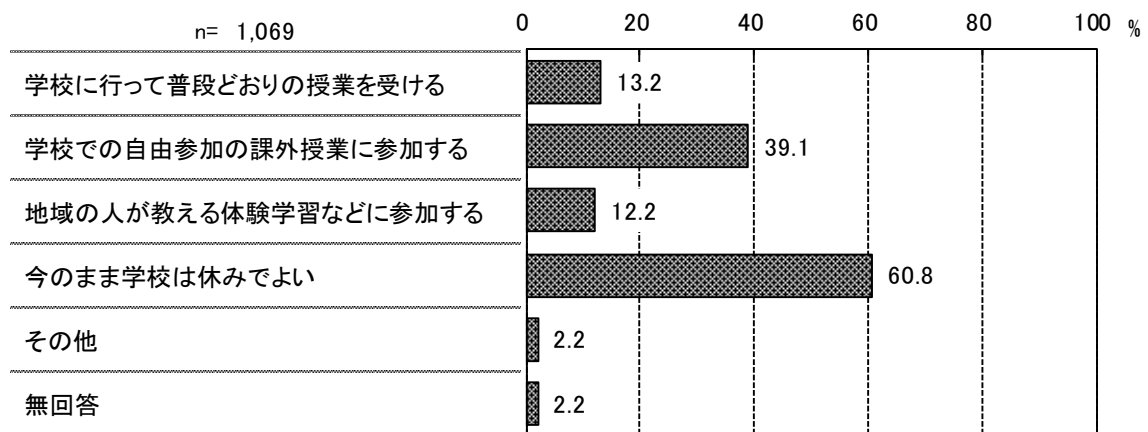
### 【性別】

性別で見ると「家でゲームをしている」では“男性”が6割を超え“女性”に比べて高い割合となっています。一方、「家で勉強や読書をしている」では“女性”が5割を超え“男性”と比べて高い割合となっています。



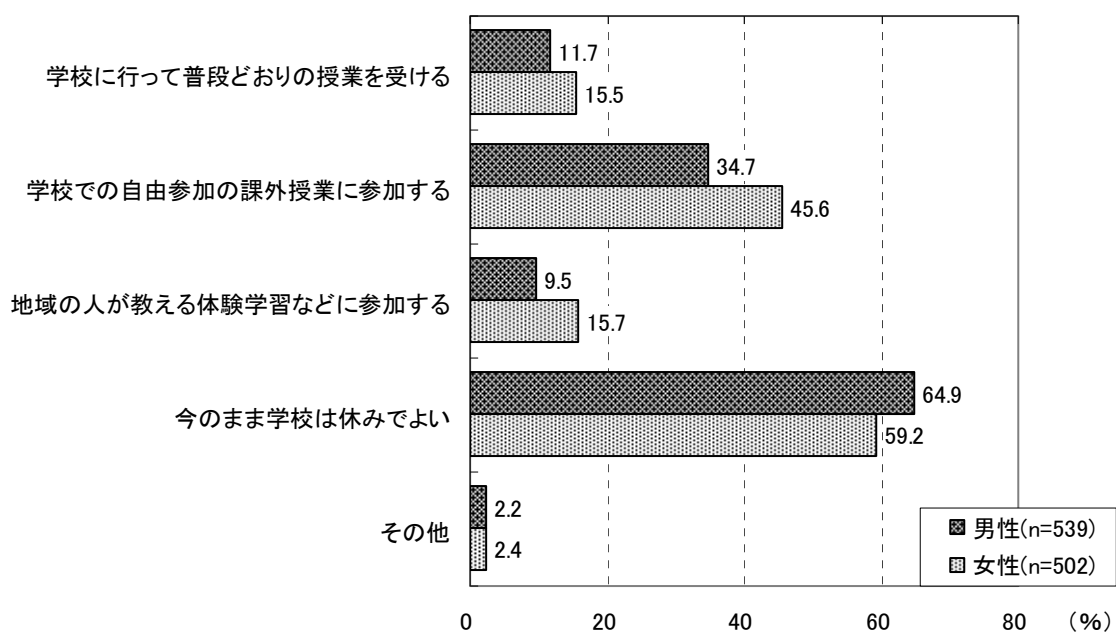
問 14 あなたは、土曜日に授業や学習の機会があるとすれば、どんなことができたらいいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

土曜日に授業や学習する機会があるとしたら、どんなことができたらいいと思うかについては、「学校での自由参加の課外授業に参加する」が最も多く 39.1%、次いで「学校に行って普段どおりの授業を受ける」が 13.2%、「地域の人が教える体験学習などに参加する」が 12.2%となっています。また、「今のまま学校は休みでよい」が 60.8%となっています。



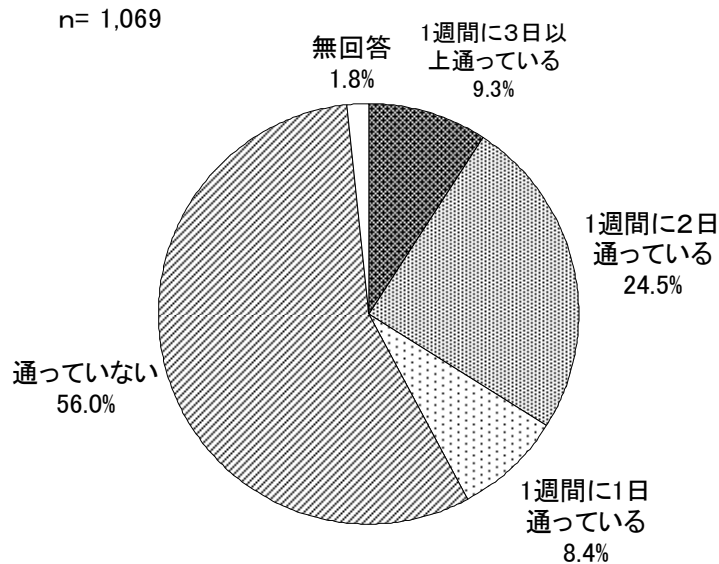
### 【性別】

性別でみると、「学校での自由参加の課外授業に参加する」で“女性”が4割半ばと“男性”と比べて高い割合となっています。



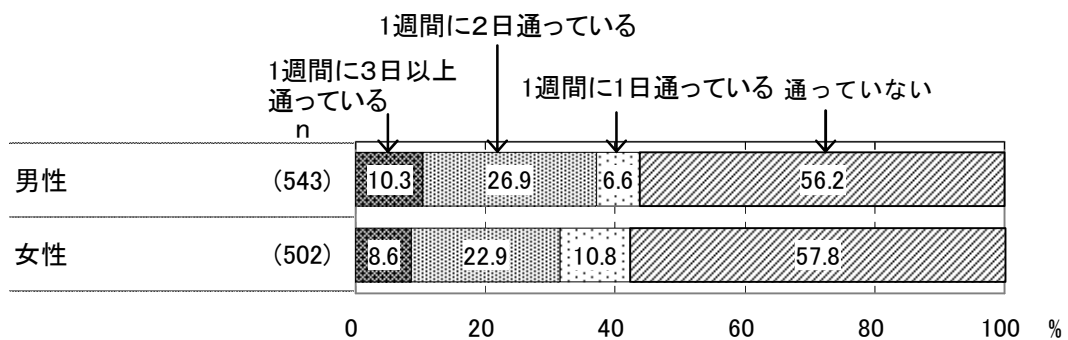
問 15 あなたは学習塾に通っていますか。(1つだけ〇)

学習塾に通っているかについては、「通っていない」が最も多く 56.0%、次いで「1週間に2日通っている」が 24.5%、「1週間に3日以上通っている」が 9.3%、「1週間に1日通っている」が 8.4%となっています。



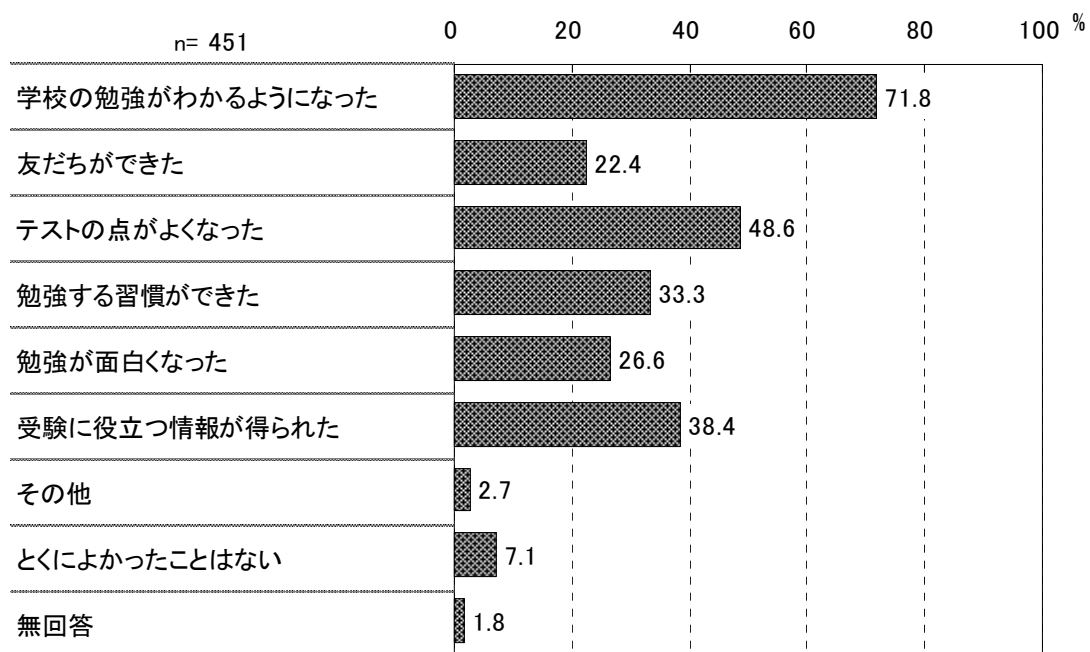
【性別】

性別でも大きな違いはみられませんが、1週間に2日以上通っているのは、“男性”がやや高い割合となっています。



問 16 学習塾に通ってよかったことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

学習塾に通ってよかったことについては、「学校の勉強がわかるようになった」が最も多く71.8%、次いで「テストの点がよくなった」が48.6%、「受験に役立つ情報が得られた」が38.4%、「勉強する習慣ができた」が33.3%、「勉強が面白くなった」が26.6%などとなっています。



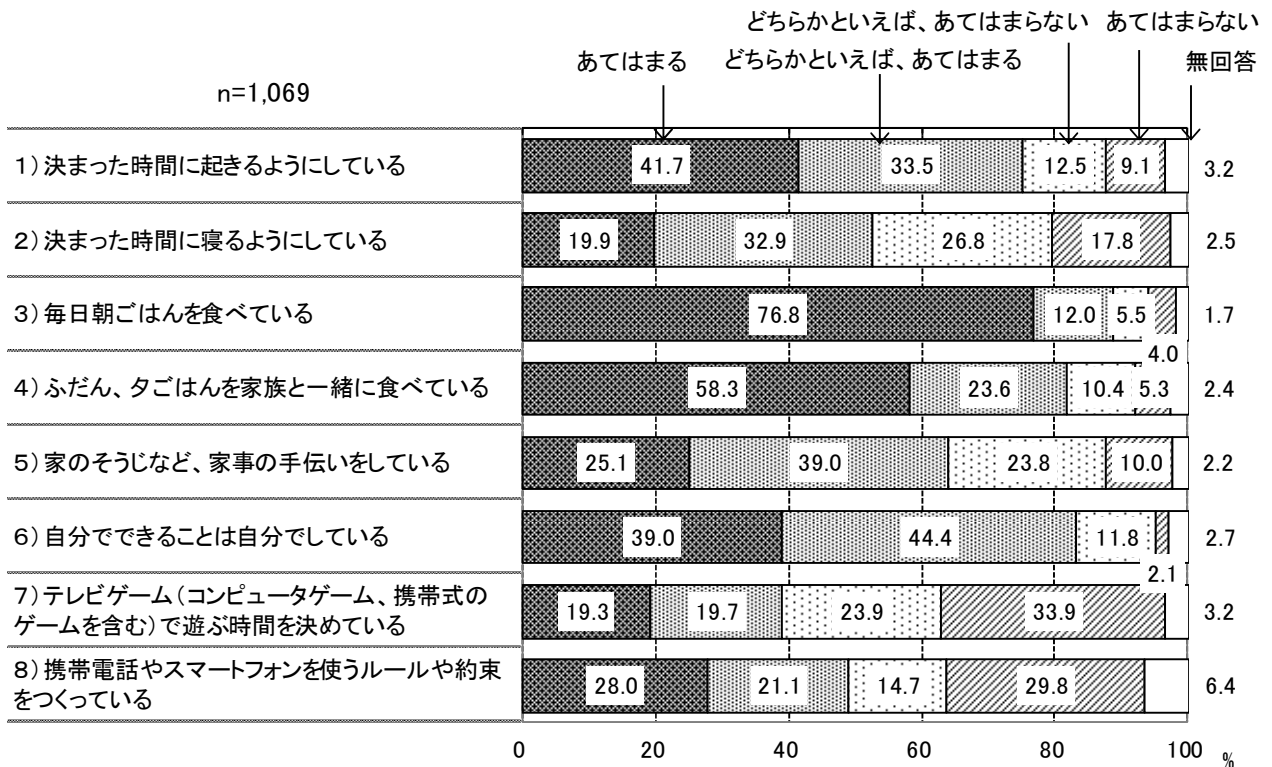


#### 4. 家での様子について

問 17 つぎのうち、あなたの普段の生活に当てはまるのはどのようなことですか。

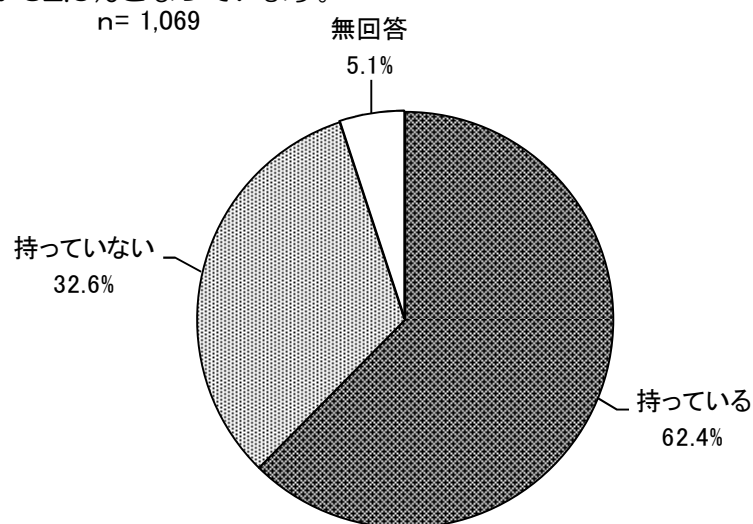
(それぞれに1つずつ○)

普段の生活に当てはまるものについて、「あてはまる」では“3) 毎日朝ごはんを食べている”で7割半ば、“4) ふだん、夕ごはんを家族と一緒に食べている”で6割近くとなっています。一方、「あてはまらない」では“7) テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲームを含む)で遊ぶ時間を決めている”で3割を超えています。



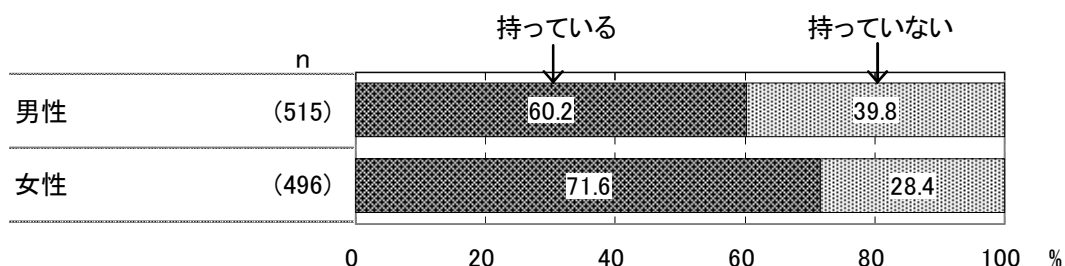
問 18 あなたは、自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(1つだけ○)

自分だけの携帯電話やスマートフォンを持っているかについては、「持っている」が62.4%、「持っていない」が32.6%となっています。



【性別】

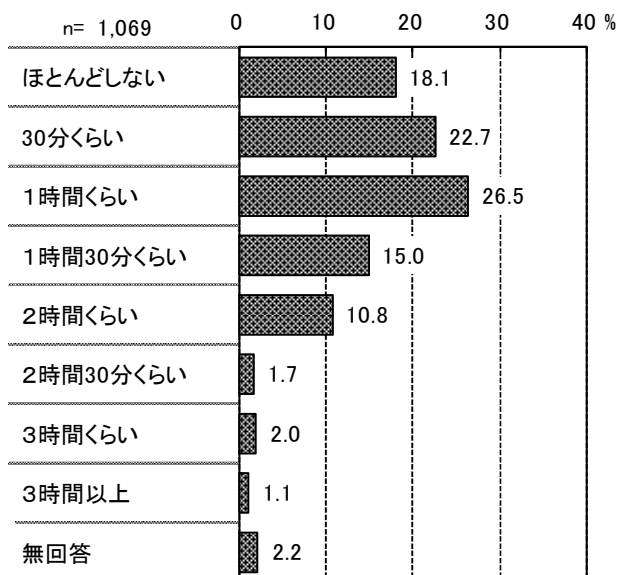
性別でみると、“女性”は「持っている」が7割を超え“男性”と比べて高い割合となっています。



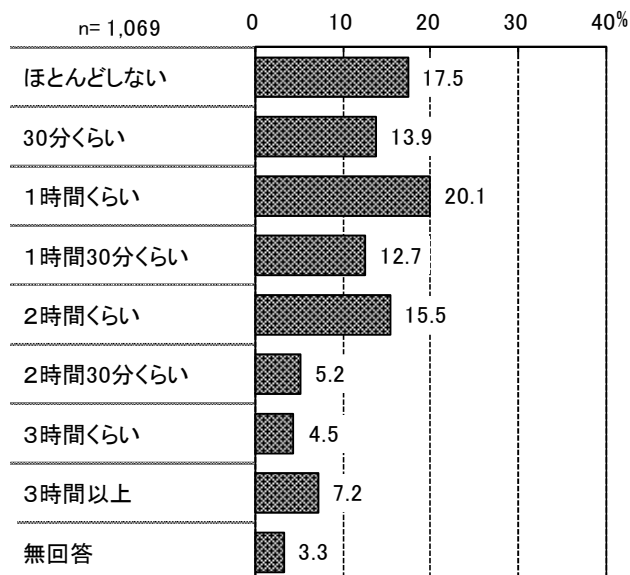
問 19 あなたは、ふだん家でどれくらい勉強していますか。塾で勉強する時間をのぞいた一日のだいたいの時間を教えてください。(それぞれに1つずつ〇)

ふだん家でどれくらい勉強しているかについては、平日では「1時間くらい」が最も多く26.5%、次いで「30分くらい」が22.7%などとなっています。また、休日でも「1時間くらい」が最も多く20.1%、次いで「ほとんどしない」が17.5%などとなっています。

【平日】



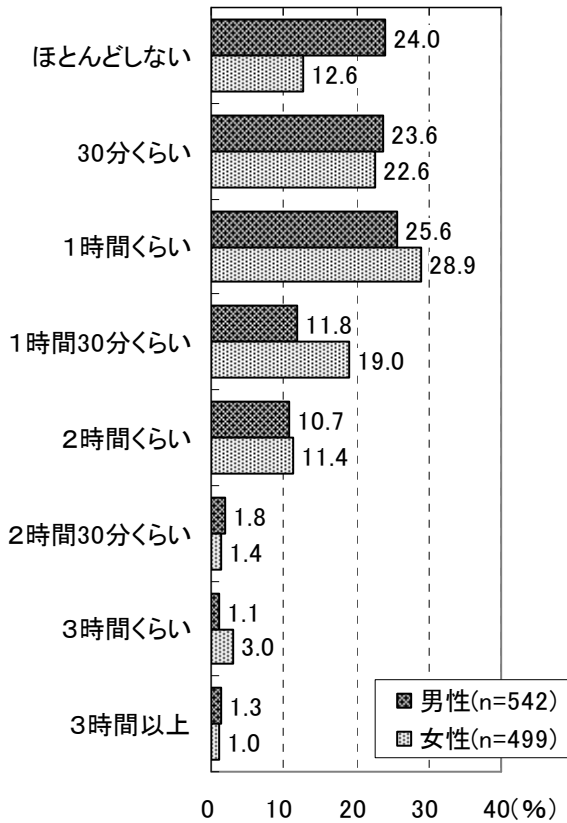
【休日】



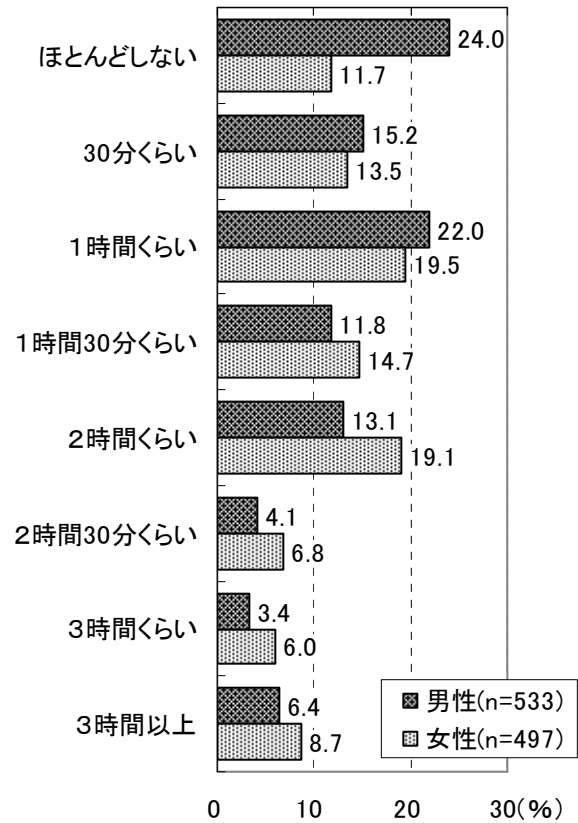
### 【性別】

性別で見ると、平日、休日ともに“ほとんどしない”で“男性”が2割半ばと“女性”と比べて高い割合となっています。

### 【平日】

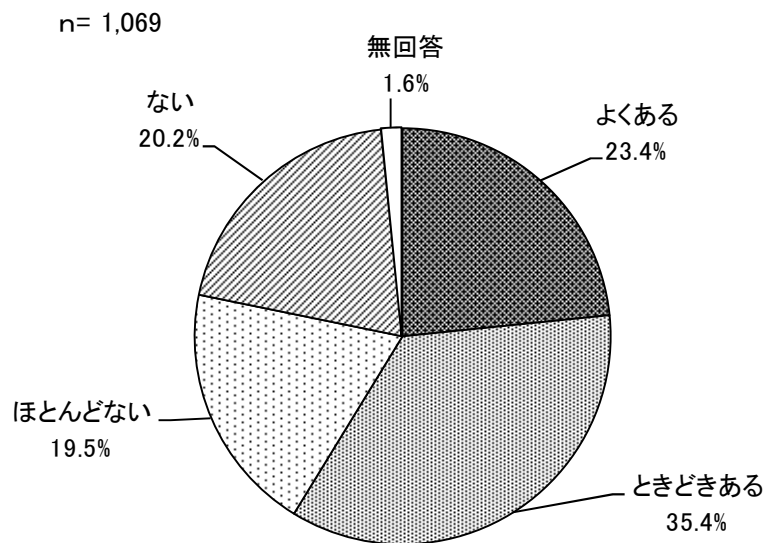


### 【休日】



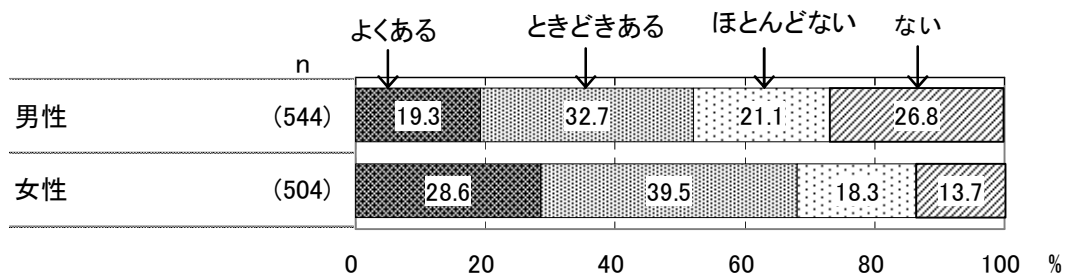
問 20 あなたは、心配ごとなどで不安に感じることがありますか。(1つだけ〇)

心配ごとなどで不安に感じることがあるかについては、「ときどきある」が最も多く 35.4%、次いで「よくある」が 23.4%、「ない」が 20.2%、「ほとんどない」が 19.5%となっています。



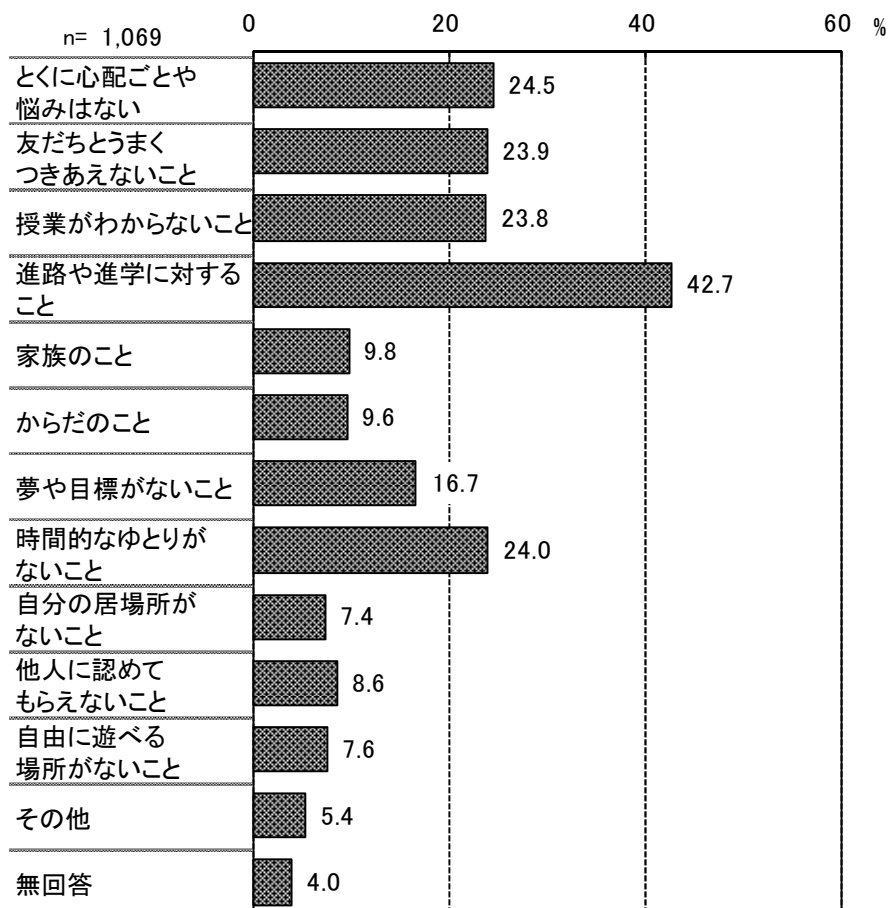
【性別】

性別でみると、「よくある」「ときどきある」を合わせると7割近い“女性”が不安を感じることがあり、“男性”と比べて高い割合となっています。



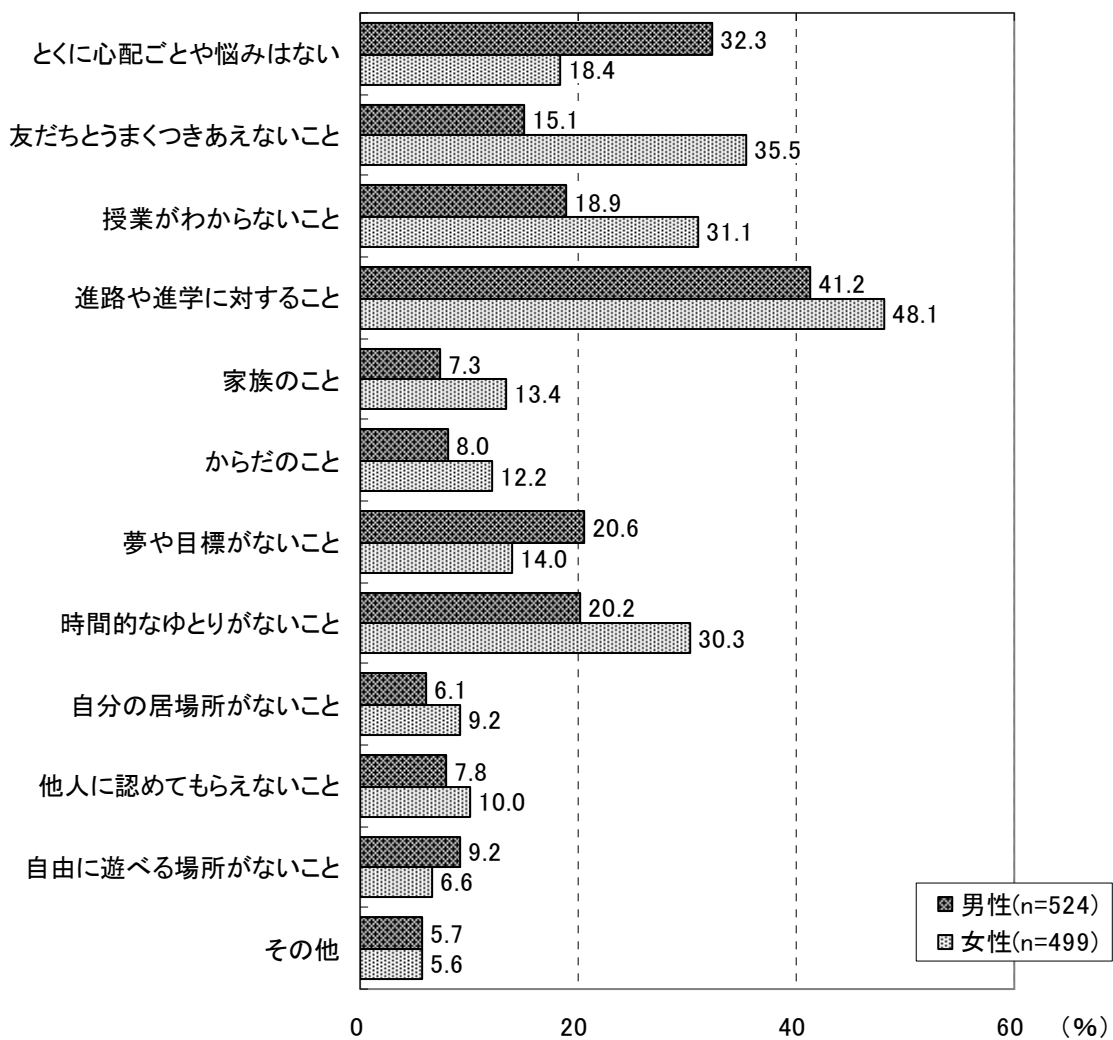
問 21 あなたの心配ごとや悩みは次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

心配ごとや悩みの理由については、「進路や進学に対すること」が最も多く 42.7%、次いで、「時間的なゆとりがないこと」が 24.0%、「友だちとうまくつきあえないこと」が 23.9%、「授業がわからないこと」が 23.8%などとなっています。また、「とくに心配ごとや悩みはない」が 24.5%となっています。

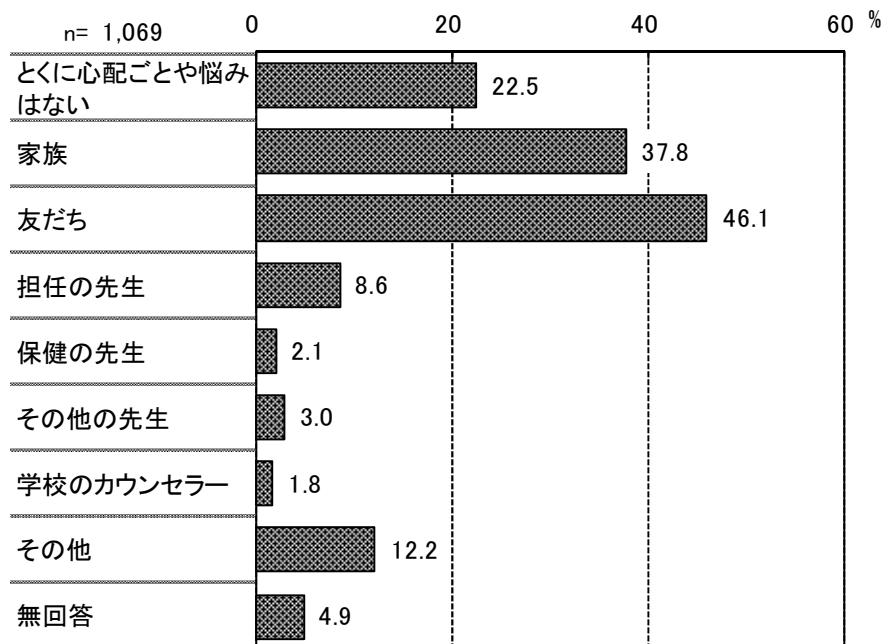


### 【性別】

性別でみても、「進路や進学に対すること」が最も多くなっています。また、「友だちとうまくつきあえないこと」で悩む“女性”が3割半ばと“男性”と比べて高い割合となっています。

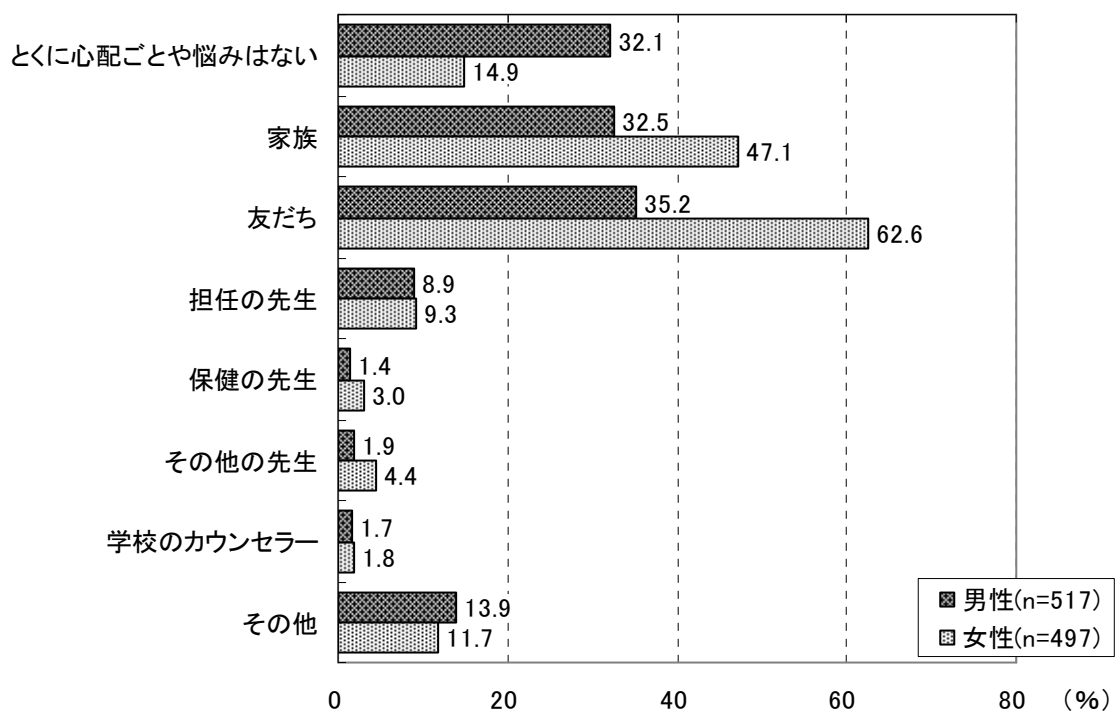


問 22 心配ごとや悩みは、誰に相談することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)  
 心配ごとや悩みを誰に相談するかについては、「友だち」が最も多く 46.1%、次いで「家族」  
 37.8%などとなっています。



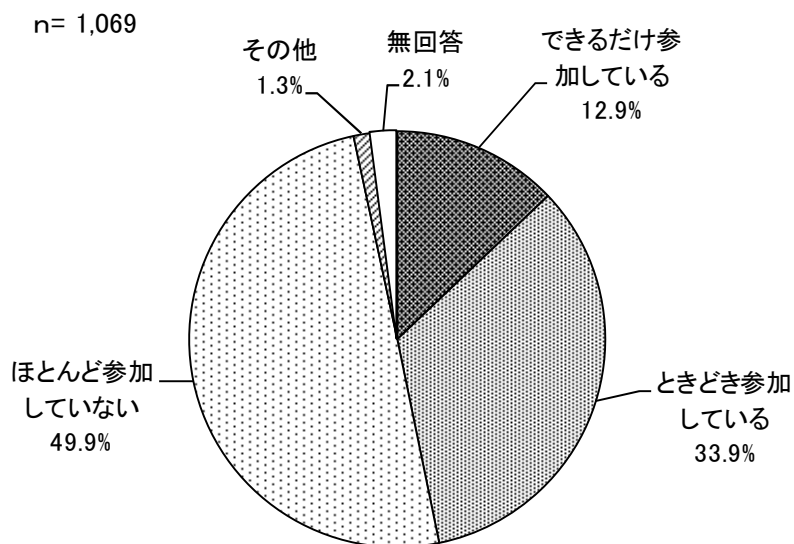
【性別】

性別でみると、悩みごとを持つのは“女性”が多く、相談相手は“男性”“女性”ともに「友だち」が多くなっていますが、特に“女性”で高い割合となっています。



問 23 あなたは地域の行事などにどのくらい参加していますか。(1つだけ○)

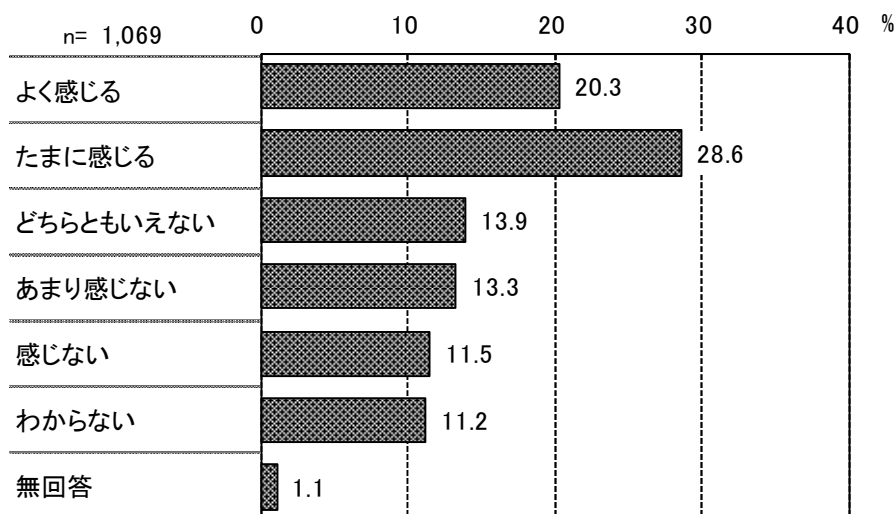
地域の行事などにどのくらい参加するかについては、「ほとんど参加していない」が最も多く49.9%、次いで「ときどき参加している」が33.9%、「できるだけ参加している」が12.9%などとなっています。



問 24 あなたは、地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じますか。

(1つだけ○)

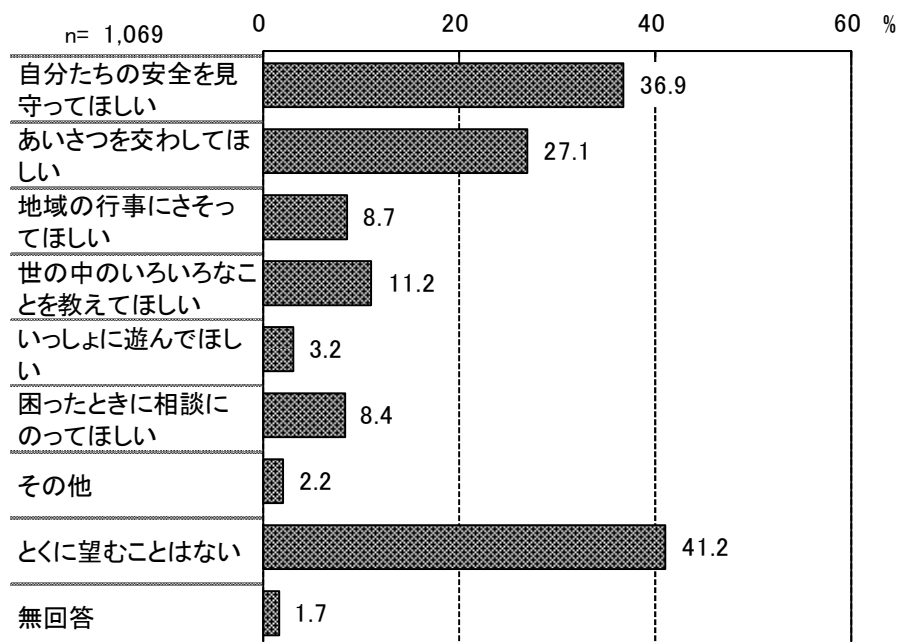
地域の大人が自分たちを見守ってくれていると感じるかについては、「たまに感じる」が最も多く28.6%、次いで「よく感じる」が20.3%、「どちらともいえない」が13.9%、「あまり感じない」が13.3%、「感じない」が11.5%などとなっています。





問 25 あなたの住んでいる地域の大人にどんなことを望みますか。(2つまで○)

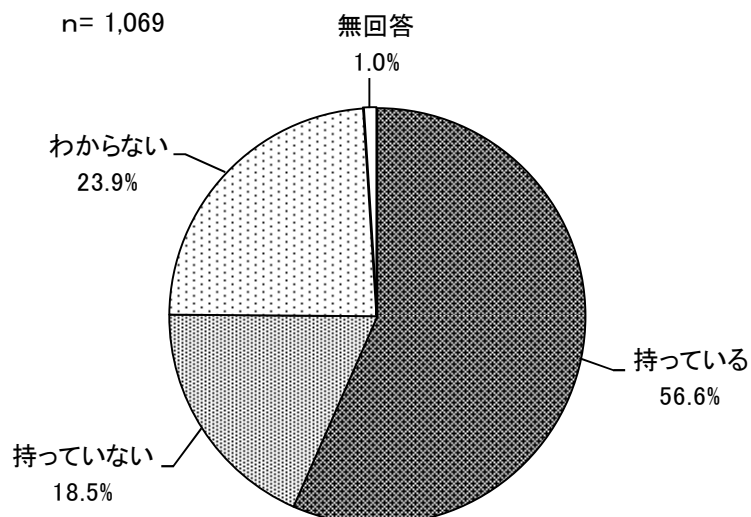
住んでいる地域の大人にどんなことを望むかについては、「自分たちの安全を見守ってほしい」が最も多く 36.9%、次いで「あいさつを交わしてほしい」が 27.1%などとなっています。また、「とくに望むことはない」が 41.2%となっています。



## 5. 将来について

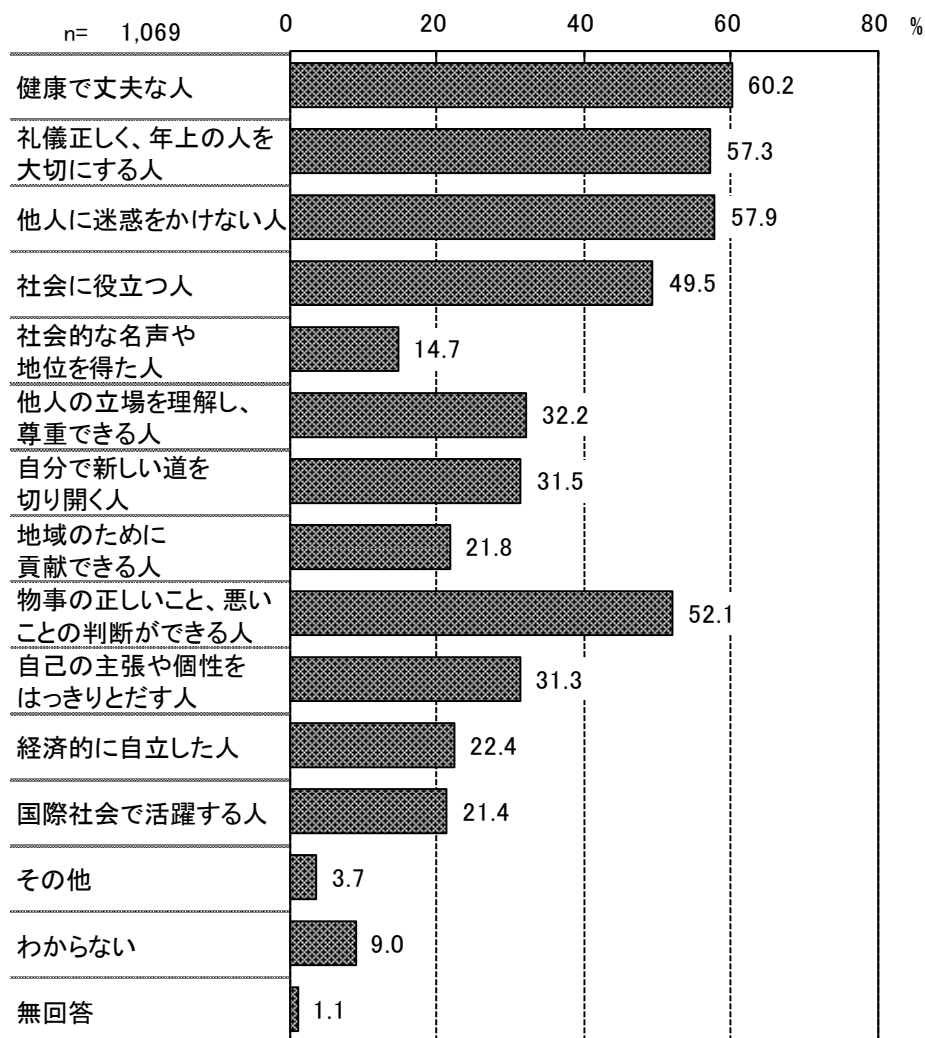
問 26 あなたは将来の夢や目標を持っていますか。(1つだけ○)

将来の夢や目標については、「持っている」が最も多く 56.6%、次いで「わからない」が 23.9%、「持っていない」が 18.5%となっています。



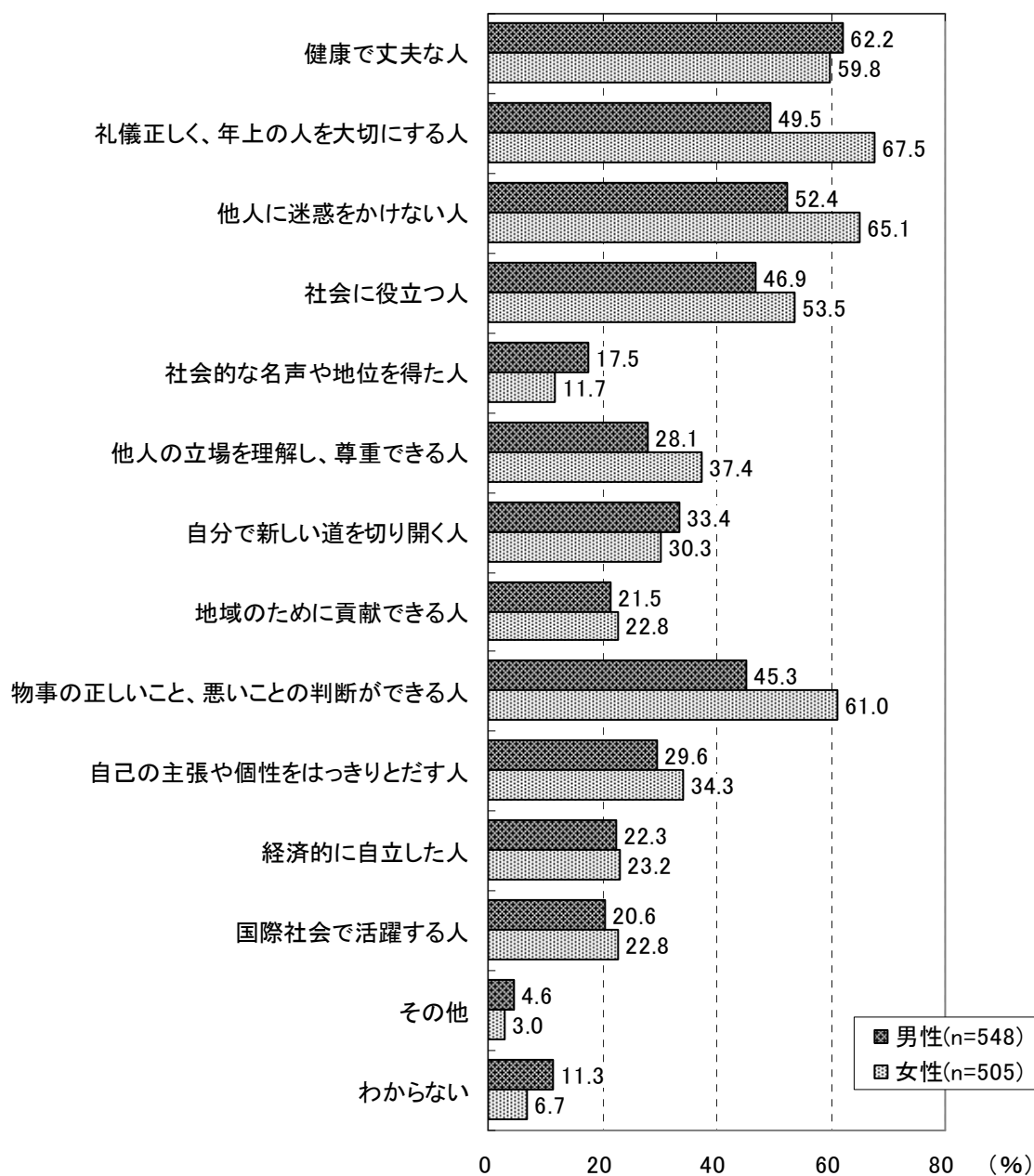
問 27 あなたは将来どのような人になりたいですか。(あてはまるものすべてに○)

将来どのような人になりたいかについては、「健康で丈夫な人」が最も多く 60.2%、次いで「他人に迷惑をかけない人」が 57.9%、「礼儀正しく、年上の人を大切にできる人」が 57.3%、「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」が 52.1%、「社会に役立つ人」が 49.5% などとなっています。



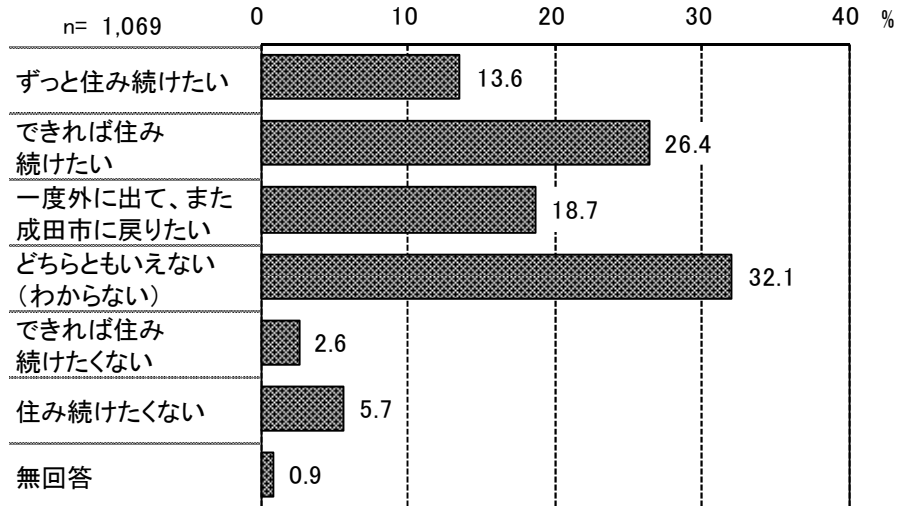
## 【性別】

性別で見ると、「礼儀正しく、年上の人を大切にできる人」や「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」で“女性”の割合が、“男性”と比べて高くなっています。



問 28 あなたは、将来も成田市に住み続けたいと思いますか。(1つだけ○)

将来も成田市に住み続けたいと思うかについては、「どちらともいえない(わからない)」が最も多く 32.1%、次いで「できれば住み続けたい」が 26.4%、「一度外に出て、また成田市に戻りたい」が 18.7%、「ずっと住み続けたい」が 13.6%などとなっています。

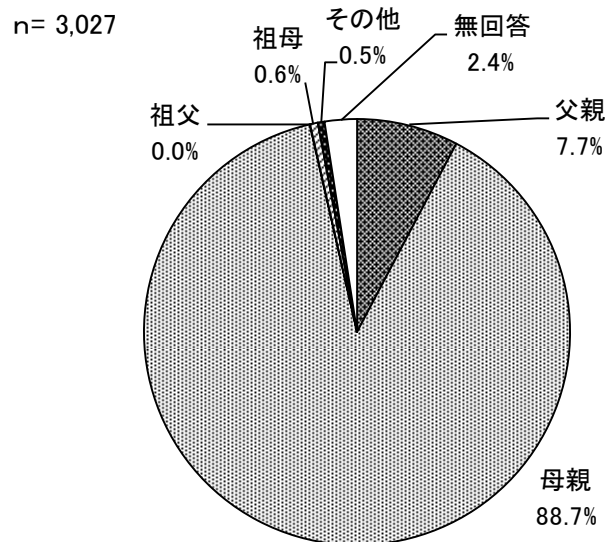


## 第4章 保護者調査の結果

### 1. あなたについて

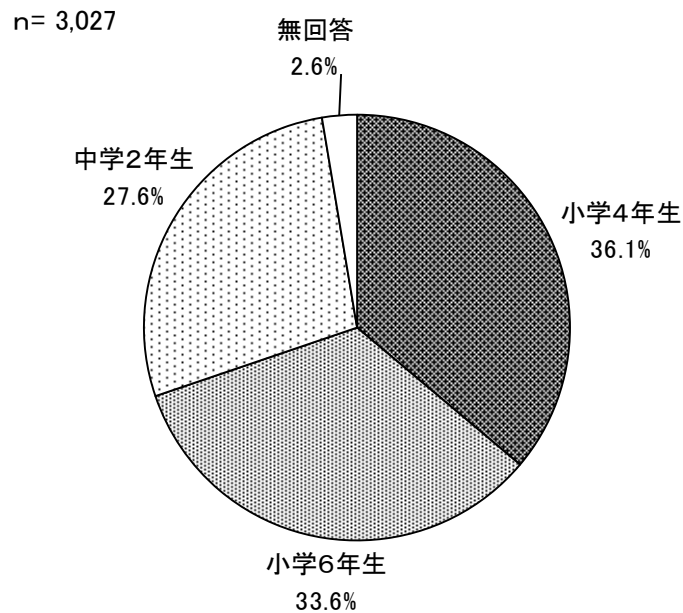
問1 お子さんとあなたとの続柄を教えてください。(1つだけ○)

回答者のお子さんとの続柄については、「母親」が88.7%、「父親」が7.7%となっています。



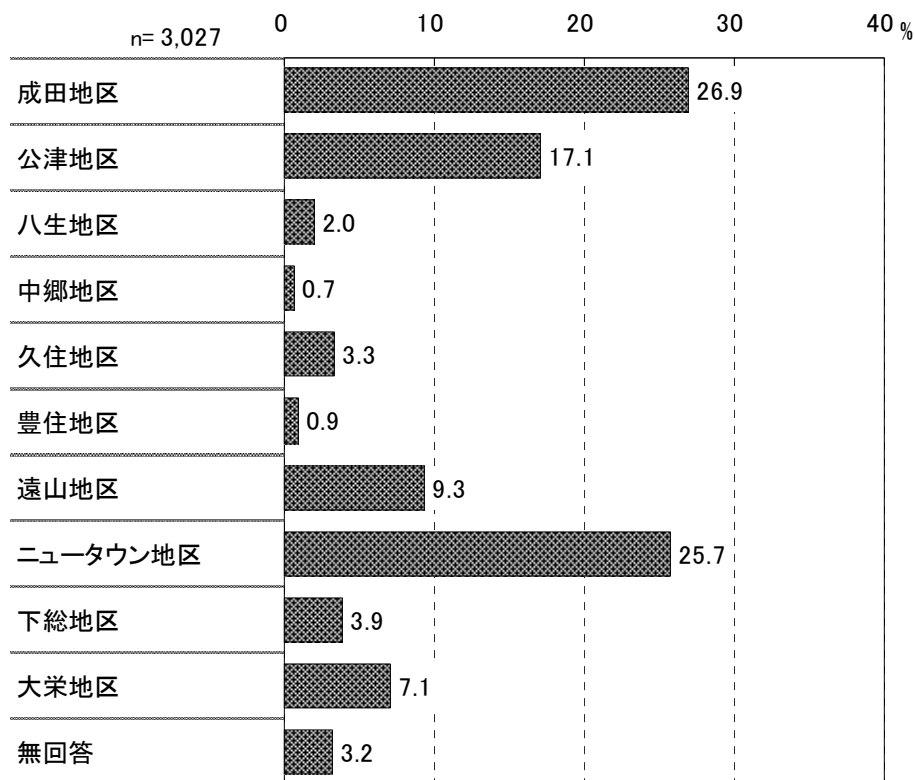
問2 あなたのお子さんの学年は、次のうちどれですか。(1つだけ○)

回答者のお子さんの学年については、「小学校4年生」が36.1%、「小学校6年生」が33.6%、「中学校2年生」が27.6%となっています。



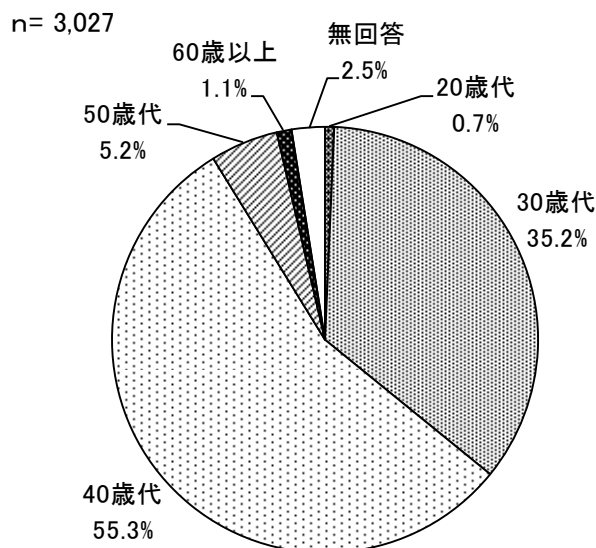
問3 あなたがお住まいの地区はどちらですか。(1つだけ○)

居住地区については、「成田地区」が 26.9%と最も多く、次いで「ニュータウン地区」が 25.7%、「公津地区」が 17.1%、「遠山地区」が 9.3%などとなっています。



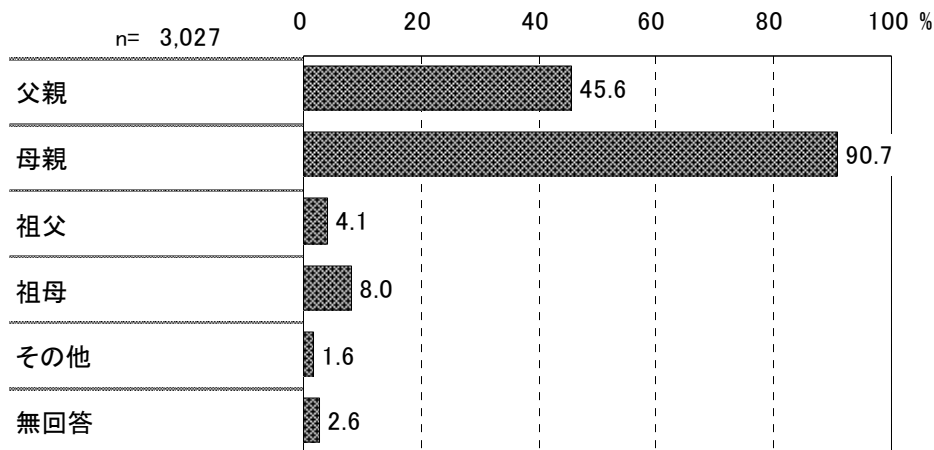
問4 あなたの年齢について当てはまるものを選んでください。(1つだけ○)

年齢については、「40 歳代」が 55.3%と最も多く、次いで「30 歳代」が 35.2%、「50 歳代」が 5.2%などとなっています。



問5 ご家庭で、お子さんの教育に積極的に関わっていらっしゃる方はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

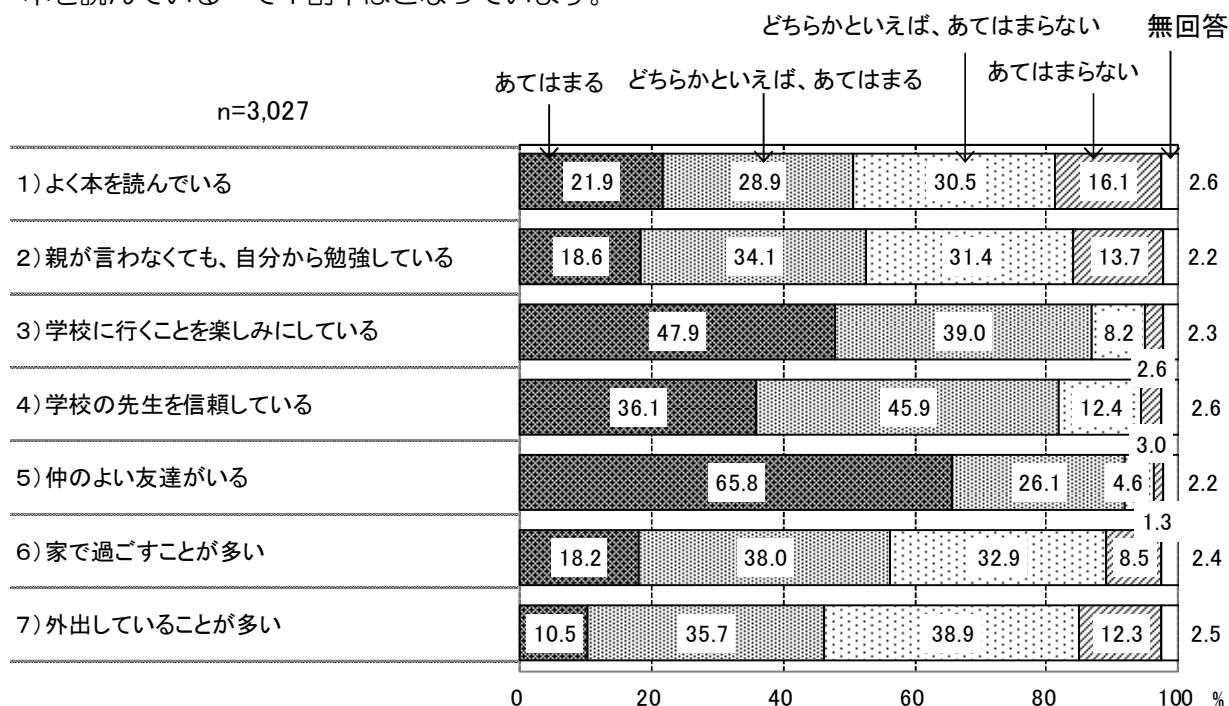
お子さんの教育に積極的に関わっていらっしゃる方については、「母親」が最も多く90.7%、次いで「父親」が45.6%、「祖母」が8.0%などとなっています。



## 2. お子さんへの接し方について

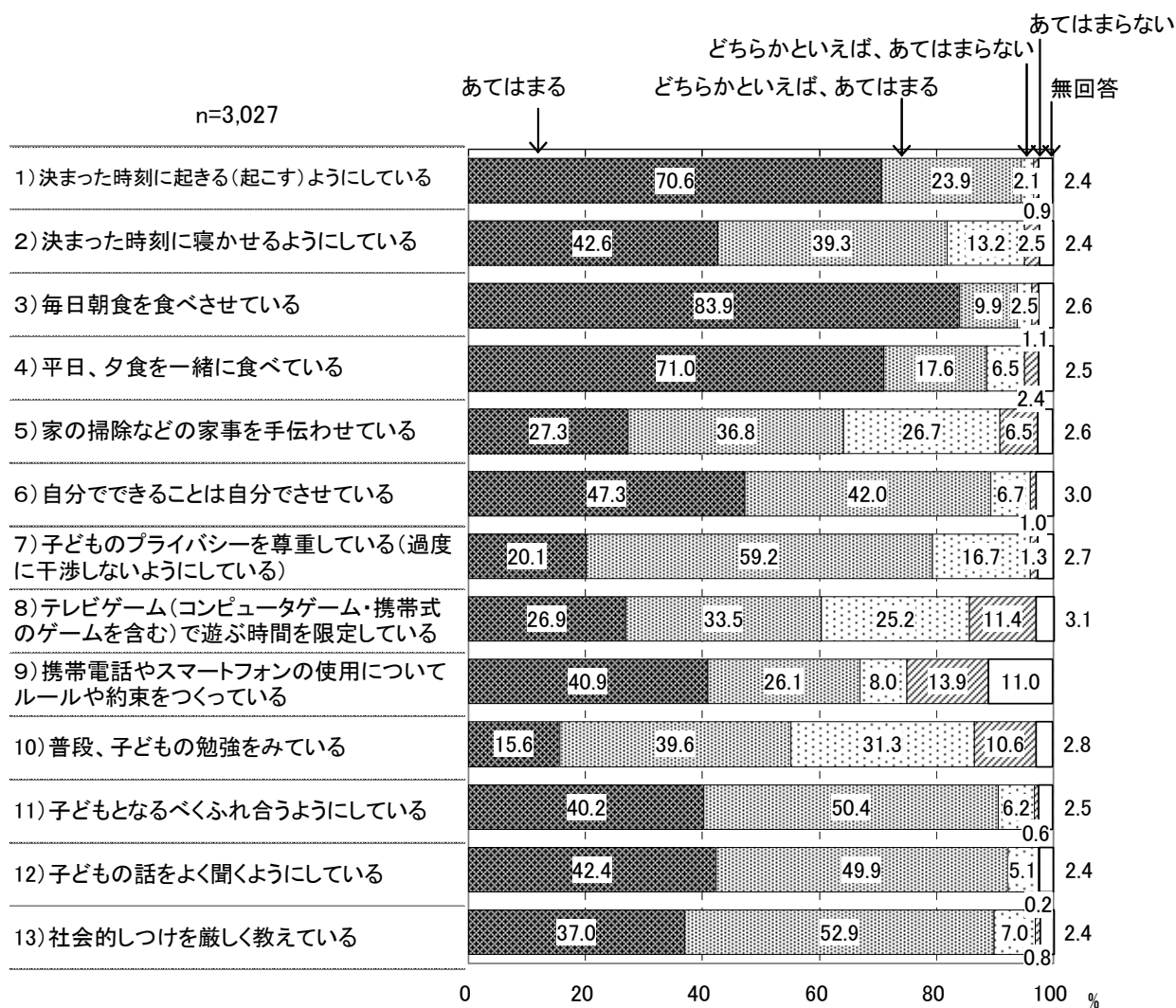
問6 お子さんの普段の様子について、次のことはどれくらいあてはまりますか。(それぞれに1つずつ○)

お子さんの普段の様子については、「あてはまる」では“仲のよい友達がいる”で6割半ば、“学校に行くことを楽しみにしている”で5割近くとなっています。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」では“外出していることが多い”で4割近く、「あてはまらない」では“よく本を読んでいる”で1割半ばとなっています。



問7 あなたのご家庭では、お子さんに対して、次のことをしていますか。(それぞれに1つずつ〇)

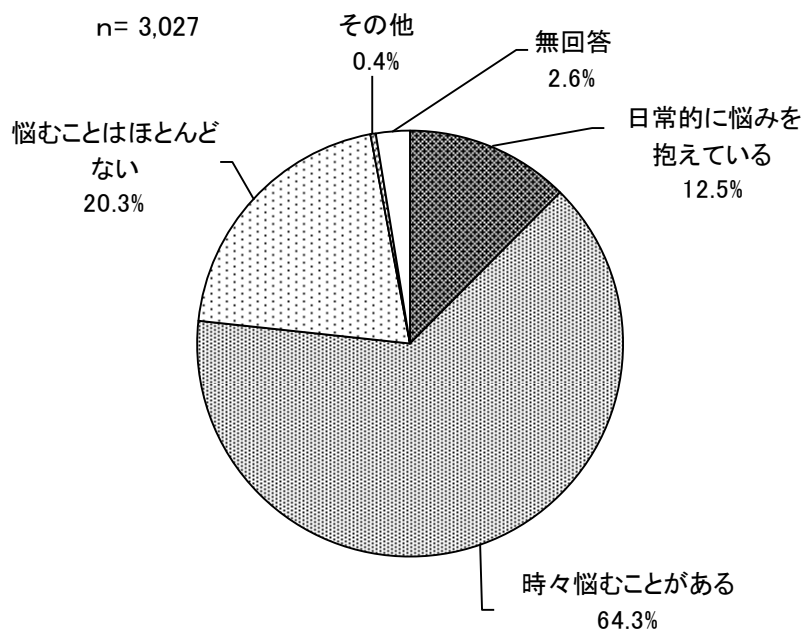
お子さんに対して行っていることについては、「あてはまる」では“毎日朝食を食べさせている”で8割を超え、“平日、夕食を一緒に食べている”と“決まった時刻に起きる(起こす)ようにしている”で7割を超えています。一方、「どちらかといえば、あてはまらない」では“普段、子どもの勉強をみている”で3割を超え、「あてはまらない」では“携帯電話やスマートフォンの使用についてルールや約束をつくっている”“テレビゲーム(コンピュータゲーム・携帯式のゲームを含む)で遊ぶ時間を限定している”“普段、子どもの勉強をみている”で1割を超えています。





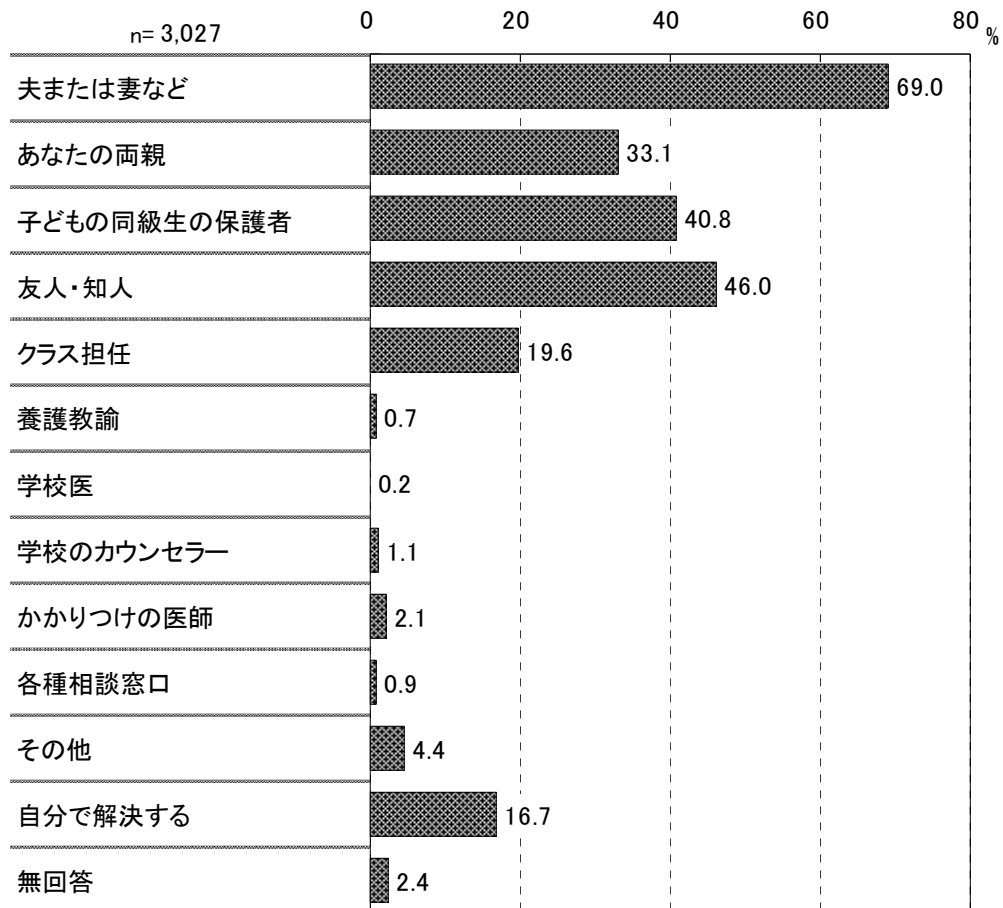
問8 お子さんの教育に関して、困ったり悩むことはありますか。(1つだけ○)

お子さんの教育に関して、困ったり悩むことはあるかについては、「時々悩むことがある」が最も多く64.3%、次いで「悩むことはほとんどない」が20.3%、「日常的に悩みを抱えている」が12.5%などとなっています。



問9 お子さんの教育に関して困ったり、悩んだりした時には誰に相談することが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

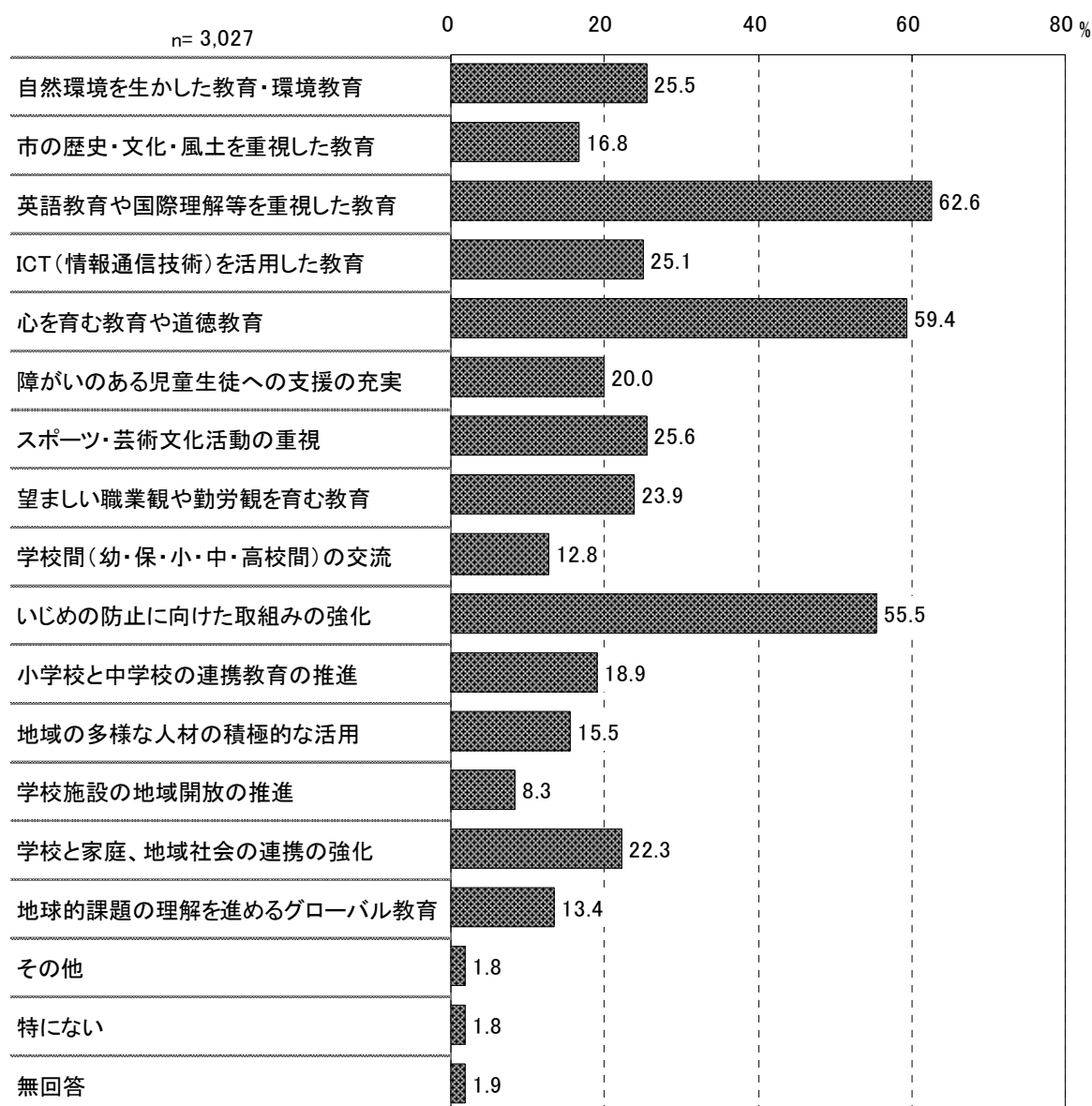
お子さんの教育に関して困ったり、悩んだりした時には誰に相談することが多いかについては、「夫または妻など」が最も多く69.0%、次いで「友人・知人」が46.0%、「子どもの同級生の保護者」が40.8%、「あなたの両親」が33.1%などとなっています。



### 3. 学校教育について

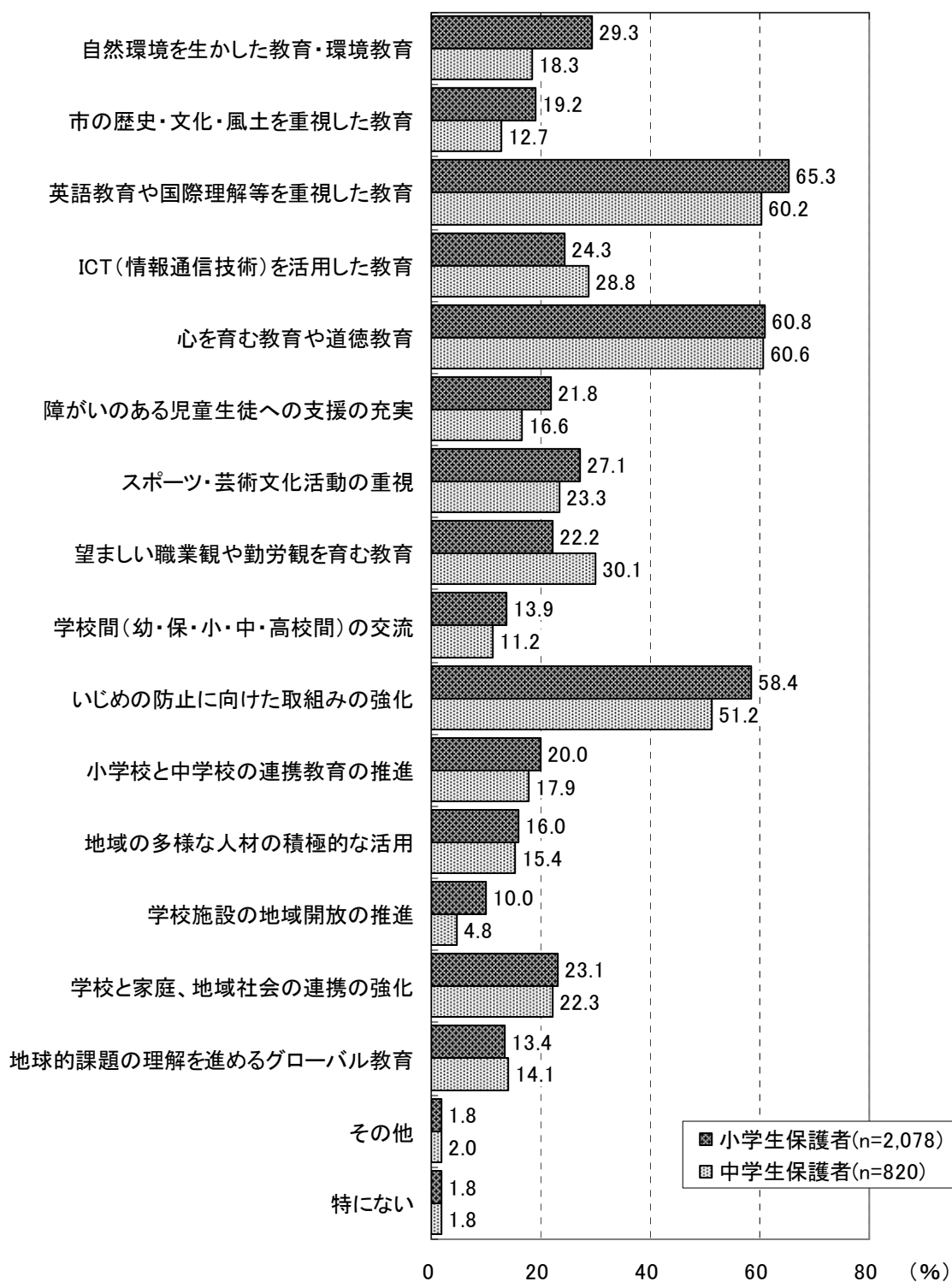
問 10 成田市の学校教育（小・中学校）では、今後どのような点に力を入れていくことが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

成田市の学校教育（小・中学校）では、今後どのような点に力を入れていくことが望ましいと思うかについては、「英語教育や国際理解等を重視した教育」が最も多く 62.6%、次いで「心を育む教育や道徳教育」が 59.4%、「いじめの防止に向けた取組みの強化」が 55.5%、「スポーツ・芸術文化活動の重視」が 25.6%、「自然環境を生かした教育・環境教育」が 25.5%などとなっています。



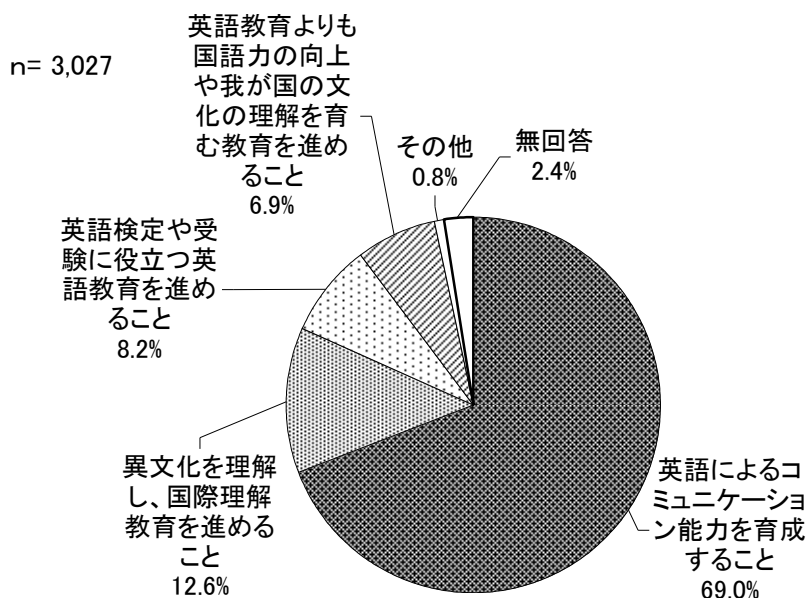
## 【学校別】

学校別でみても、上位に大きな違いはみられません。



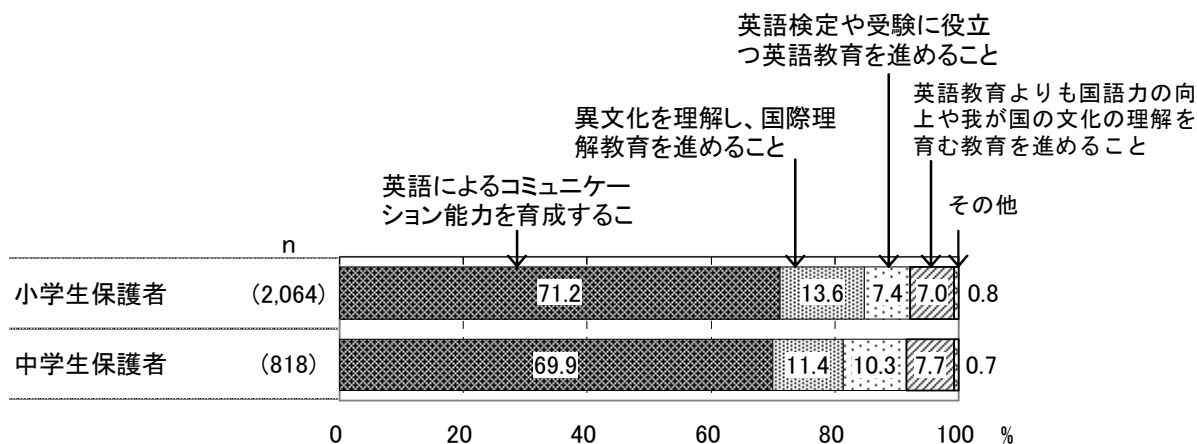
問 11 成田市では、国際空港が立地しているという地域特性を生かして、英語教育の推進に努めておりますが、どのような点に力を入れていくことが望ましいと思いますか(1つだけ〇)

成田市が英語教育の推進にあたり、どのような点に力を入れていくことが望ましいかについては、「英語によるコミュニケーション能力を育成すること」が最も多く 69.0%、次いで「異文化を理解し、国際理解教育を進めること」が 12.6%などとなっています。



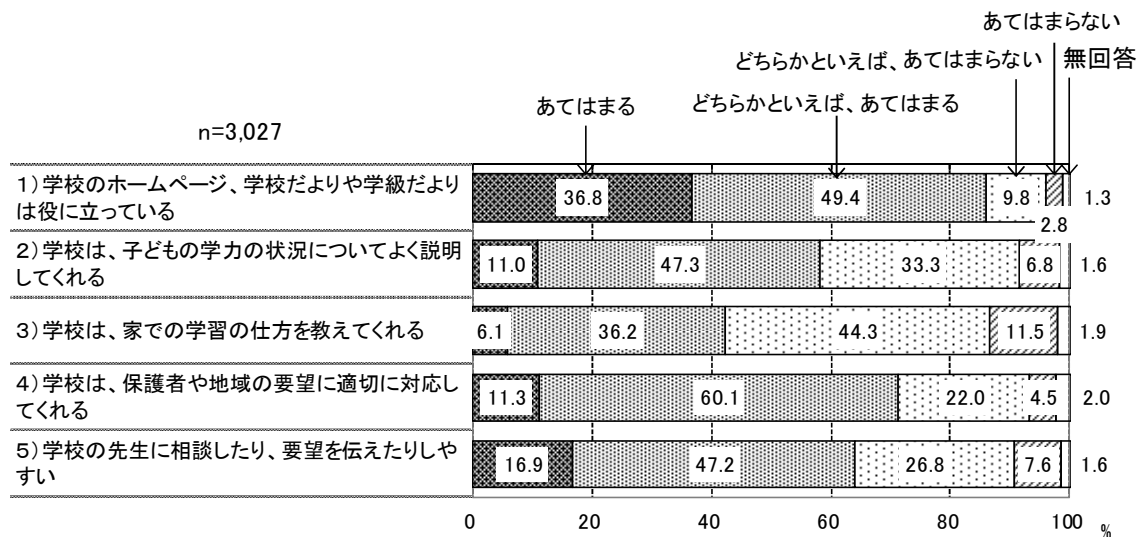
### 【学校別】

学校別でみても、大きな違いはみられませんが、「英語検定や受験に役立つ英語教育を進めること」では“中学生保護者”が1割を超え“小学生保護者”と比べてやや高い割合となっています。



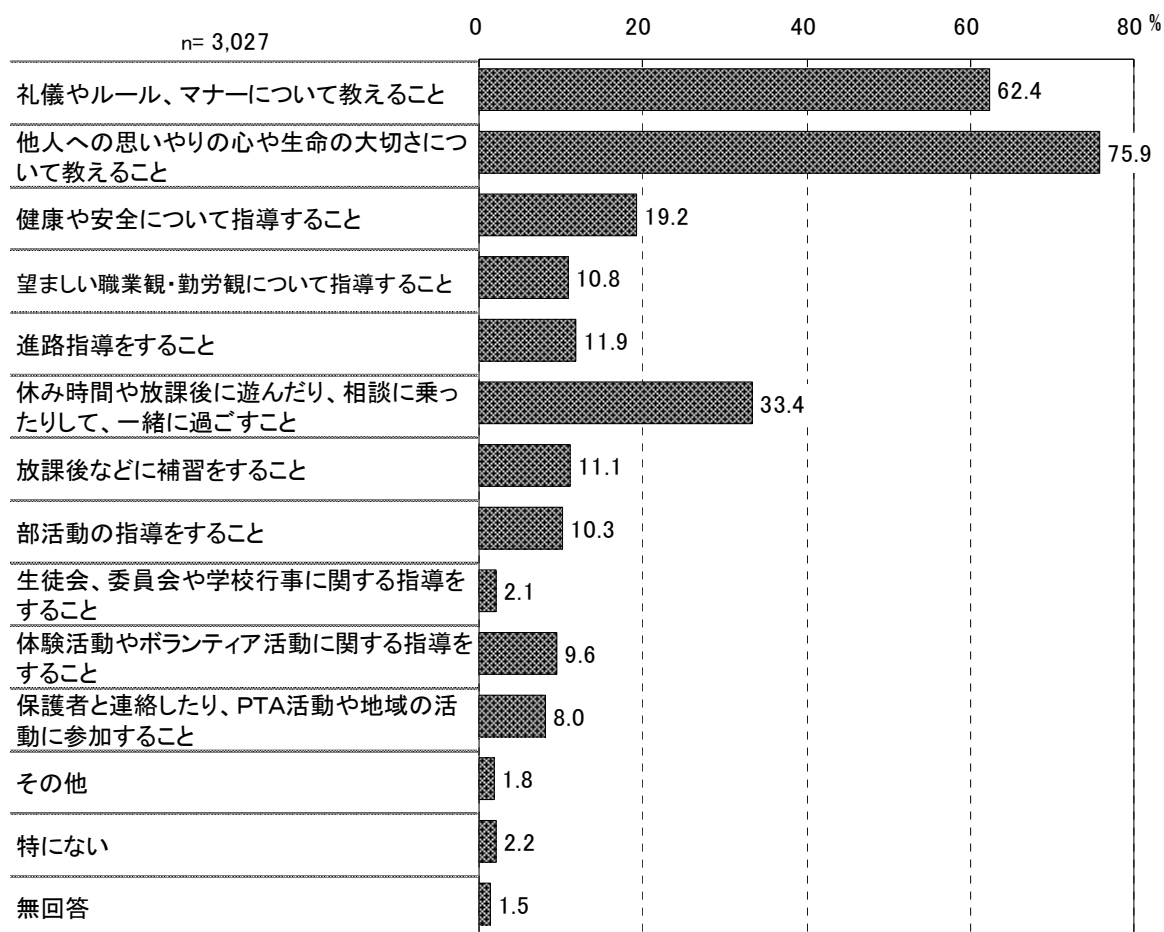
問 12 お子さんが通っている学校の取組みなどについて、当てはまるものを選んでください。（それぞれに1つずつ○）

子どもが通っている学校の取組みなどについては、“1）学校のホームページ、学校だよりや学級だよりは役に立っている”では「あてはまる」が3割半ばとなっています。一方、“学校は、家での学習の仕方を教えてくれる”では「あてはまらない」が1割を超えています。



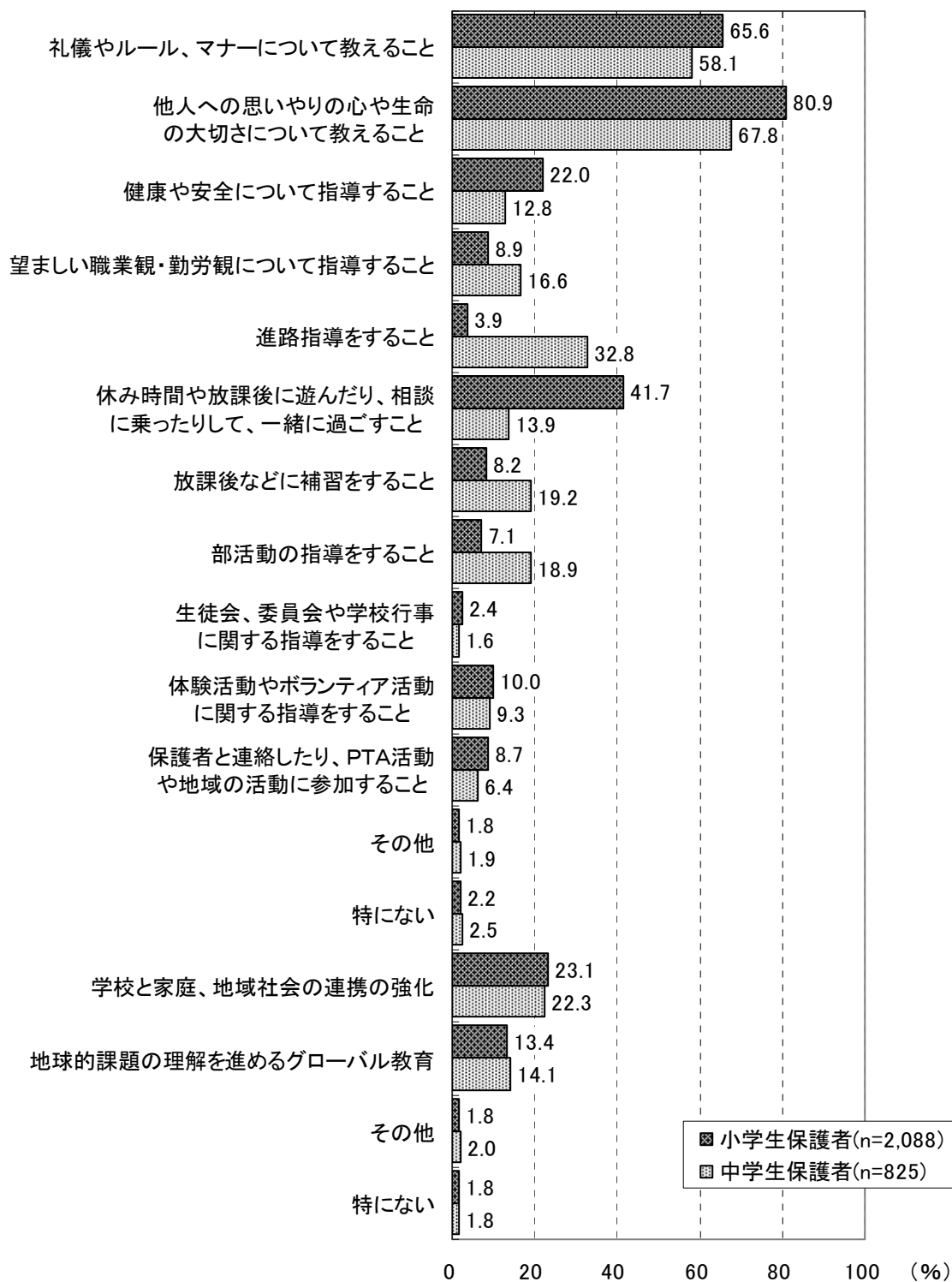
問 13 お子さんの学校の先生に、教科の授業以外で特に期待することは何ですか。(3つまで○)

お子さんの学校の先生に、教科の授業以外で特に期待することについては、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」が最も多く 75.9%、次いで「礼儀やルール、マナーについて教えること」が 62.4%、「休み時間や放課後に遊んだり、相談に乗ったりして、一緒に過ごすこと」が 33.4%「健康や安全について指導すること」が 19.2%などとなっています。



### 【学校別】

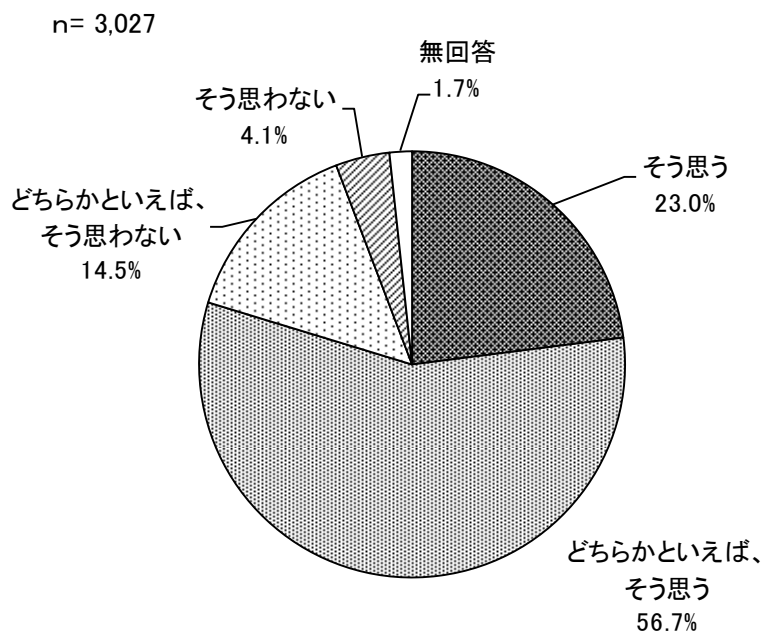
学校別でも、「他人への思いやりの心や生命の大切さについて教えること」「礼儀やルール、マナーについて教えること」が上位で、特に“小学生保護者”で高い割合となっています。





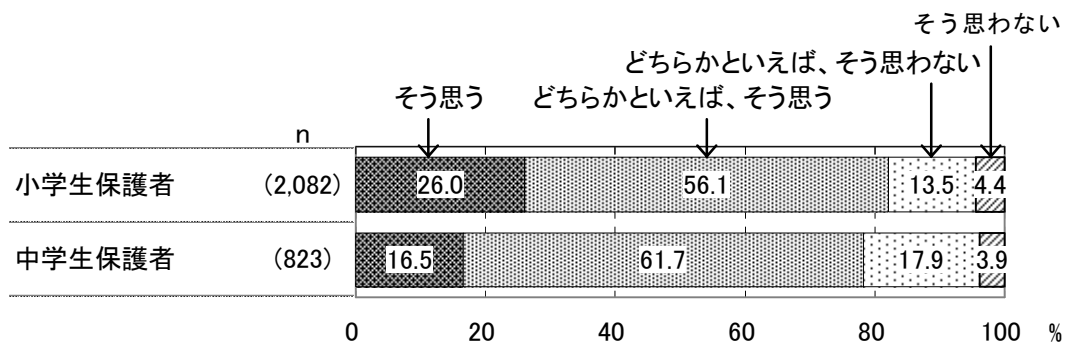
問 14 お子さんの学校の先生は、期待に応えてくれていると思いますか。(1つだけ〇)

お子さんの学校の先生は、期待に応えてくれているかについては、「どちらかといえば、そう思う」が最も多く 56.7%、次いで「そう思う」が 23.0%、「どちらかといえば、そう思わない」が 14.5%、「そう思わない」が 4.1%などとなっています。



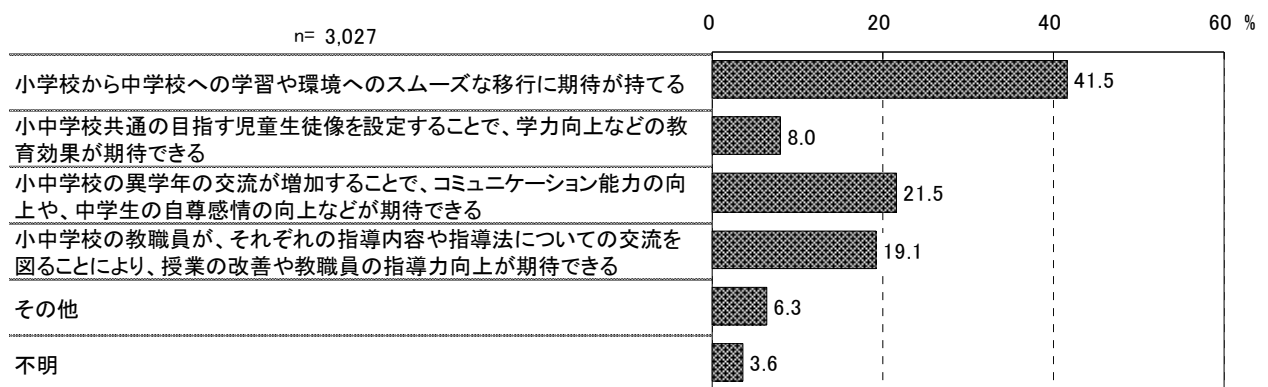
【学校別】

学校別でみると、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」とした“小学生保護者”は8割を超え、“中学生保護者”に比べてやや高い割合となっています。



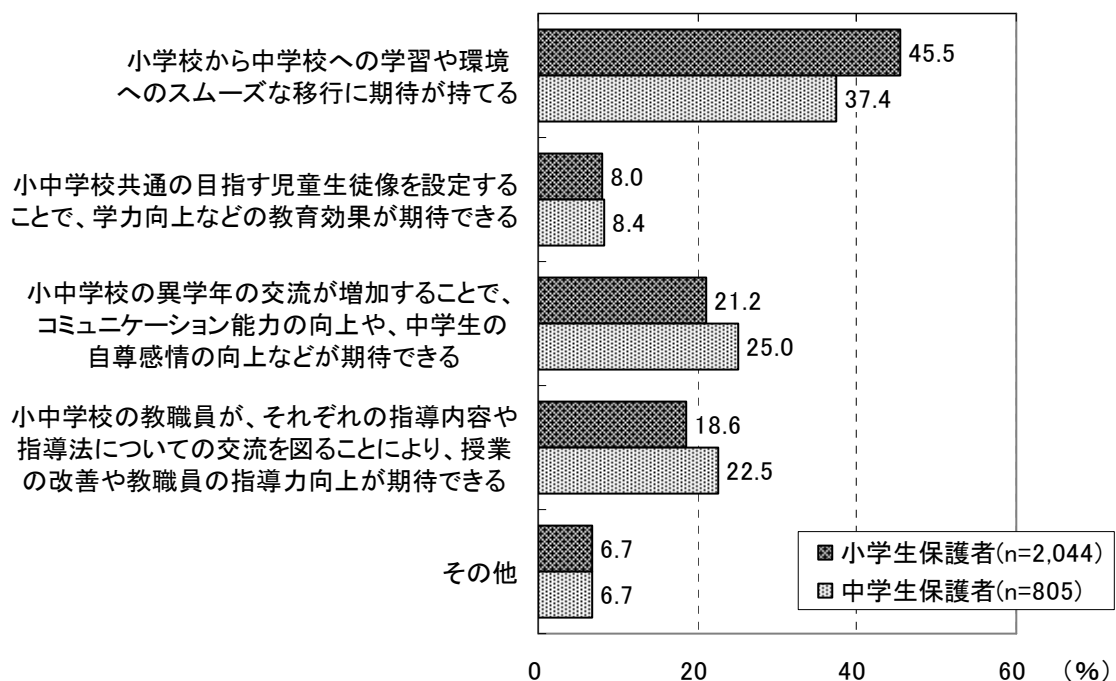
問 15 成田市では、中学校区を1つの単位として、義務教育9年間において教育の質的な向上を目的として、小中連携教育を推進しています。この取り組みについてどのようにお考えですか。(1つだけ○)

小中連携教育の取り組みについては、「小学校から中学校への学習や環境へのスムーズな移行に期待が持てる」が最も多く41.5%、次いで「小中学校の異学年の交流が増加することで、コミュニケーション能力の向上や、中学生の自尊感情の向上などが期待できる」が21.5%、「小中学校の教職員が、それぞれの指導内容や指導法についての交流を図ることにより、授業の改善や教職員の指導力向上が期待できる」が19.1%、「小中学校共通の目指す児童生徒像を設定することで、学力向上などの教育効果が期待できる」が8.0%などとなっています。



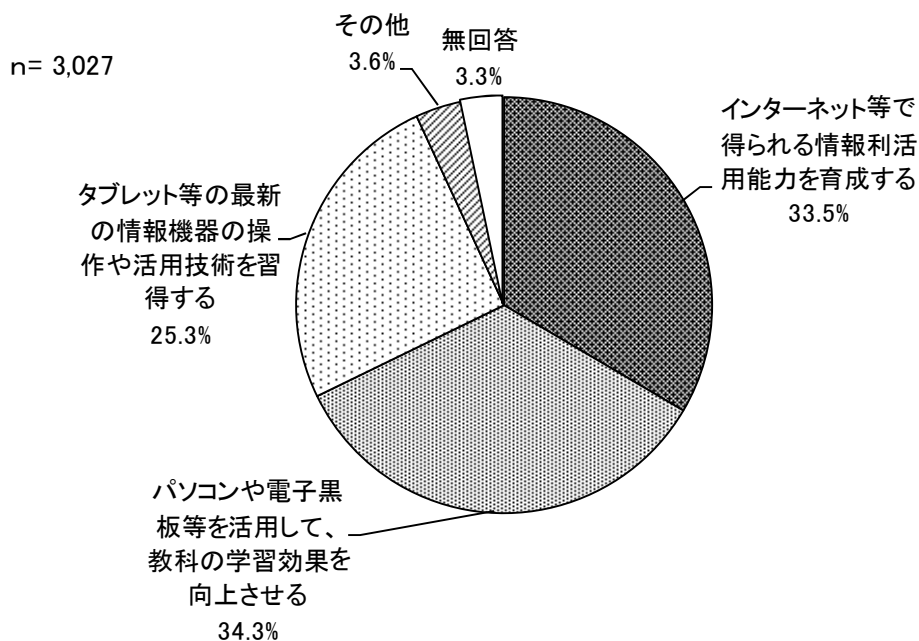
### 【学校別】

学校別でみても、大きな違いはみられませんが、“小学生保護者”“中学生保護者”それぞれに応じた期待があることがわかります。



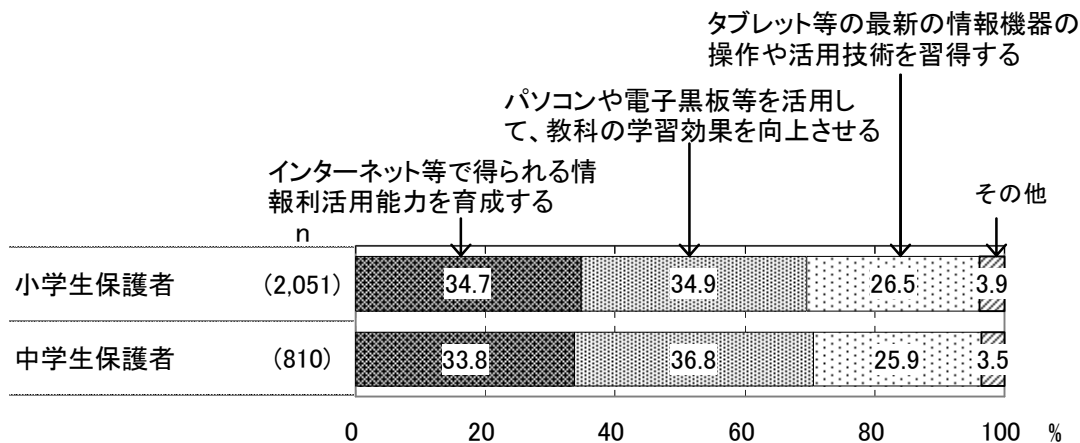
問 16 ICT（情報通信技術）を活用した教育に関して、期待することは何ですか。（1つだけ○）

ICT（情報通信技術）を活用した教育に関して期待することについては、「パソコンや電子黒板等を活用して、教科の学習効果を向上させる」が最も多く 34.3%、次いで「インターネット等で得られる情報活用能力を育成する」が 33.5%、「タブレット等の最新の情報機器の操作や活用技術を習得する」が 25.3%となっています。



【学校別】

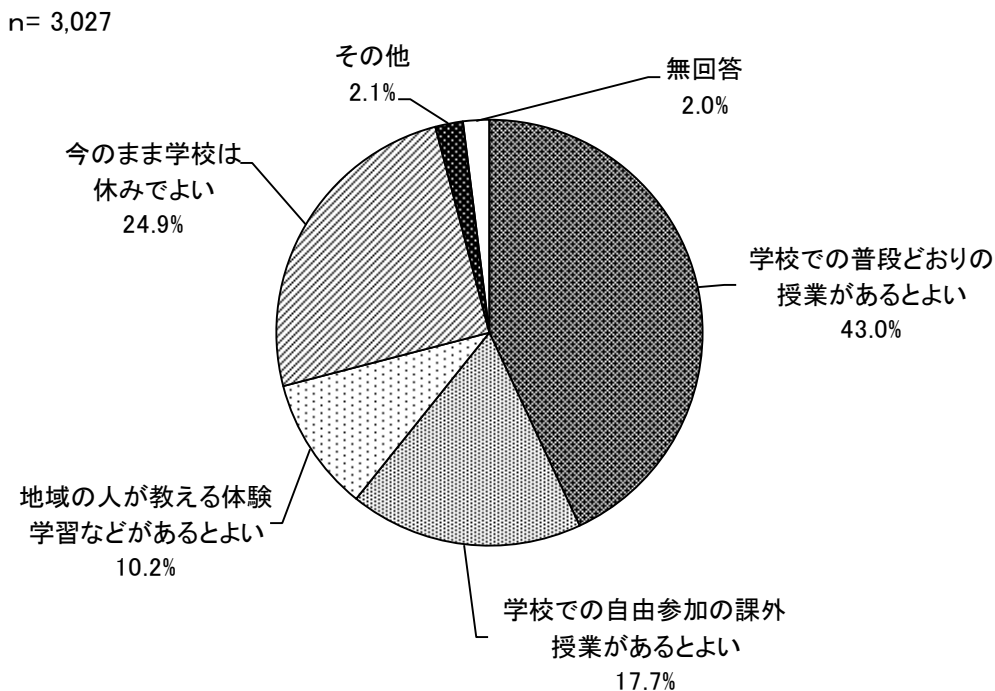
学校別でも、大きな違いはみられません。



#### 4. 土曜日の過ごし方について

問 17 法令改正により、設置者の主体的な判断で、土曜日の授業や学習が行いやすくなりましたが、どんなことができたらいいと思いますか。（1つだけ○）

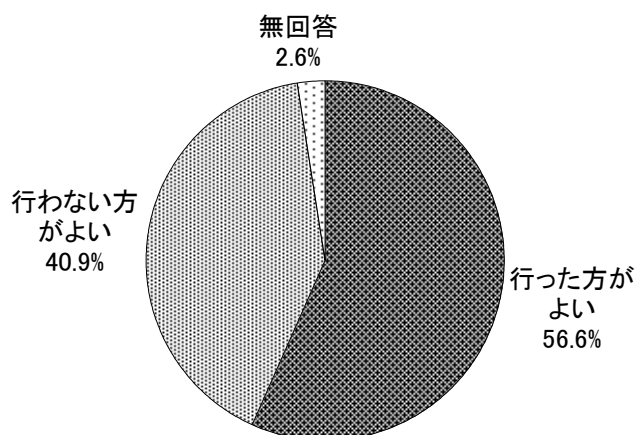
土曜日の授業や学習でどのようなことができたら良いかについては、「学校での普段どおりの授業があるとよい」が最も多く 43.0%、次いで「今のまま学校は休みでよい」が 24.9%、「学校での自由参加の課外授業があるとよい」が 17.7%、「地域の人が教える体験学習などがあるとよい」が 10.2%となっています。



問 18 土曜日にも振替休日のない通常の授業を行った方がいいと思いますか。（1つだけ○）

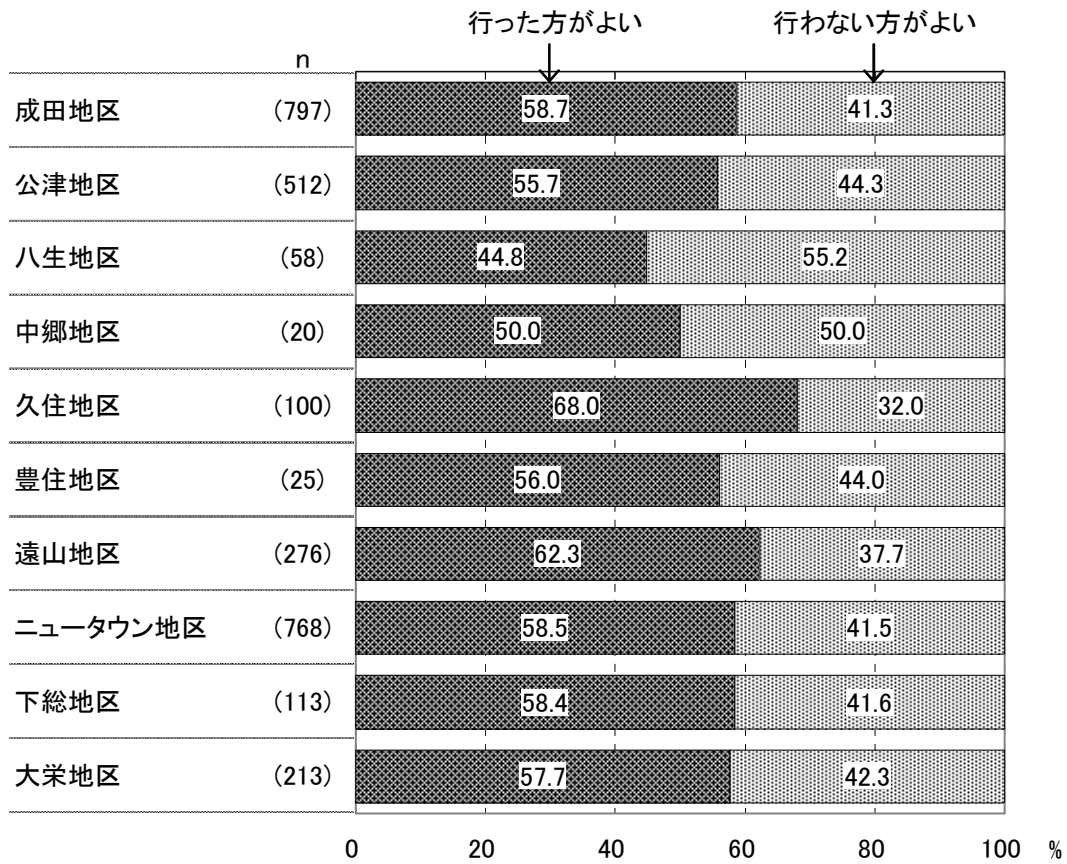
土曜日にも振替休日のない通常の授業を行った方がいいかについては、「行った方がよい」が 56.6%、「行わない方がよい」が 40.9%となっています。

n= 3,027



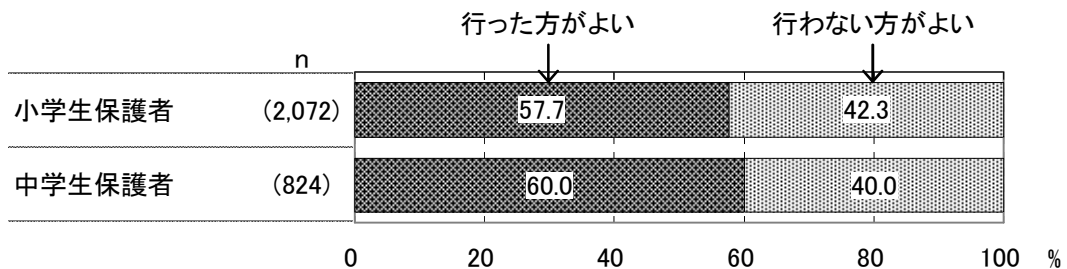
【地区別】

地区別でみても、ほとんどの地区で「行った方がよい」が過半数を超えています。



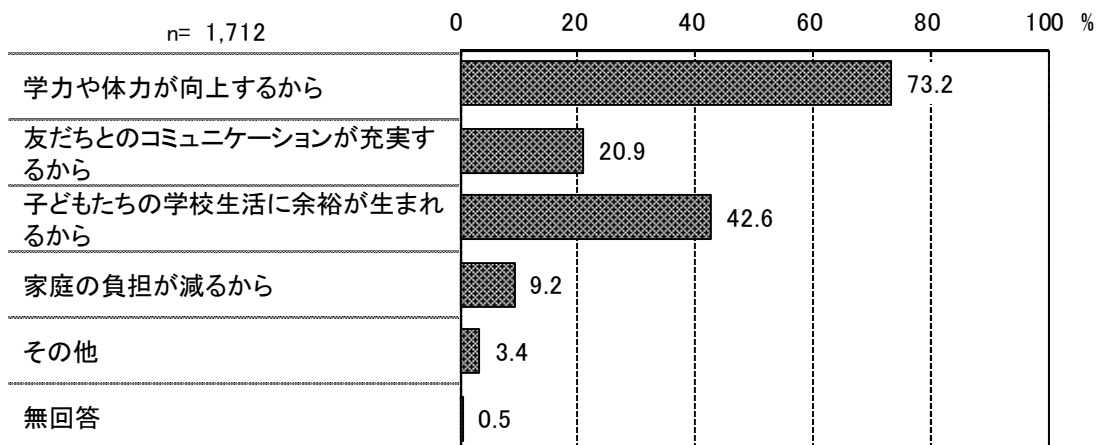
【学校別】

学校別でみても、大きな違いはみられませんが、「行った方がよい」とした“中学生保護者”が“小学生保護者”に比べて、やや高い割合となっています。



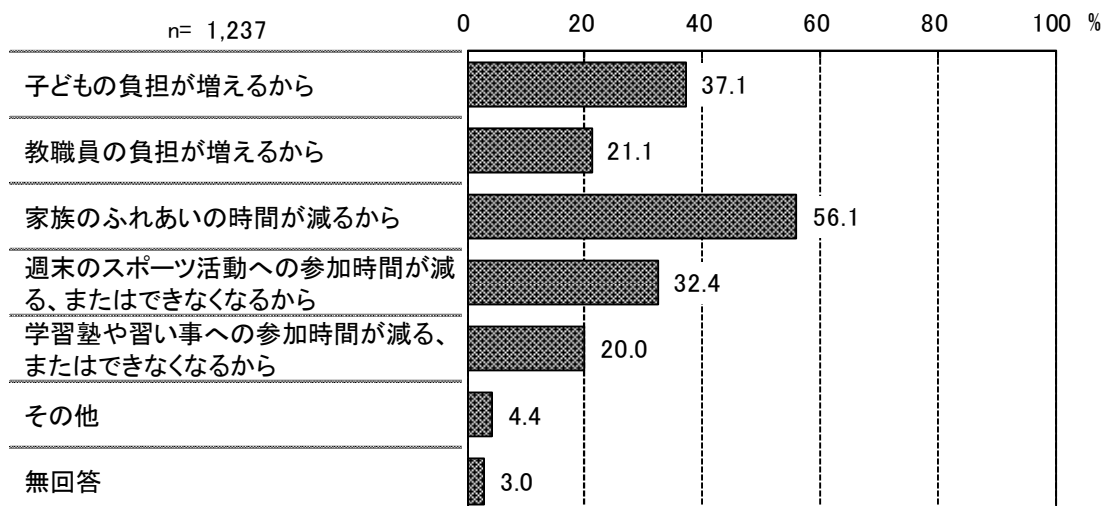
問 19 問 18 で「1」と回答した方に、その理由をお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

土曜日にも振替休日のない通常の授業を行った方がよい理由については、「学力や体力が向上するから」が最も多く 73.2%、次いで「子どもたちの学校生活に余裕が生まれるから」が 42.6%、「友だちとのコミュニケーションが充実するから」が 20.9%などとなっています。



問 20 問 18 で「2」と回答した方に、その理由をお尋ねします。(あてはまるものすべてに○)

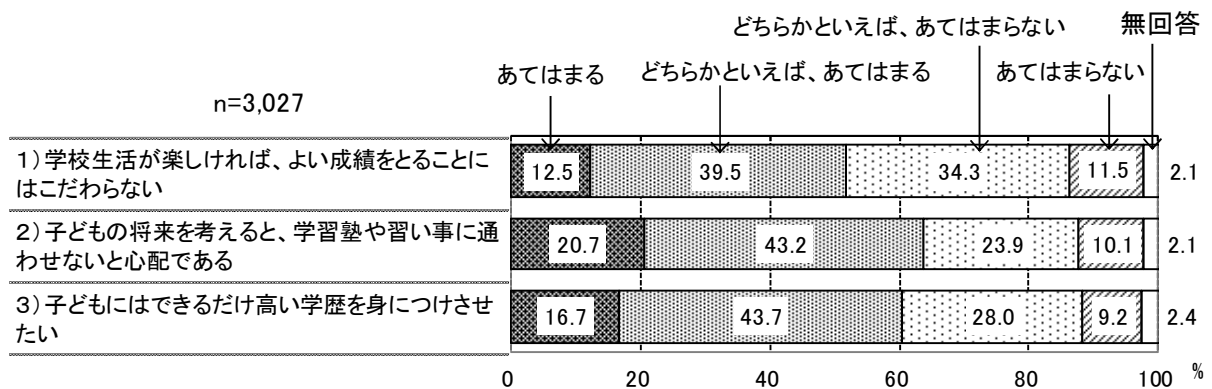
土曜日に振替休日のない通常の授業を行わない方がいい理由については、「家族のふれあいの時間が減るから」が最も多く 56.1%、次いで「子どもの負担が増えるから」が 37.1%、「週末のスポーツ活動への参加時間が減る、またはできなくなるから」が 32.4%などとなっています。



## 5. 教育全般について

問 21 あなたは、次のことについて、どのように考えていますか。(それぞれに1つずつ〇)

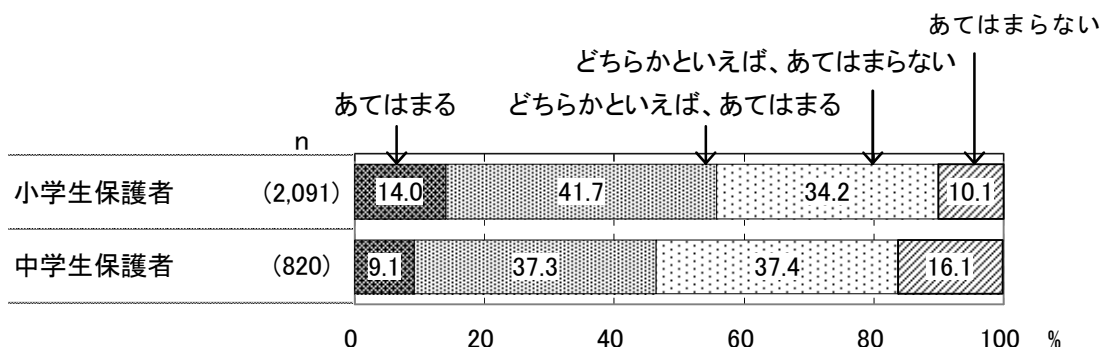
教育についての考え方については、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」を合わせた『あてはまる』で、“学校生活を楽しければ、よい成績をとることにこだわらない”で5割を超え、“子どもの将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である”と“子どもにはできるだけ高い学歴を身につけさせたい”で6割を超えています。



### 【学校別】

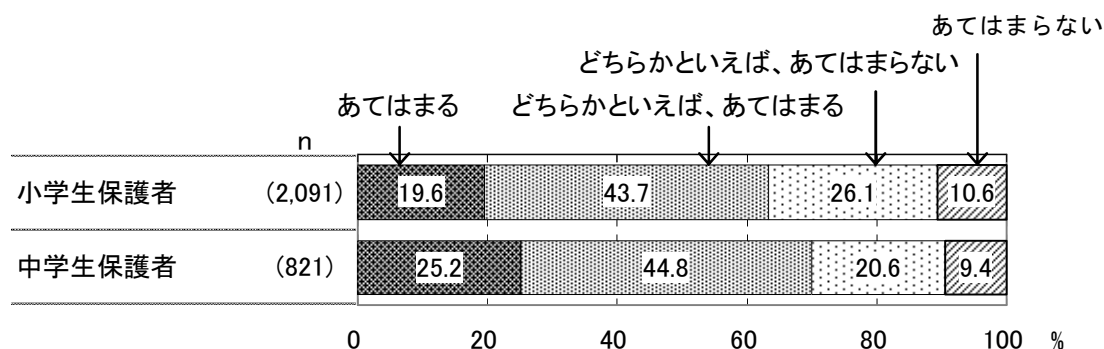
#### 1) 学校生活を楽しければ、よい成績をとることはこだわらない

学校別でみると、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」とした“小学生保護者”が過半数を超え、“中学生保護者”に比べて高い割合となっています。



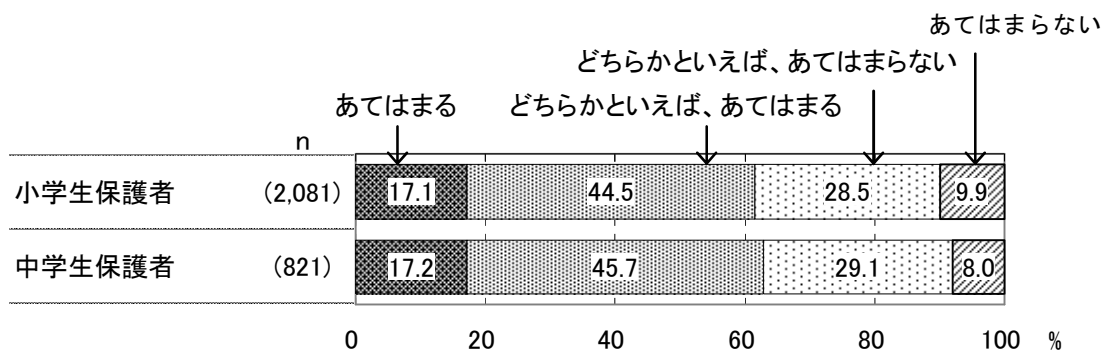
2) 子どもの将来を考えると、学習塾や習い事に通わせないと心配である

学校別でみると、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」とした“中学生保護者”が7割と、“小学生保護者”に比べて高い割合となっています。



3) 子どもにはできるだけ高い学歴を身につけさせたい

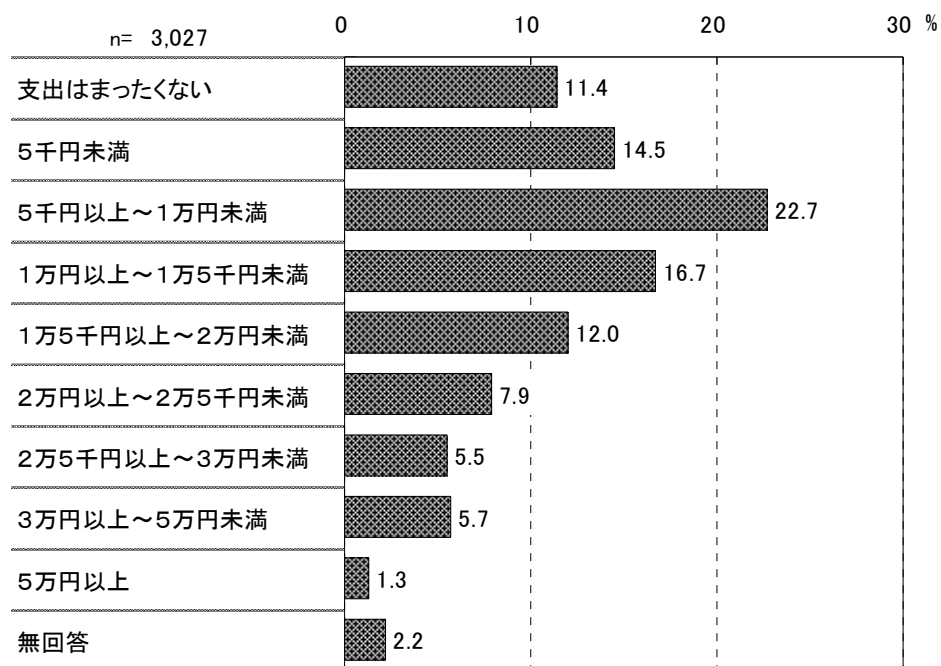
学校別でみても、“小学生保護者”と“中学生保護者”の大きな違いはみられません。





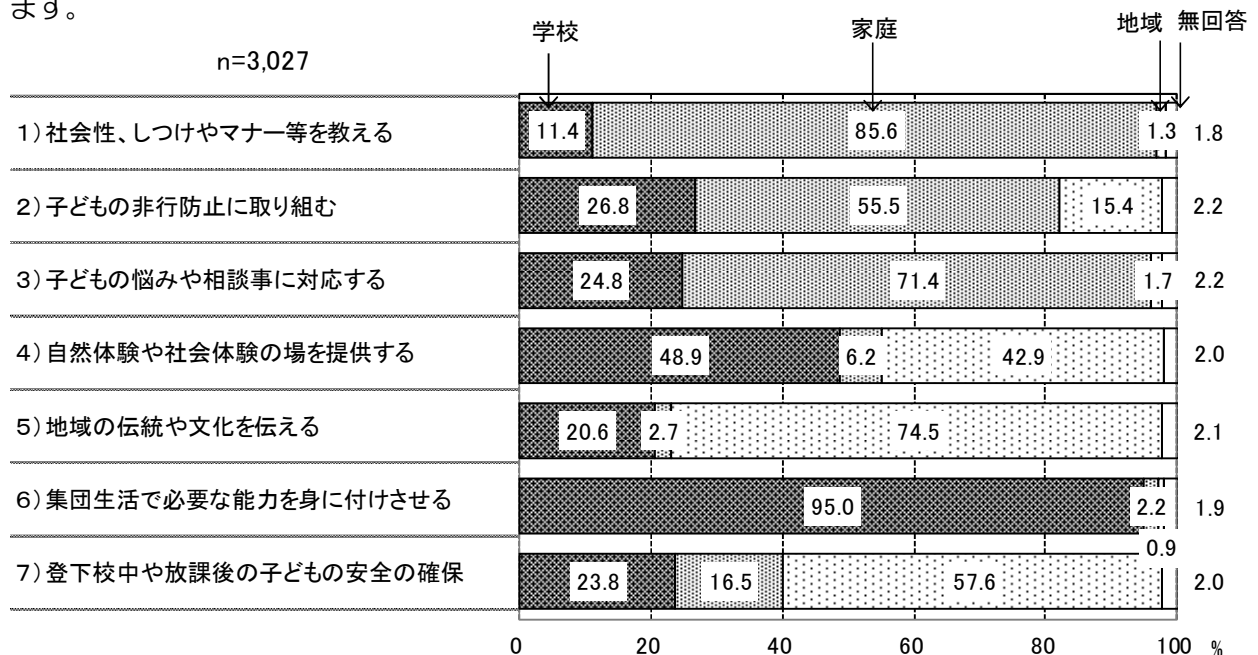
問 22 お子さん1人について、学校以外の教育にかける1か月あたりの平均の支出はどのくらいですか。(1つだけ○)

お子さん1人について、学校以外の教育にかける1か月あたりの平均の支出については、「5千円以上～1万円未満」が最も多く22.7%、次いで「1万円以上～1万5千円未満」が16.7%、「5千円未満」が14.5%などとなっています。



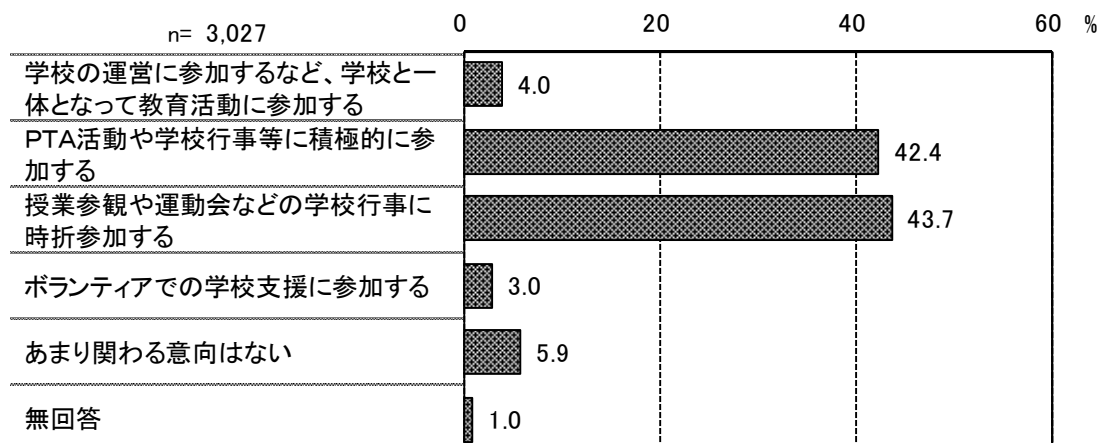
問 23 あなたは、次のことについて、学校、家庭、地域のどこが中心となるべきだと考えていますか。（それぞれに1つずつ〇）

学校、家庭、地域のどこが中心となるべきかについては、“6）集団生活に必要な能力を身に付けさせる”では「学校」が中心となるべきだと考えている方が9割半ばと割合が高くなっています。一方、“1）社会性、しつけやマナー等を教える”では「家庭」で8割半ばと割合が高くなっています。また、“5）地域の伝統や文化を伝える”では「地域」が7割半ばとなっています。



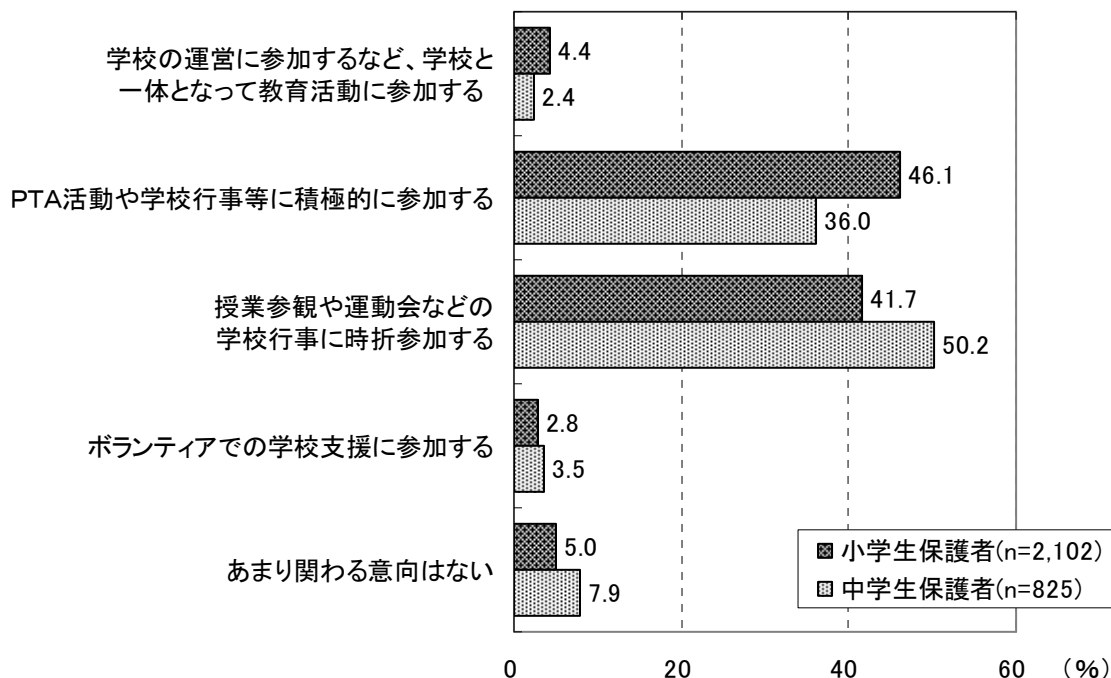
問 24 あなたは、学校の活動に対して、どの程度、関わる意向を持っていますか。（1つだけ〇）

学校の活動に対して、どの程度、関わる意向を持っているかについては、「授業参観や運動会などの学校行事に時折参加する」が最も多く 43.7%、次いで「PTA活動や学校行事等に積極的に参加する」が 42.4%などとなっています。



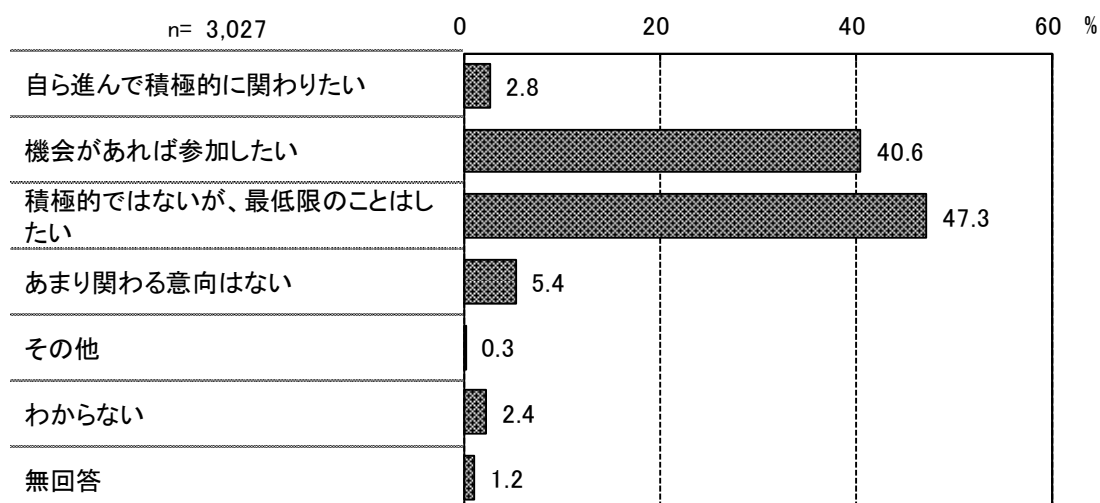
### 【学校別】

学校別でみると、「PTA活動や学校行事等に積極的に参加する」では“小学生保護者”が4割半ばと“中学生保護者”に比べて高い割合となっています。



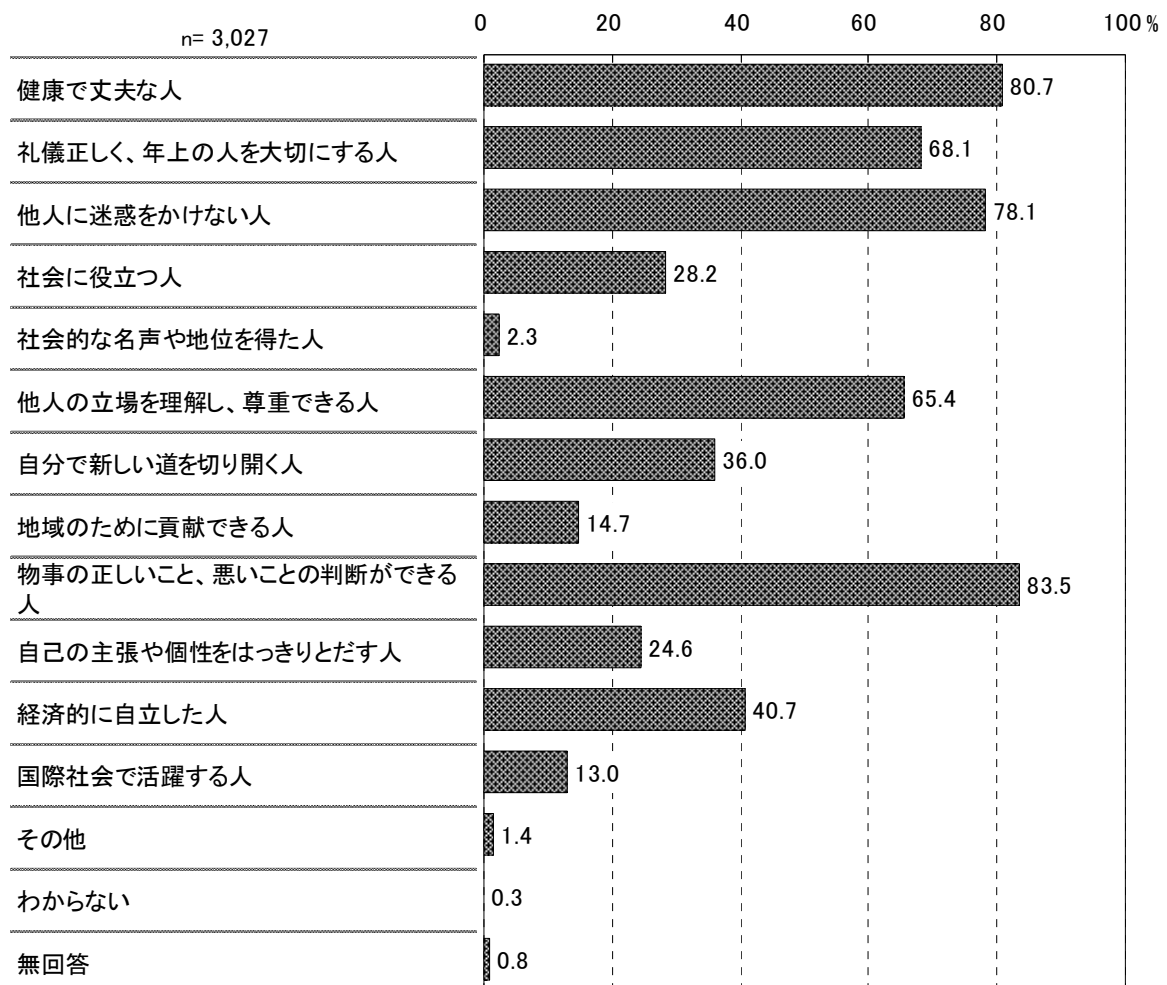
問 25 あなたは、地域社会における教育に、どの程度、関わる意向を持っていますか。(1つだけ○)

地域社会における教育に、どの程度、関わる意向を持っているかについては、「積極的ではないが、最低限のことはしたい」が最も多く47.3%、次いで「機会があれば参加したい」が40.6%などとなっています。



問 26 あなたのお子さんにはどのような人間になってもらいたいですか。(あてはまるものすべてに○)

お子さんにどのような人間になってもらいたいかについては、「物事の正しいこと、悪いことの判断ができる人」が最も多く 83.5%、次いで「健康で丈夫な人」が 80.7%、「他人に迷惑をかけない人」が 78.1%などとなっています。

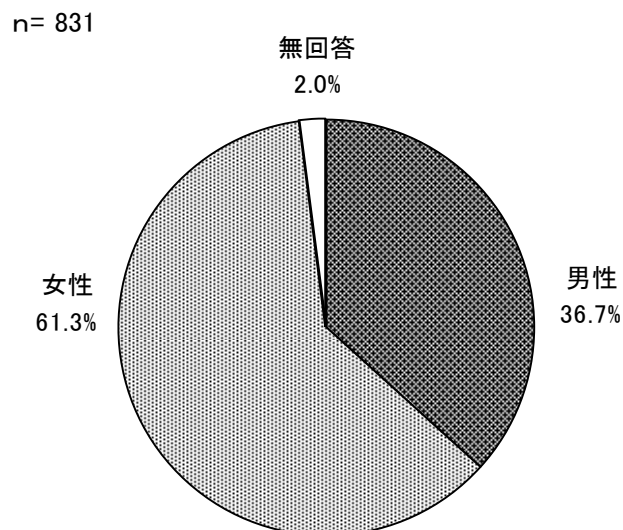


## 第5章 教職員調査の結果

### 1. あなた自身について

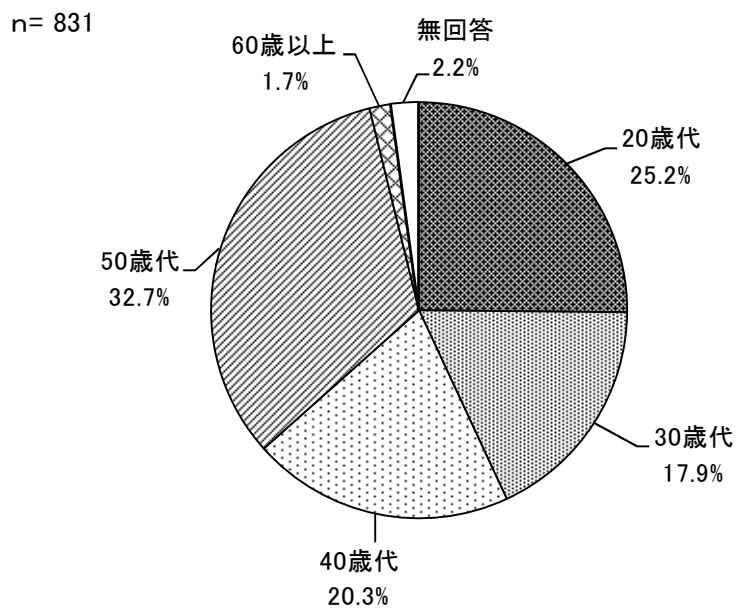
問1 あなたの性別はどちらですか。(1つだけ○)

性別については、「男性」が36.7%、「女性」が61.3%となっています。



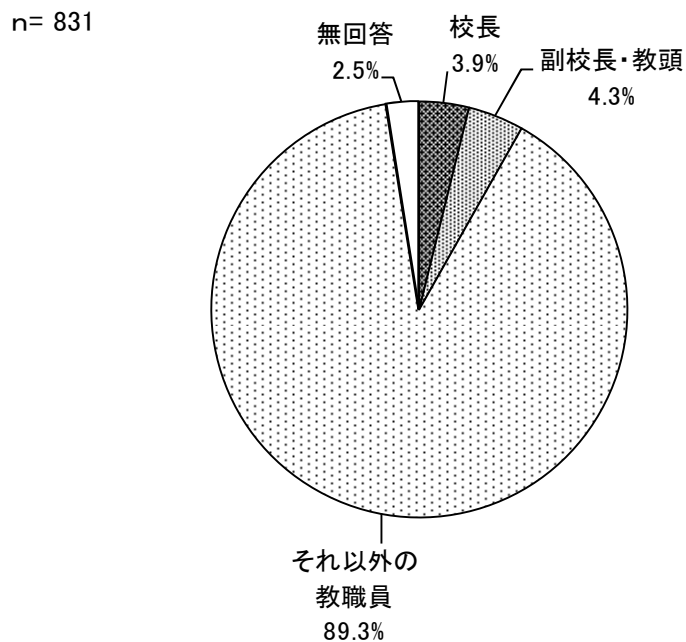
問2 あなたの年齢についてあてはまるものを選んでください。(1つだけ○)

年齢については、「20歳代」が25.2%、「30歳代」が17.9%、「40歳代」が20.3%、「50歳代」が32.7%、「60歳代」が1.7%となっています。



問3 あなたの職名は何ですか。(1つだけ○)

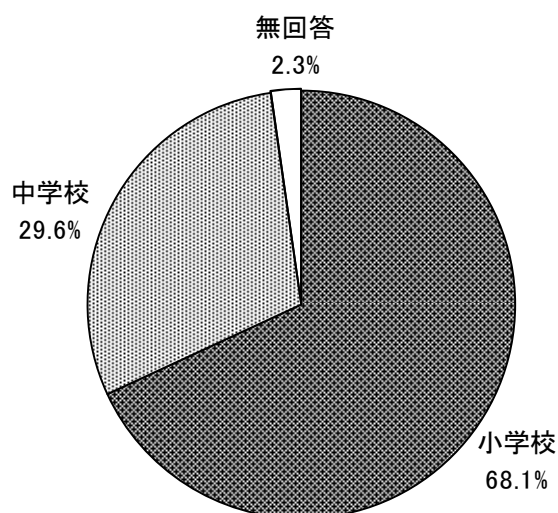
職名については「校長」が3.9%、「副校長・教頭」が4.3%、「それ以外の教職員」が89.3%となっています。



問4 あなたの勤務先はどちらですか。(1つだけ○)

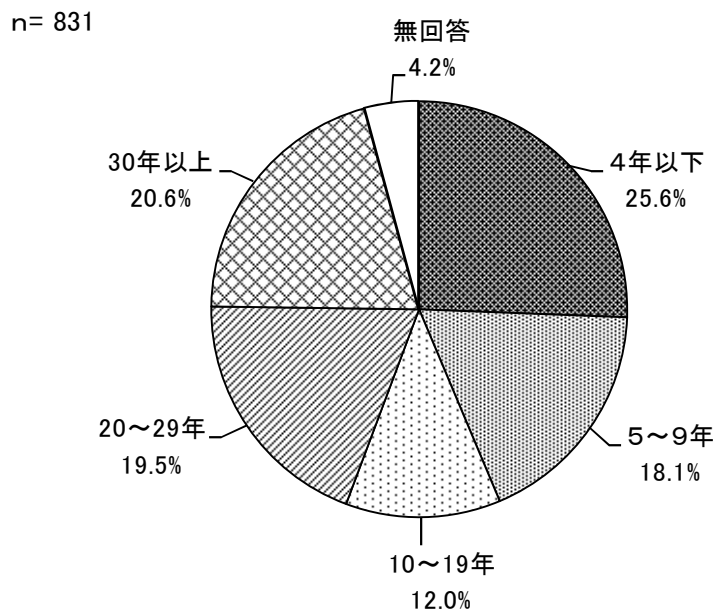
勤務先については、「小学校」が68.1%、「中学校」が29.6%となっています。

n= 831



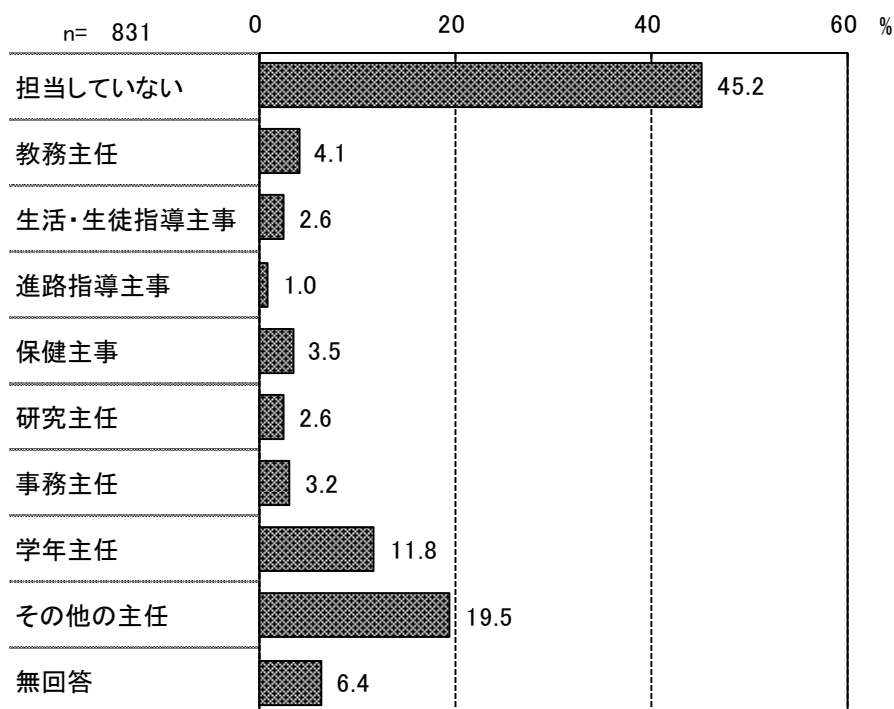
問5 あなたの教職員経験年数は何年ですか。(1つだけ○)

教職員経験年数については、「4年以下」が25.6%、「5～9年」が18.1%、「10～19年」が12.0%、「20～29年」が19.5%、「30年以上」が20.6%となっています。



問6 主任を担当していますか。(1つだけ○)

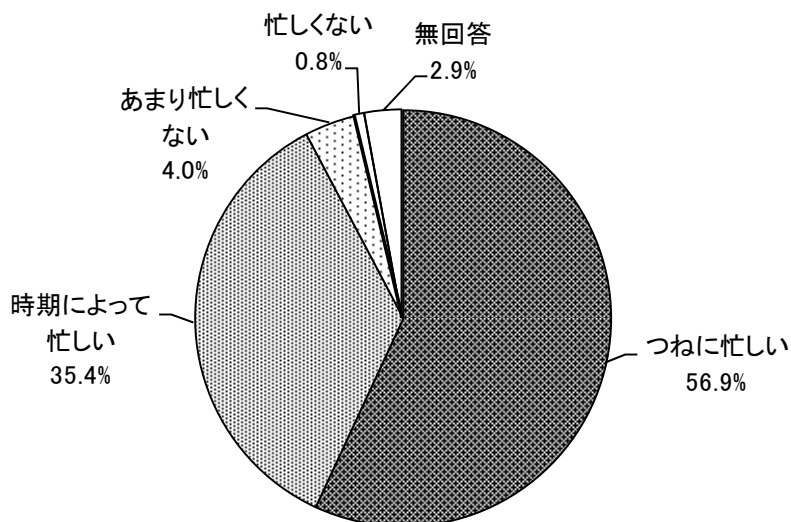
主任を担当しているかについては、「担当していない」が45.2%、「その他の主任」が19.5%、「学年主任」が11.8%などとなっています。



問7 ご自身の職務について、どれくらい忙しいと感じていますか。(1つだけ〇)

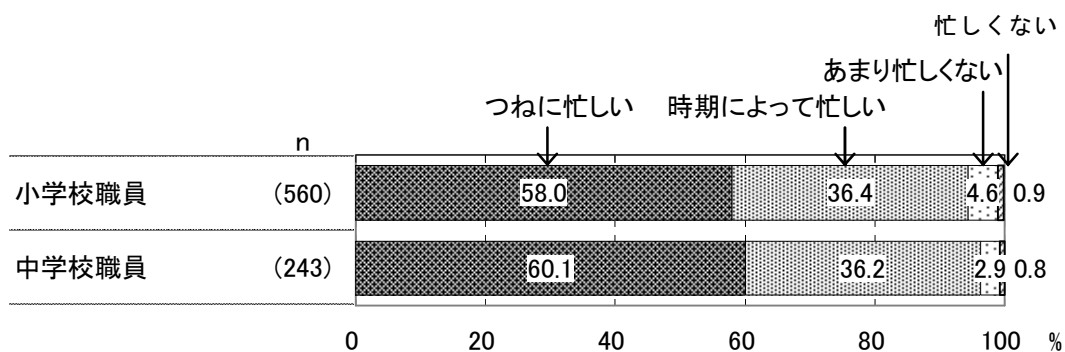
職務について、どれくらい忙しいと感じているかについては、「つねに忙しい」が最も多く56.9%、次いで「時期によって忙しい」が35.4%、「あまり忙しくない」が4.0%、「忙しくない」が0.8%となっています。

n= 831



【勤務先別】

勤務先別でも、「小学校職員」、「中学校職員」で大きな違いはみられません。

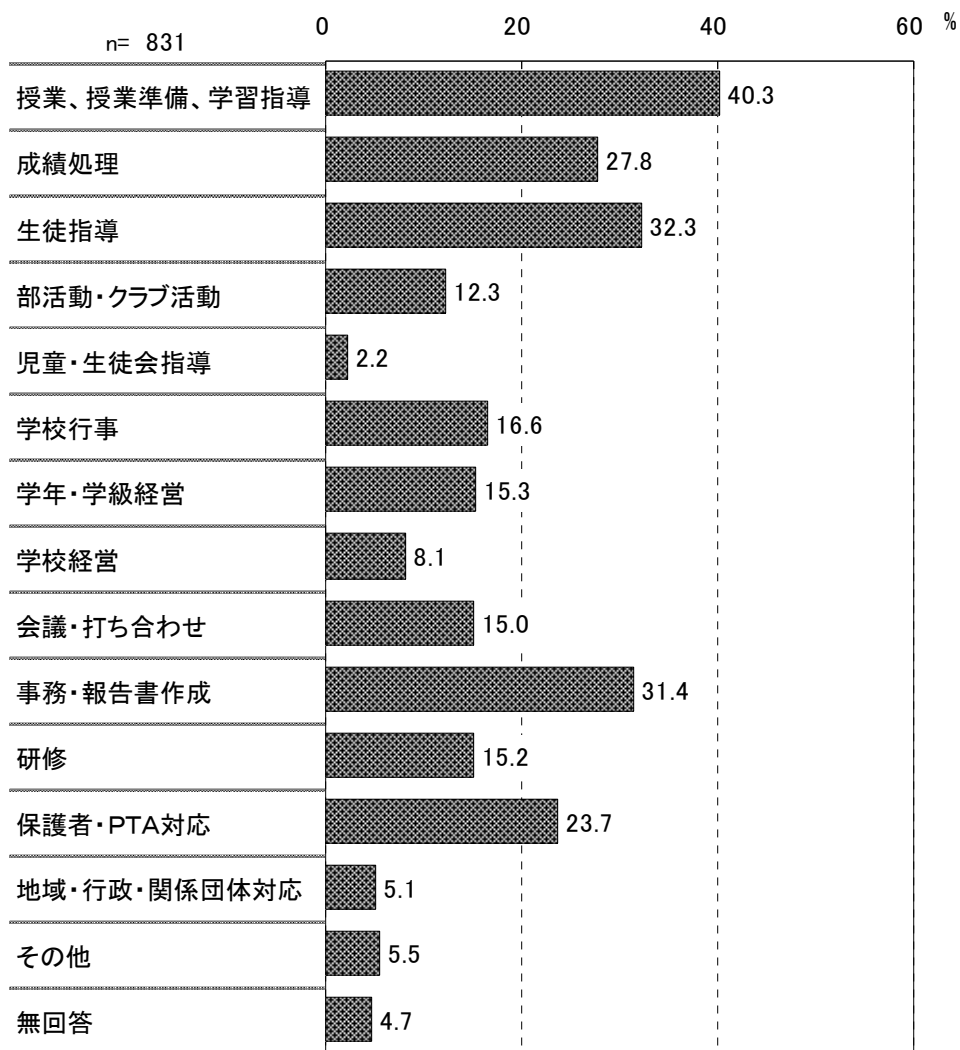




問8 仕事をするうえで、あなたが特に大変だと感じるのはどのような業務ですか。

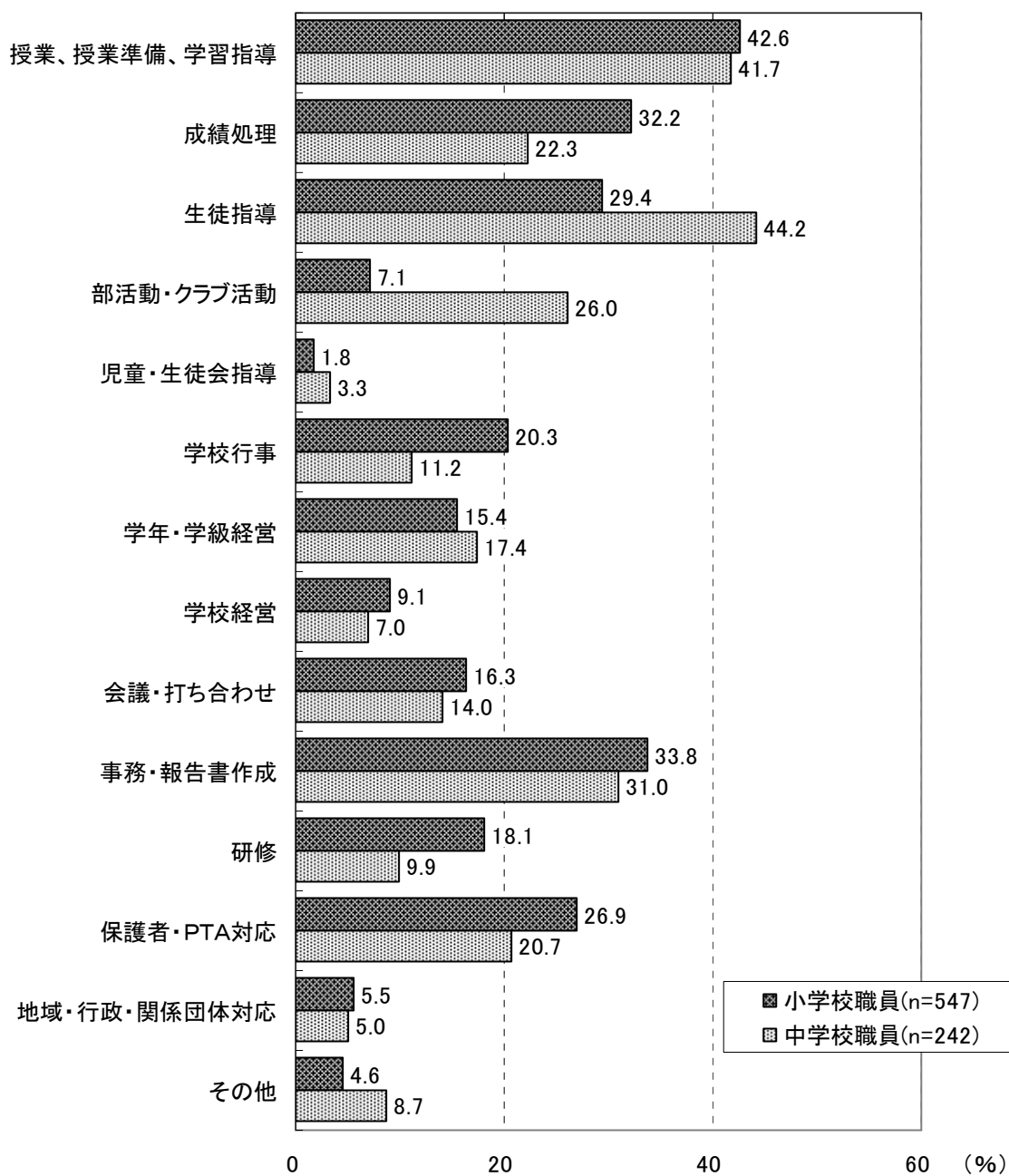
(3つまで○)

特に大変だと感じることについては、「授業、授業準備、学習指導」が最も多く40.3%、次いで「生徒指導」が32.3%、「事務・報告書作成」が31.4%、「成績処理」27.8%、「保護者・PTA対応」が23.7%などとなっています。



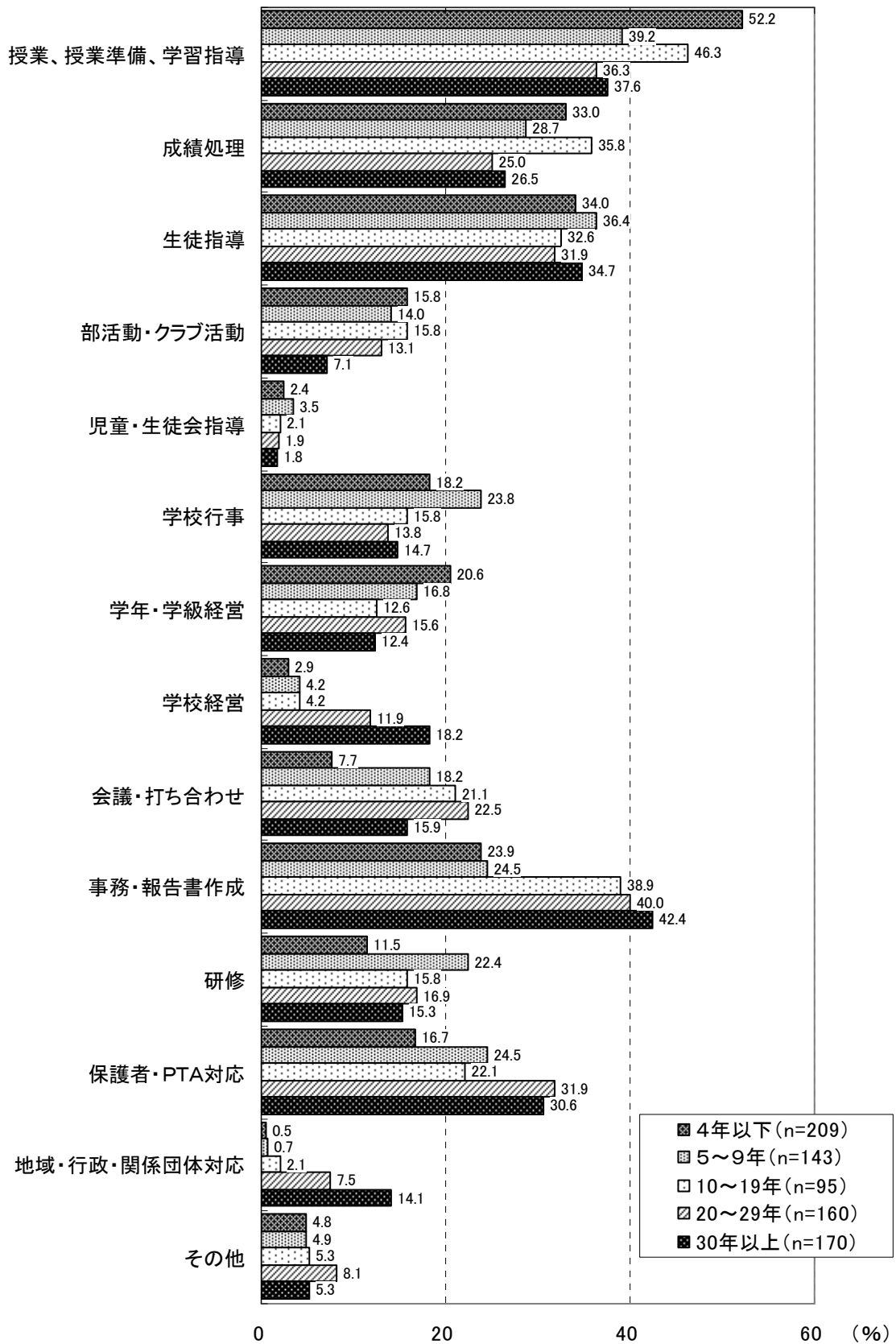
### 【勤務先別】

勤務先別でみると、「生徒指導」「部活動・クラブ活動」で“中学校職員”の割合が高く、「学校行事」で“小学校職員”の割合が高くなっています。



【経験年数別】

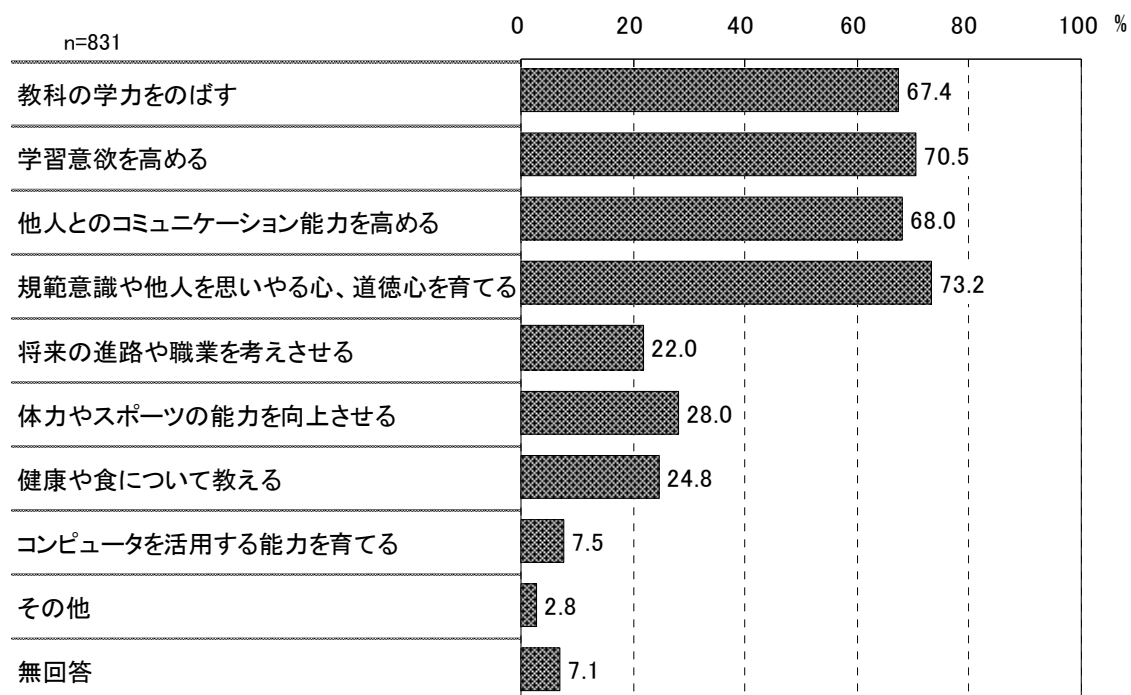
経験年数別でみると、「授業、授業準備、学習指導」では“4年以下”が5割を超え他の経験年数と比べると高い割合となっています。また、「事務・報告書作成」では経験年数が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあります。



## 2. 学習指導などの状況について

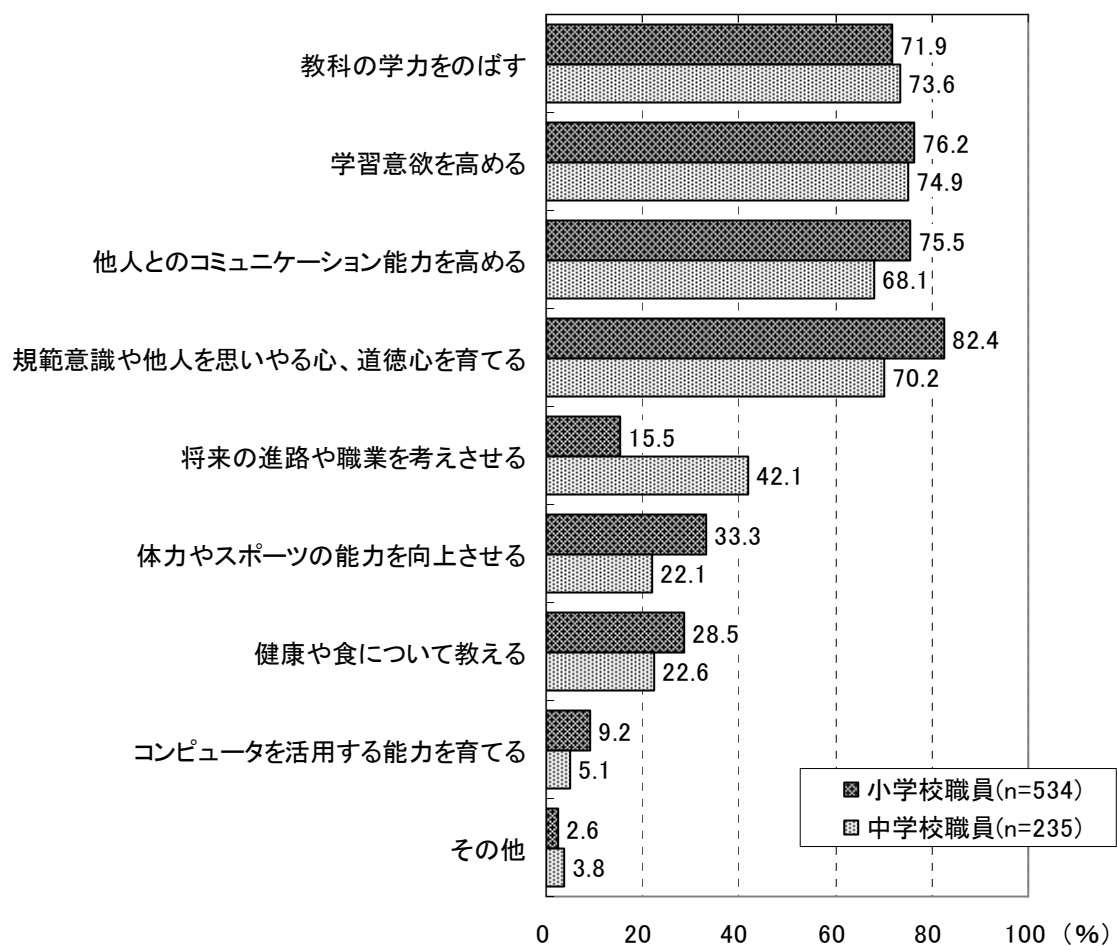
問 9 あなたは、普段の教育や指導のなかで、どのようなことに力を入れて取り組んでいますか。（あてはまるものすべてに○）

普段の教育や指導のなかで、どのようなことに力を入れて取り組んでいるかについては、「規範意識や他人を思いやる心、道徳心を育てる」が最も多く 73.2%、次いで「学習意欲を高める」が 70.5%、「他人とのコミュニケーション能力を高める」が 68.0%、「教科の学力をのばす」が 67.4%などとなっています。



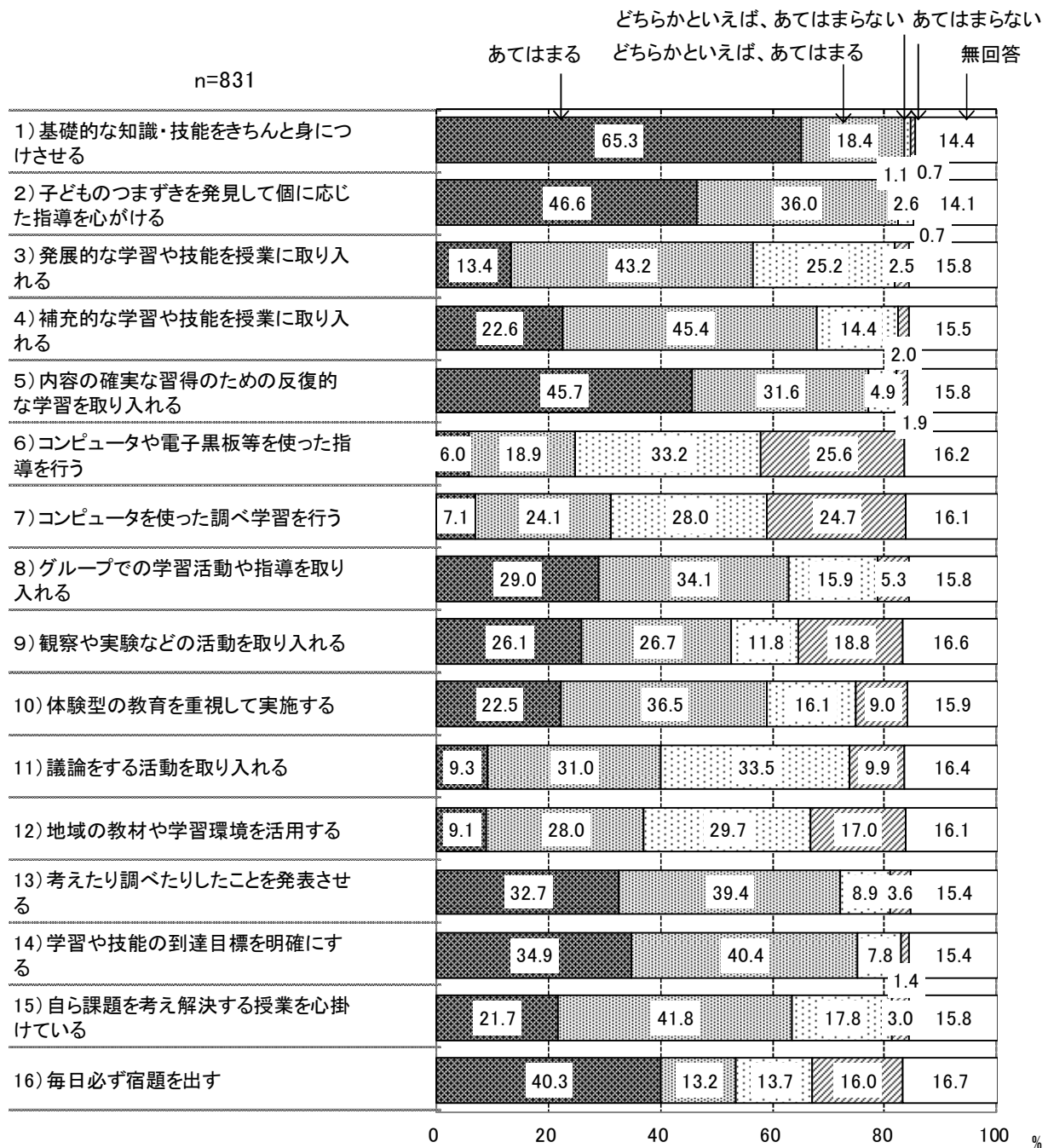
### 【勤務先別】

勤務先別でみると、上位にわずかな違いがみられ、“中学校職員”では、「教科の学力をのばす」「学習意欲を高める」の割合が高く、“小学校職員”では、「規範意識や他人を思いやる心、道徳心を育てる」が高い割合となっています。



問 10 普段の学習指導のなかで、あなたが取り組んでいることで、あてはまるものを選んでください。(それぞれに1つずつ〇)

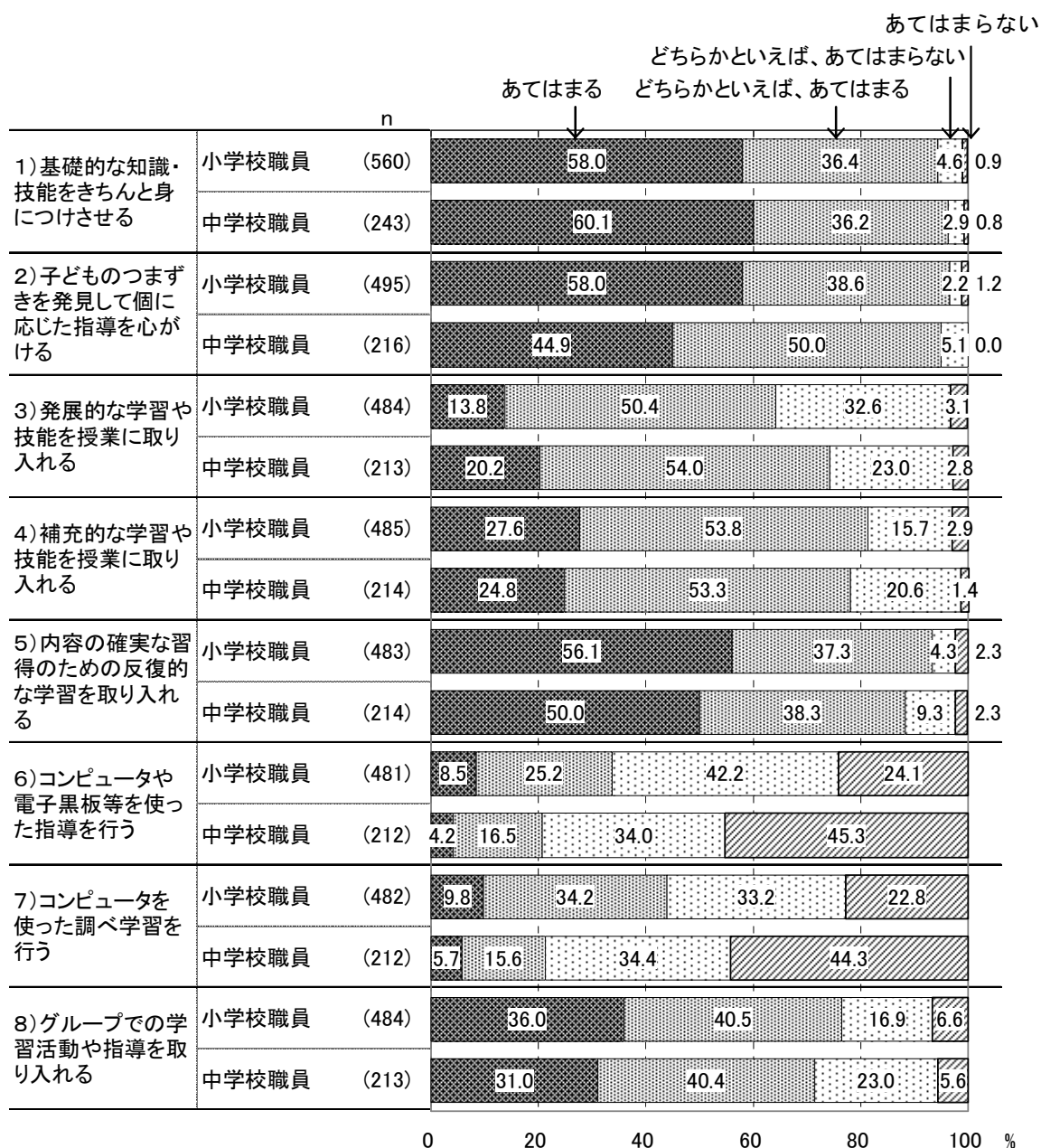
普段の学習指導のなかで、取り組んでいることについては、“1) 基礎的な知識・技能をきちんと身につけさせる”で「あてはまる」が6割半ばと割合が高くなっています。一方「あてはまらない」では“6) コンピュータや電子黒板等を使った指導を行う”と“7) コンピュータを使った調べ学習を行う”で2割半ばとなっており他の項目と比べて高い割合となっています。

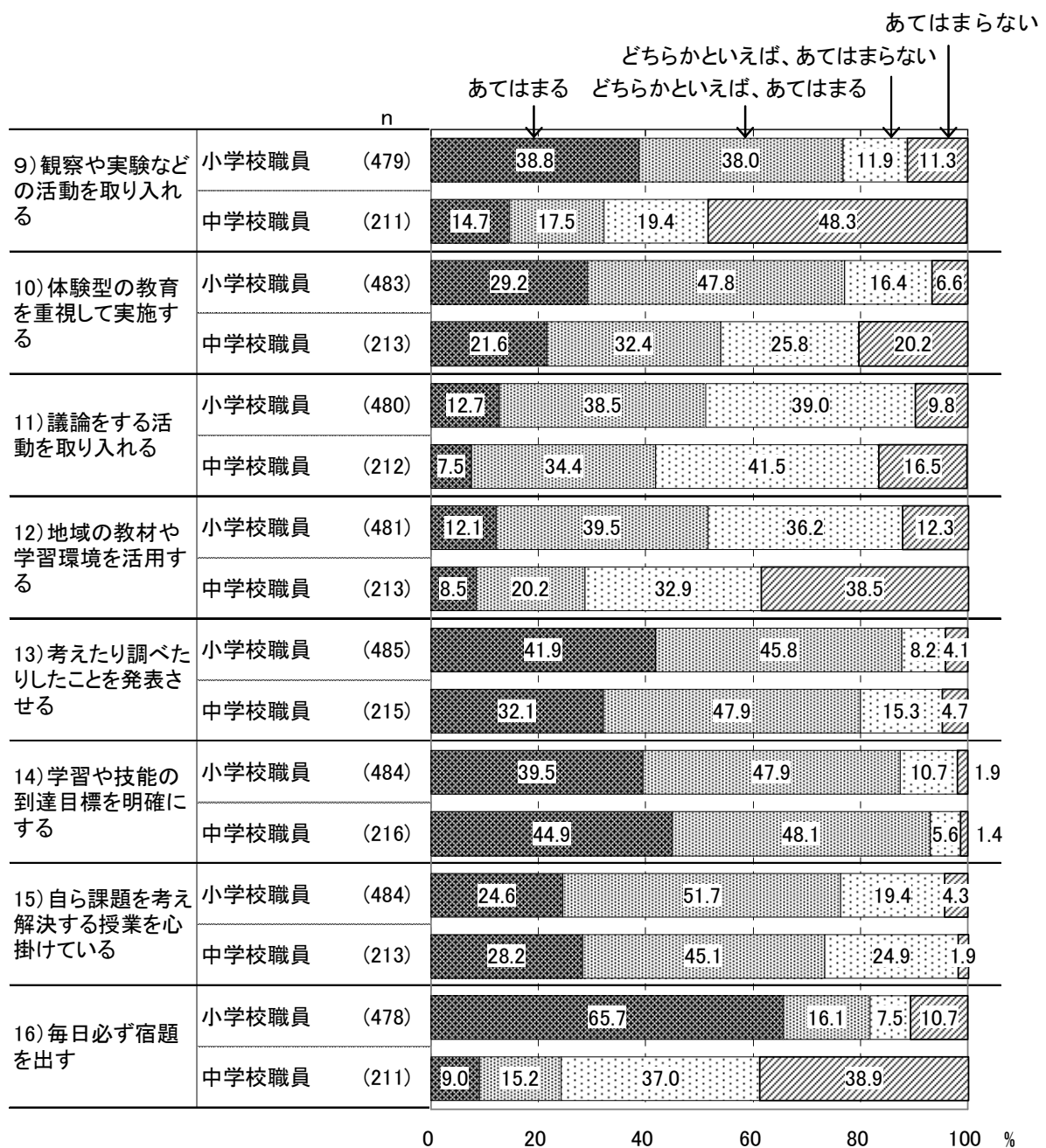


【勤務先別】

勤務先別でみて“小学校職員”、“中学校職員”で大きな違いがあるのは、『9) 観察や実験などの活動を取り入れる』、『16) 毎日必ず宿題を出す』で、「あてはまる」とした“小学校職員”の割合が高くなっています。

また、『6) コンピュータや電子黒板等を使った指導を行う』、『7) コンピュータを使った調べ学習を行う』では、「あてはまらない」とした“中学校職員”の割合が高くなっています。



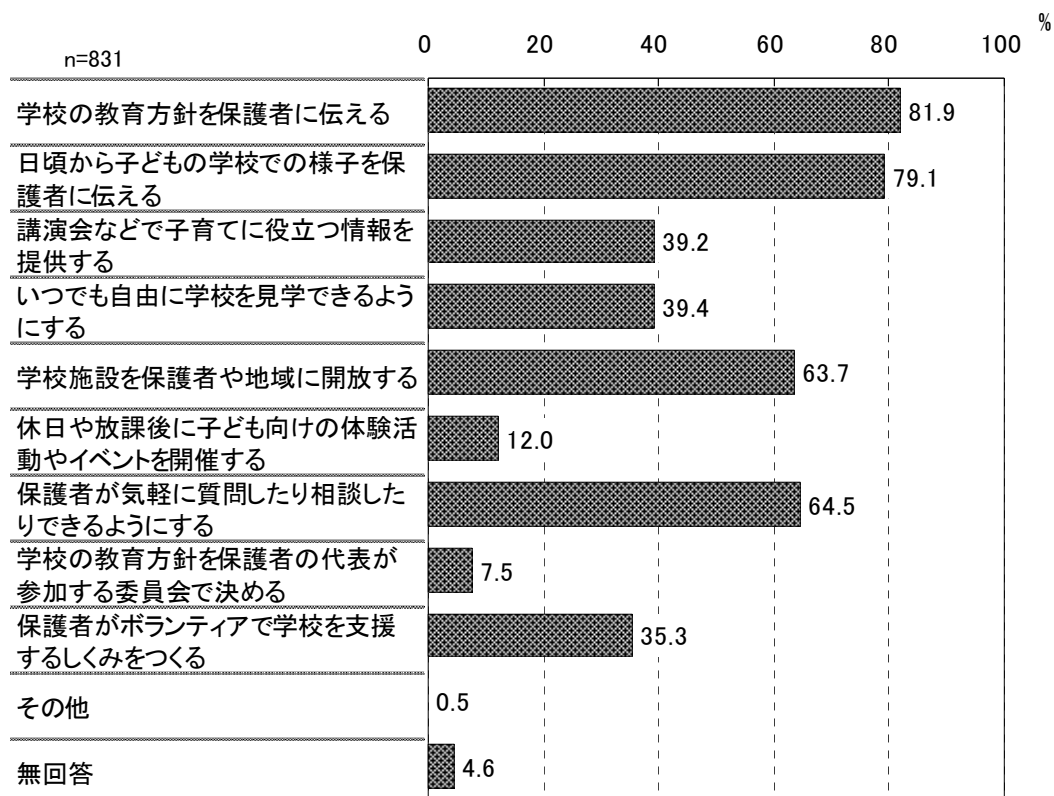




### 3. 学校教育の在り方について

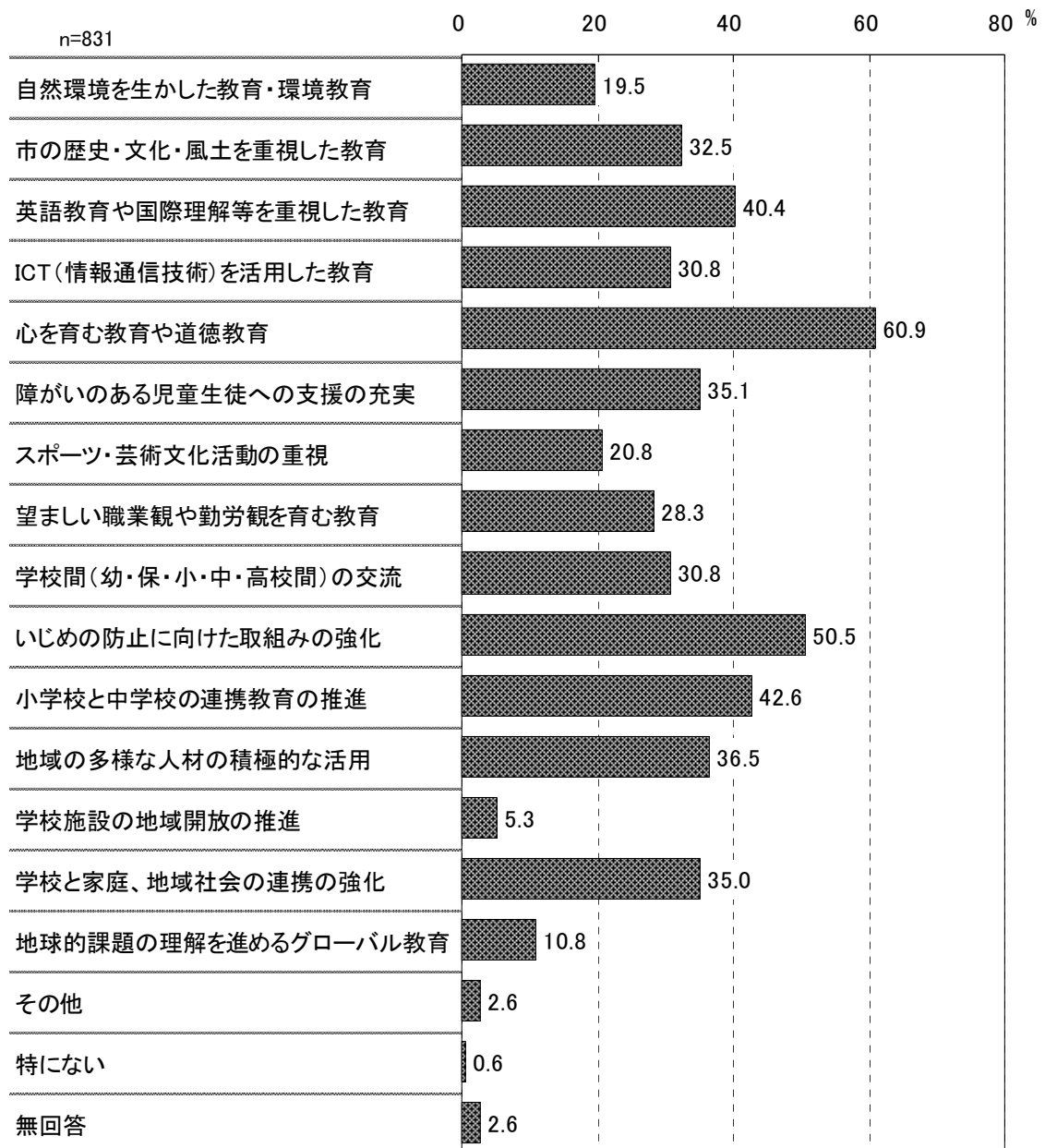
問 11 あなたやあなたの学校では次のようなことを行っていますか。(あてはまるものすべてに○)

学校で行っていることについては、「学校の教育方針を保護者に伝える」が最も多く 81.9%、次いで「日頃から子どもの学校での様子を保護者に伝える」が 79.1%、「保護者が気軽に質問したり相談したりできるようにする」が 64.5%、「学校施設を保護者や地域に開放する」が 63.7%などとなっています。



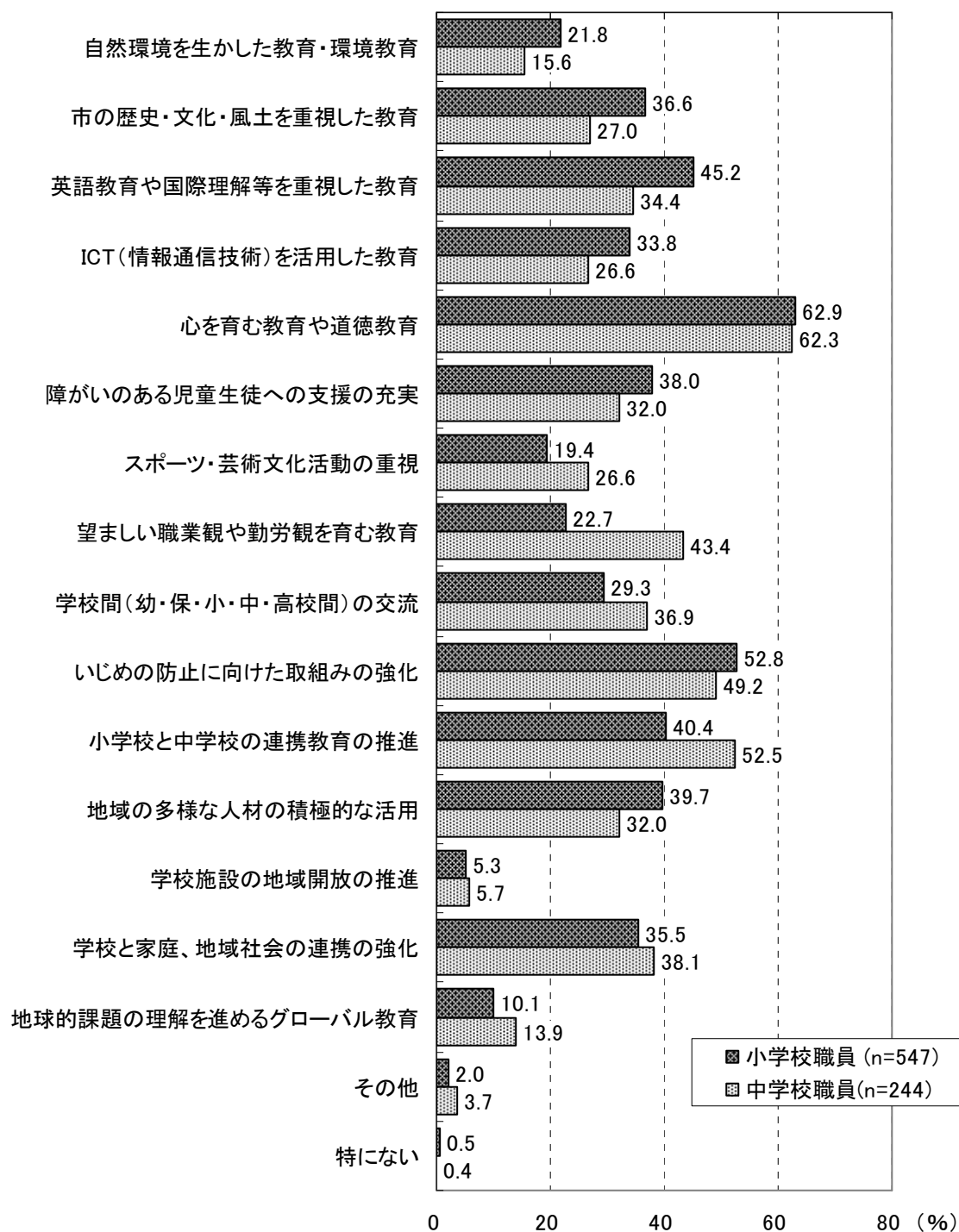
問 12 成田市の学校教育（小・中学校）では、今後どのような点に力を入れていくことが望ましいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

成田市の学校教育（小・中学校）で今後どのような点に力を入れていくことが望ましいと思うかについては、「心を育む教育や道徳教育」が最も多く 60.9%、次いで「いじめの防止に向けた取組みの強化」が 50.5%、「小学校と中学校の連携教育の推進」が 42.6%、「英語教育や国際理解等を重視した教育」が 40.4%、「地域の多様な人材の積極的な活用」36.5%などとなっています。



### 【勤務先別】

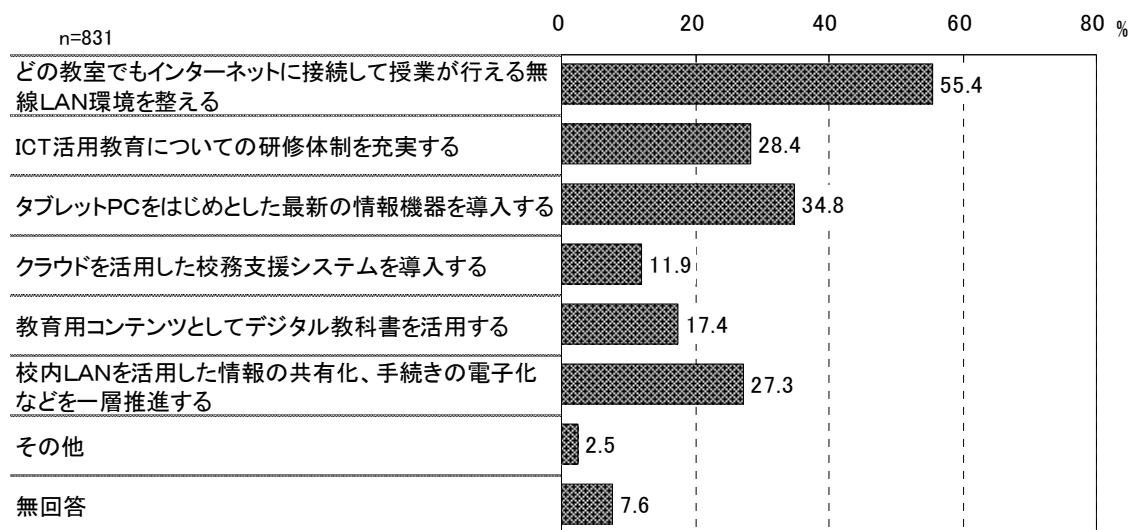
勤務先別でみると、「英語教育や国際理解等を重視した教育」では“小学校職員”が“中学校職員”と比べて高い割合となっています。一方、「望ましい職業観や勤労観を育む教育」や「小学校と中学校の連携教育の推進」では“中学校職員”が“小学校職員”と比べて高い割合となっています。



問 13 今後の学校の ICT 環境の整備等に関しては、どのような要望がありますか。

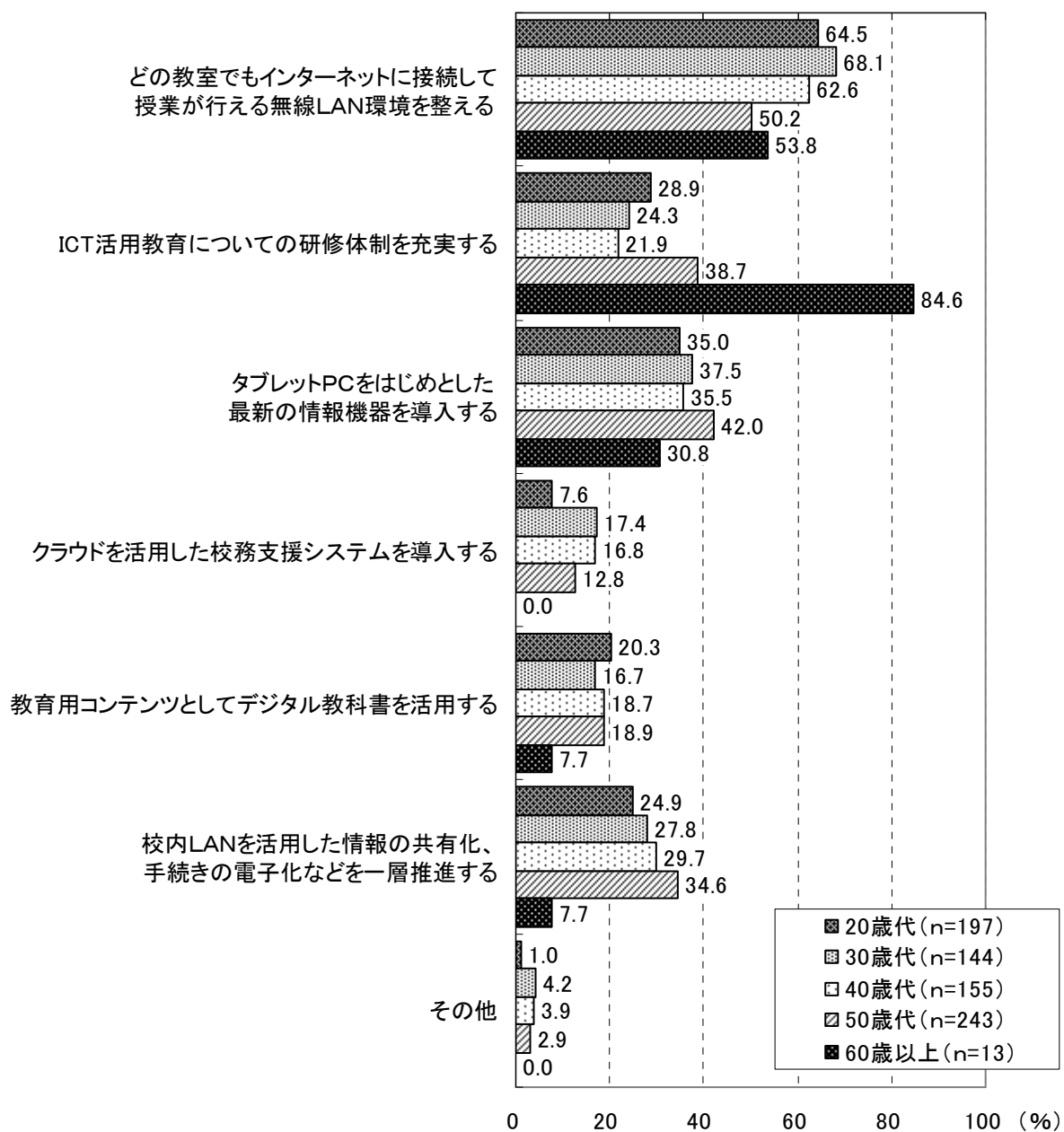
(2 つまで○)

今後の学校の ICT 環境の整備等については、「どの教室でもインターネットに接続して授業が行える無線 LAN 環境を整える」が最も多く 55.4%、次いで「タブレット PC をはじめとした最新の情報機器を導入する」が 34.8%、「ICT 活用教育についての研修体制を充実する」が 28.4%、「校内 LAN を活用した情報の共有化、手続きの電子化などを一層推進する」が 27.3%などとなっています。



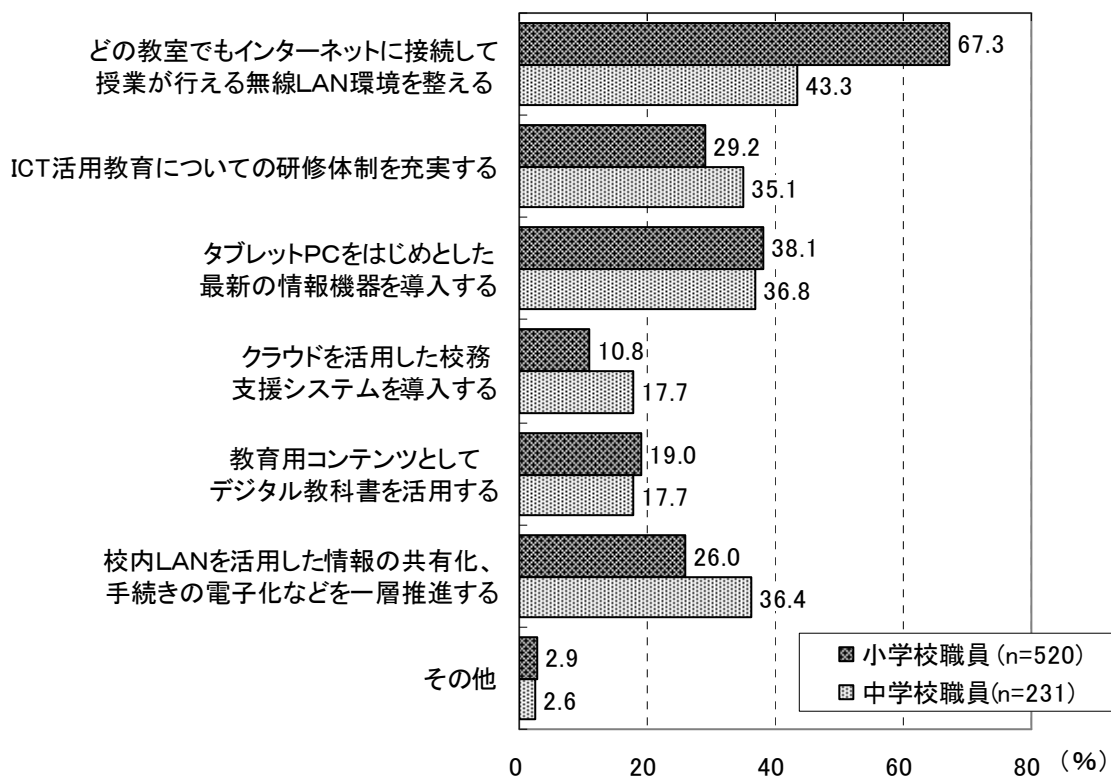
### 【年代別】

年代別でみても、「どの教室でもインターネットに接続して授業が行える無線LAN環境を整える」が上位となっていますが、中では“30歳代”の割合がやや高くなっています。なお、「ICT活用教育についての研修体制を充実する」では“50歳代”“60歳以上”の割合が高くなっています。



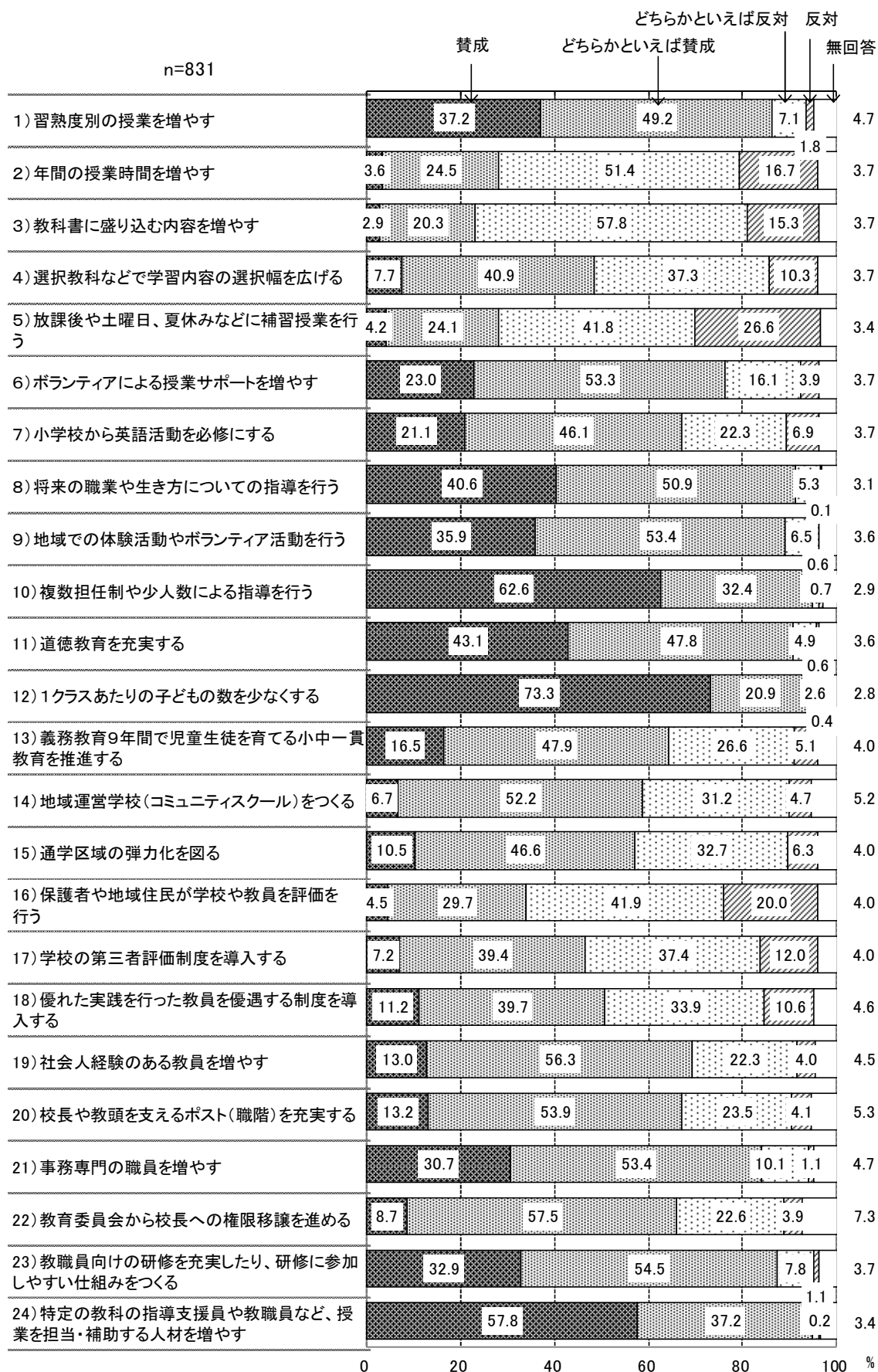
### 【勤務先別】

勤務先別でも、「どの教室でもインターネットに接続して授業が行える無線LAN環境を整える」が最も高い割合となっていますが、“小学校職員”が7割近く、“中学校職員”と比べて高い割合となっています。



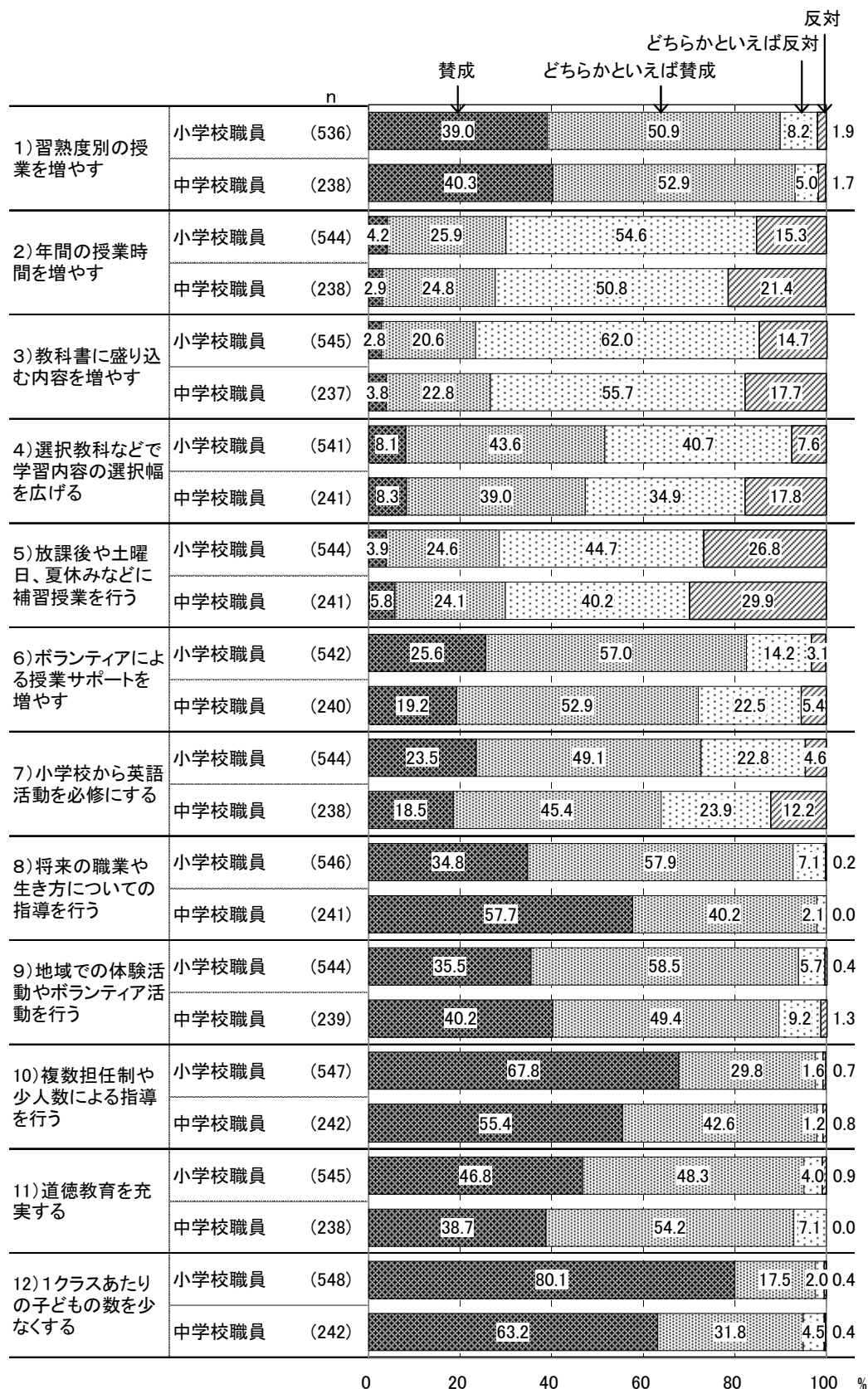
問 14 あなたは、現在の教育改革で進められている次のような取り組みについて、どのようにお考えですか。(それぞれに1つずつ〇)

現在の教育改革で進められている取り組みに対する考え方については以下の通りです。

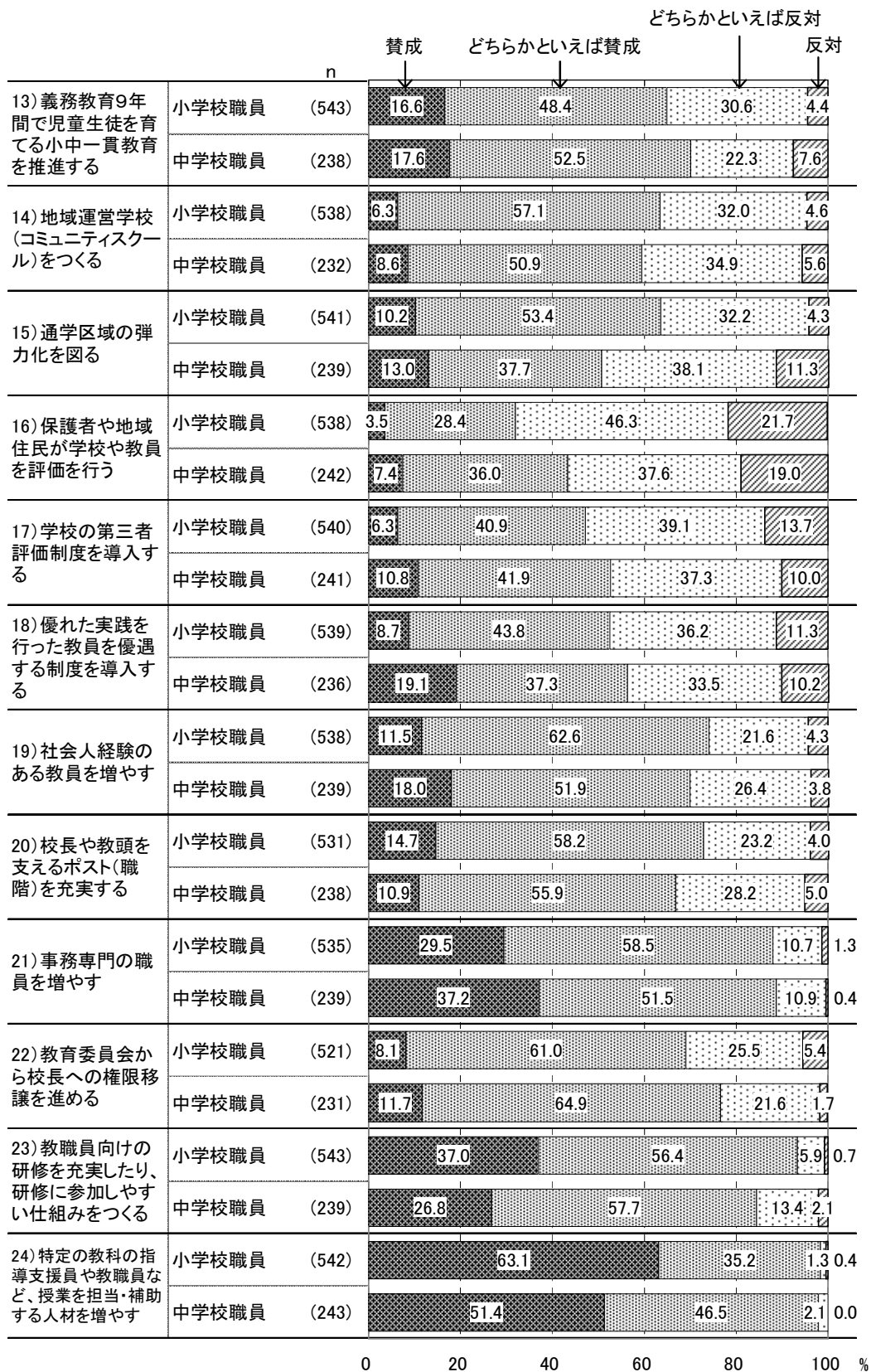


【勤務先別】

勤務先別でも、『10) 複数担任制や少人数による指導を行う』、『12) 1クラスあたりの子どもの数を少なくする』、『24) 特定の教科の指導支援員や教職員など、授業を担当・補助する人材を増やす』に「賛成」する割合が高くなっています。

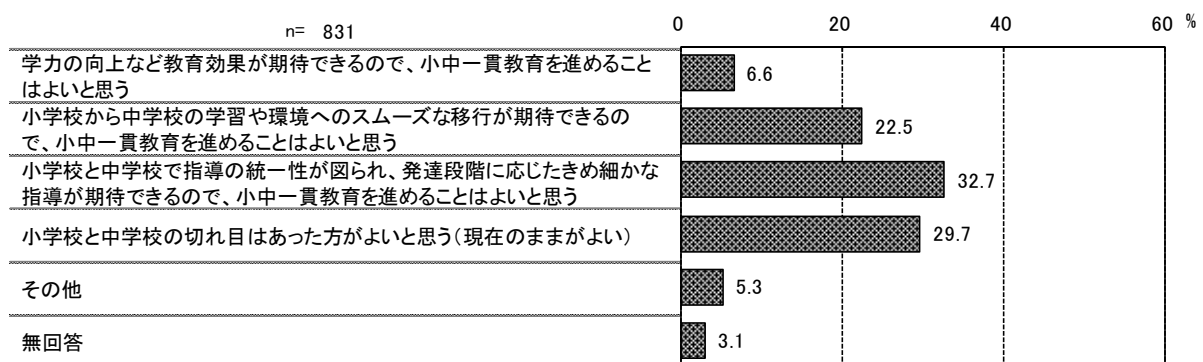






問 15 成田市では、中学校区を1つの単位として、義務教育9年間において教育の質的な向上を目的として、小中連携教育を推進しています。本年4月には、これを一層進めた小中一貫教育が「下総みどり学園」でスタートしました。この取り組みについてどのようにお考えですか。(1つだけ○)

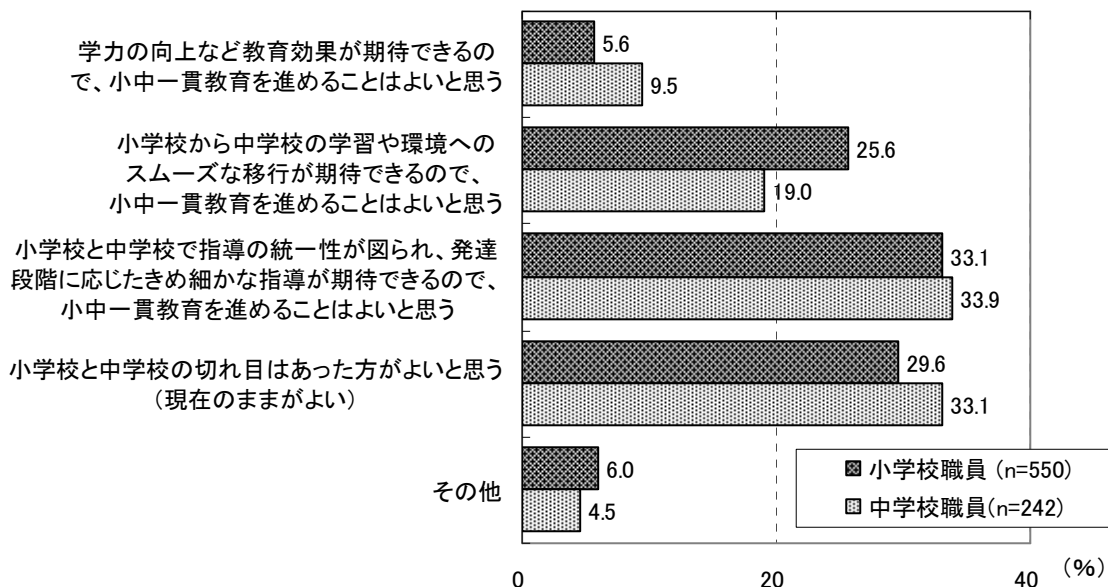
この取り組みについてどのように考えるかについては、「小学校と中学校で指導の統一性が図られ、発達段階に応じたきめ細かな指導が期待できるので、小中一貫教育を進めることはよいと思う」が最も多く32.7%、次いで「小学校と中学校の切れ目はあった方がよいと思う(現在のままがよい)」が29.7%、「小学校から中学校の学習や環境へのスムーズな移行が期待できるので、小中一貫教育を進めることはよいと思う」が22.5%、「学力の向上など教育効果が期待できるので、小中一貫教育を進めることはよいと思う」が6.6%となっています。



### 【勤務先別】

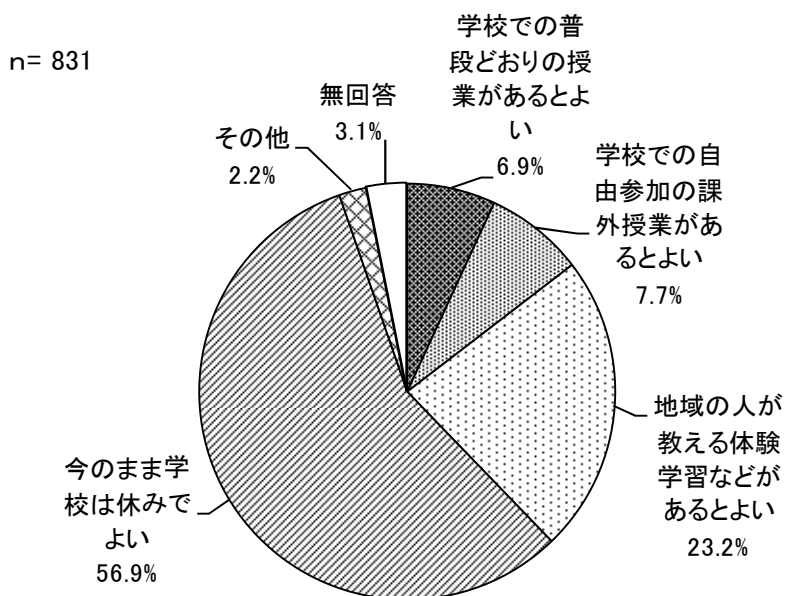
勤務先別でみると、「小学校と中学校の切れ目はあった方がよいと思う(現在のままがよい)」では“中学校職員”が3割を超え“小学校職員”と比べてやや高い割合となっています。

「小学校から中学校の学習や環境へのスムーズな移行が期待できるので、小中一貫教育を進めることはよいと思う」では“小学校職員”が2割半ばと“中学校職員”よりも高い割合となっています。



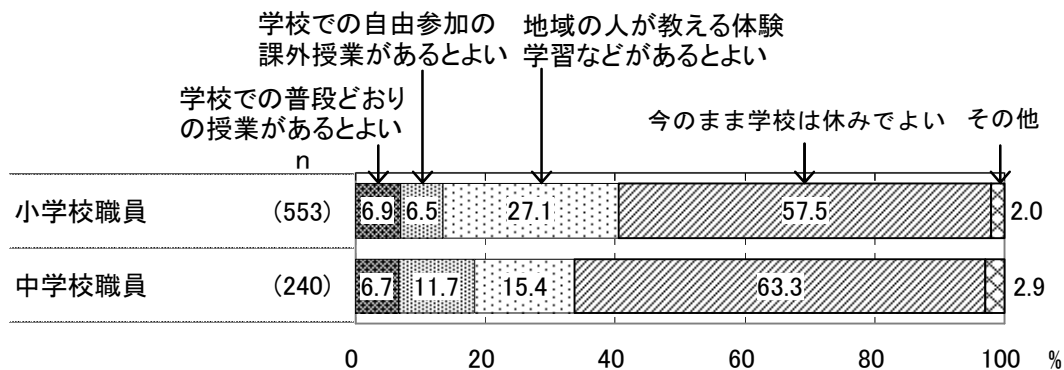
問 16 法令改正により、設置者の主体的な判断で、土曜日の授業や学習が行いやすくなりましたが、このことについてどうお考えですか。（1つだけ○）

法令改正により、設置者の主体的な判断で、土曜日の授業や学習が行いやすくなったことについては、「今のまま学校は休みでよい」が最も多く56.9%、次いで「地域の方が教える体験学習などがあるとよい」が23.2%、「学校での自由参加の課外授業があるとよい」が7.7%、「学校での普段どおりの授業があるとよい」が6.9%となっています。



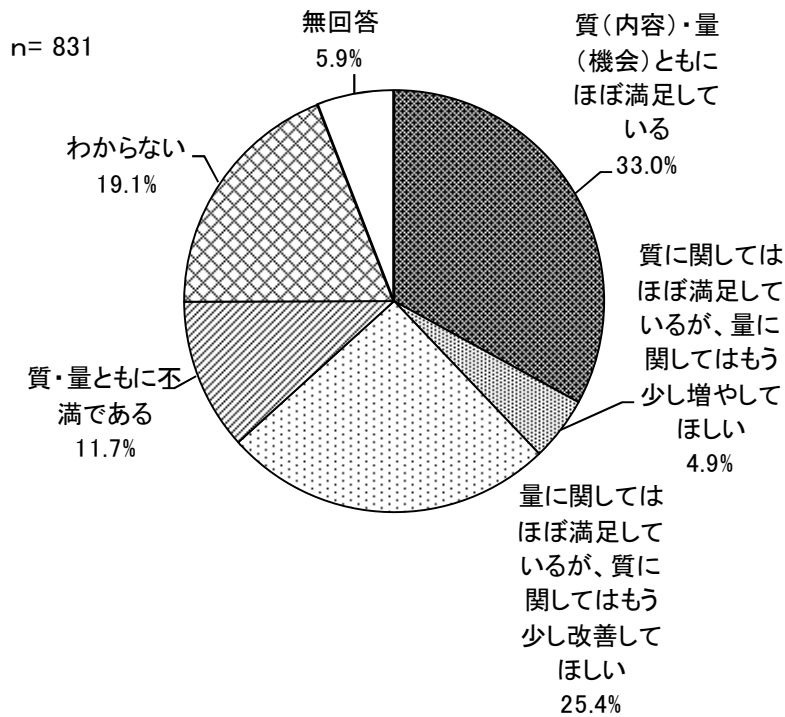
【勤務先別】

勤務先別でみると、「今のまま学校は休みでよい」は“中学校職員”の方がやや高い割合となっています。



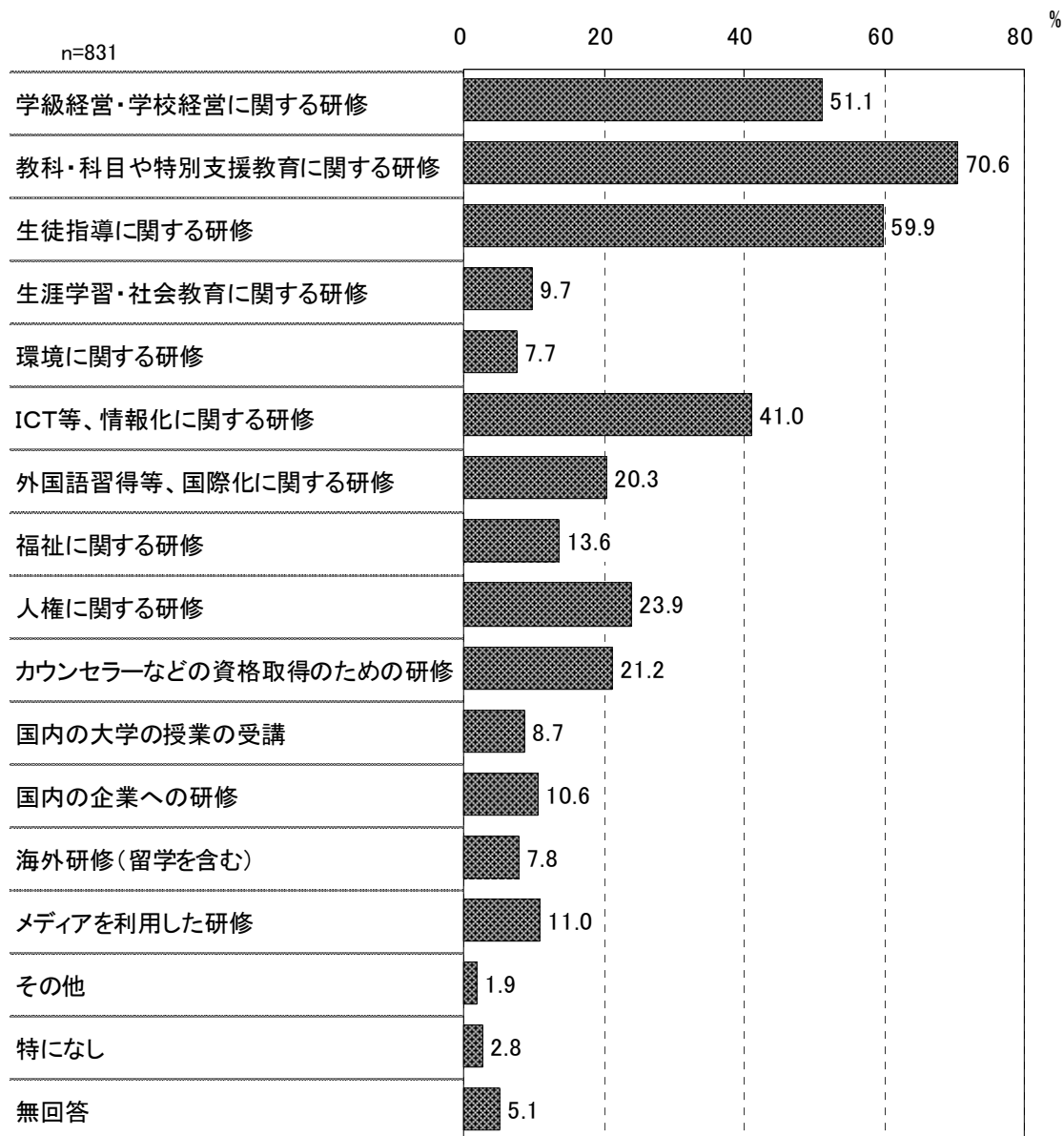
問 17 現在の教員研修制度についてどうお考えですか。(1つだけ○)

現在の教員研修制度については「質(内容)・量(機会)ともにほぼ満足している」が最も多く 33.0%、次いで「量に関してはほぼ満足しているが、質に関してはもう少し改善してほしい」が 25.4%、「質・量ともに不満である」が 11.7%、「質に関してはほぼ満足しているが、量に関してはもう少し増やしてほしい」が 4.9%などとなっています。



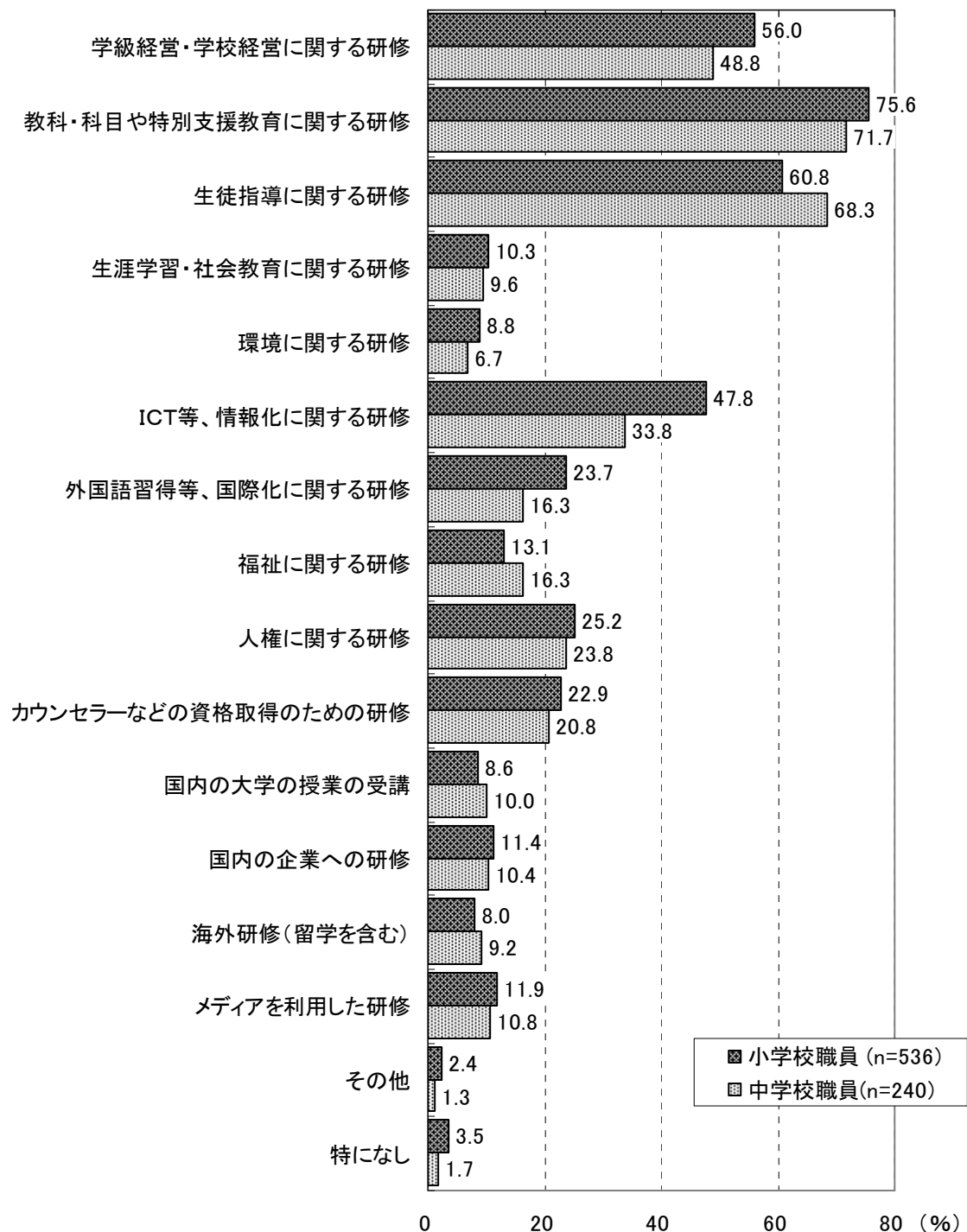
問 18 教員研修制度の内容・方法として特に重要だと思われるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

教員研修制度の内容・方法として特に重要だと思われるものについては、「教科・科目や特別支援教育に関する研修」が最も多く 70.6%、次いで「生徒指導に関する研修」が 59.9%、「学級経営・学校経営に関する研修」が 51.1%、「ICT等、情報化に関する研修」が 41.0% などとなっています。



【勤務先別】

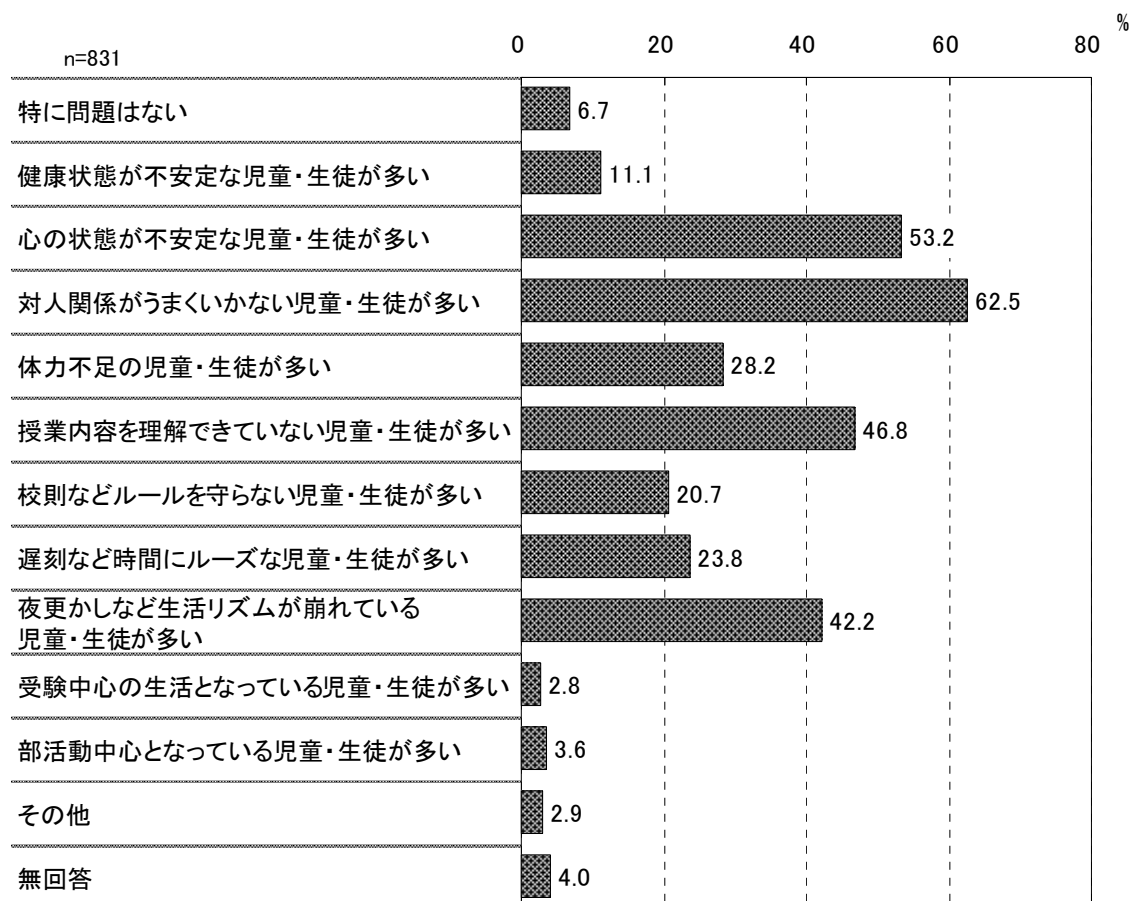
勤務先別でも、上位に違いはありませんが、「ICT等、情報化に関する研修」では“小学校職員”が5割近くと“中学校職員”と比べて高い割合となっています。



#### 4. 児童・生徒や地域との関わりについて

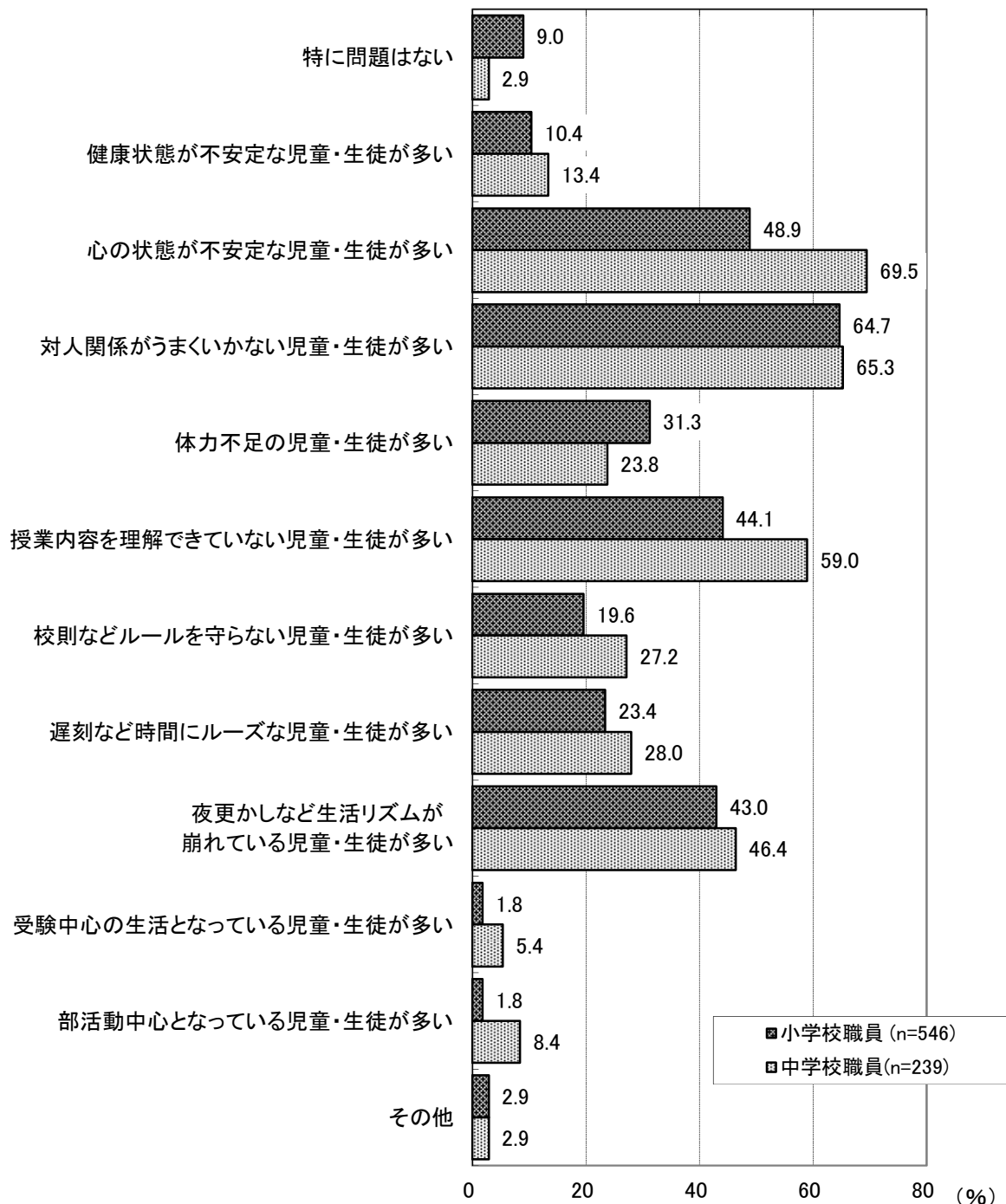
問 19 学校における児童・生徒の生活に関して問題だと思われる点があるとしたらそれは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

学校における児童・生徒の生活に関して問題だと思われる点については、「対人関係がうまくいかない児童・生徒が多い」が最も多く 62.5%、次いで「心の状態が不安定な児童・生徒が多い」が 53.2%、「授業内容を理解できていない児童・生徒が多い」が 46.8%、「夜更かしなど生活リズムが崩れている児童・生徒が多い」が 42.2%などとなっています。



【勤務先別】

勤務先別でみると、「心の状態が不安定な児童・生徒が多い」と「授業内容を理解できていない児童・生徒が多い」で、「小学校職員」と「中学校職員」の違いが大きくなっています。

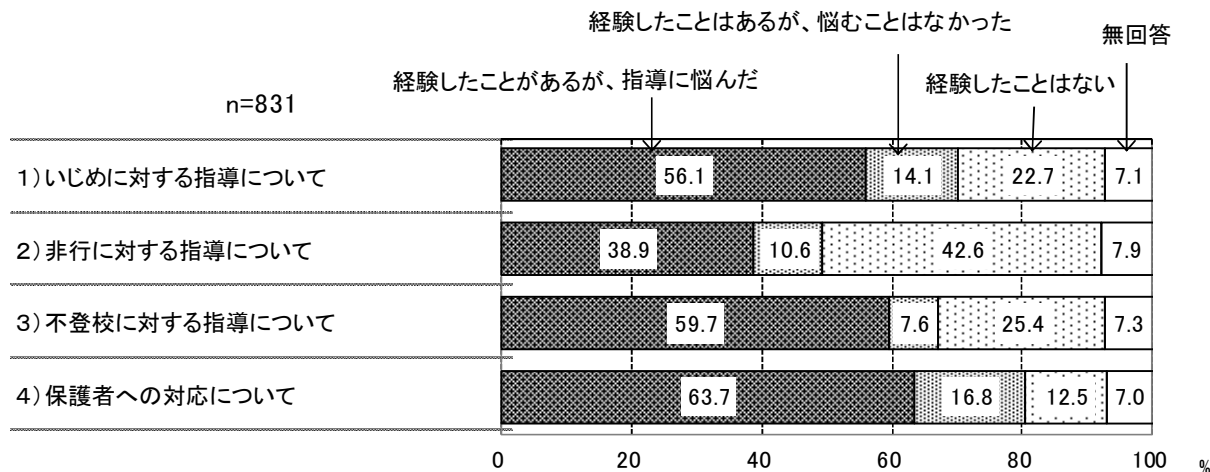




問 20 児童生徒の指導に関して、次のうち経験したことがあるものを選んでください。

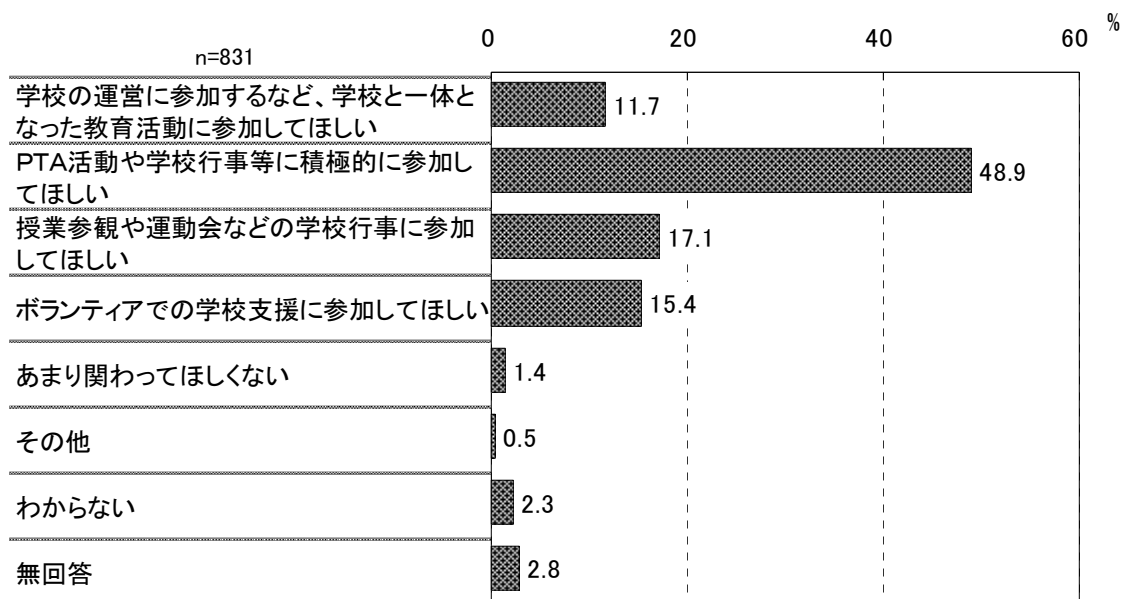
(それぞれに1つずつ〇)

児童生徒の指導については、“4) 保護者への対応について”では「経験したことがあるが、指導に悩んだ」が6割を超え割合が高くなっています。一方、「経験したことはない」では“2) 非行に対する指導について”で4割を超え高い割合となっています。



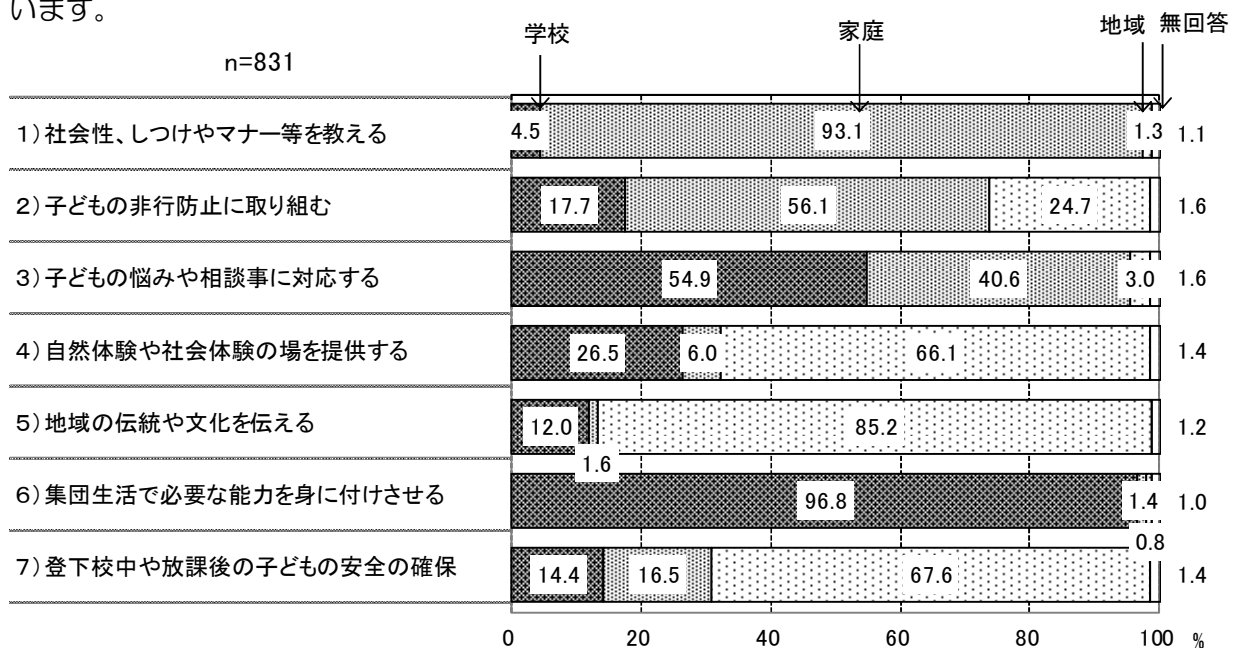
問 21 保護者や地域の方には、学校の活動に対して、どの程度、関わってほしいと思いますか。(1つだけ〇)

保護者や地域の方には、学校の活動に対して、どの程度、関わってほしいと思っているかについては、「PTA活動や学校行事等に積極的に参加してほしい」が48.9%、次いで「授業参観や運動会などの学校行事に参加してほしい」が17.1%などとなっています。



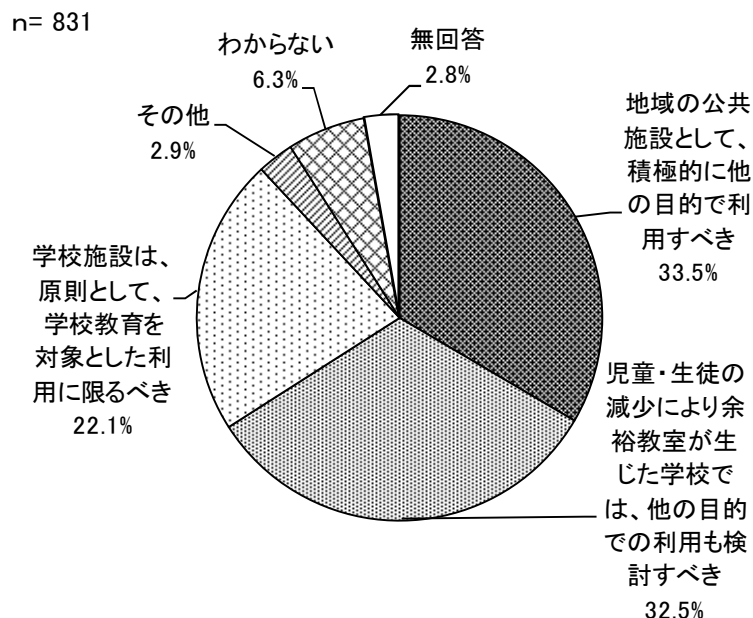
問 22 あなたは、次のことについて、学校、家庭、地域のどこが中心となるべきだと考えていますか（それぞれに1つずつ〇）

学校、家庭、地域のどこが中心となるべき事項については、“6）集団生活に必要な能力を身に付けさせる”では「学校」が中心となるべきだと考えている方が9割半ばと割合が高くなっています。一方、“1）社会性、しつけやマナー等を教える”では「家庭」で9割を超え割合が高くなっています。また、“5）地域の伝統や文化を伝える”では「地域」が8割半ばとなっています。



問 23 学校施設を他の目的で利用することについてどう考えますか（1つだけ〇）

学校施設を他の目的で利用することについては、「地域の公共施設として、積極的に他の目的で利用すべき」が最も多く 33.5%、次いで「児童・生徒の減少により余裕教室が生じた学校では、他の目的での利用も検討すべき」が 32.5%、「学校施設は、原則として、学校教育を対象とした利用に限るべき」が 22.1%となっています。



## 成田市学校教育に関するアンケート調査報告書

発 行 成田市教育委員会

編 集 教育総務部教育総務課

〒286-8585 成田市花崎町760番地

電話 0476 (20) 1580

調査機関 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

発 行 平成27年3月

登録番号 成教総 14-046